埋蔵文化財調査研究報告Ⅳ

下弓田遺跡

―資料編１―

1991

宮崎県総合博物館

埋蔵文化財調査研究報告Ⅳ

下弓田遺跡

—資料編1—

1991

宮崎県総合博物館

はじめに

近年の宅地開発や農業基盤整備等の開発は、住民の生活環境の改善に欠くことのできない事業である反面、先人の遺した貴重な文化遺産が絶えず消滅の危機にさらされているのも忘れてはならない事実でも有ります。こうしたなかで、昭和57年10月２日に埋蔵文化財センターは県総合博物館の一部門として開設され、以後、埋蔵文化財の調査研究、保存活用等の事業を鋭意行なって参りました。

ここに報告する「下弓田遺跡－資料編１－」は昭和34年に県教育委員会が日向遺跡総合調査の一環として発掘調査を行ない昭和36年に刊行した『日向遺跡総合調査報告』第一輯「下弓田遺跡」の補足資料と、遺跡周辺で採集されこれまでに博物館に収蔵された資料など下弓田遺跡出土の縄文土器を紹介するものであります。

埋蔵文化財センターでは事業の一つとしてこれらの出土品整理を精力的に進め、このたび「埋蔵文化財調査研究報告Ⅳ」として発刊の運びとなりました。

本書が学術及び教育関係資料として幅広く活用されるとともに、文化財保護の一層の理解と地域文化解明の一助となれば幸いです。

平成３年12月

宮崎県総合博物館
館長　山本一麿

例　　言

1．本書は、宮崎県教育委員会が日向遺跡総合調査の一環として昭和34年9月11日より17日までの間に実施した下弓田遺跡の発掘調査報告書（『日向遺跡総合調査報告』第1輯「下弓田遺跡」昭和36年3月宮崎県教育委員会刊行）の資料を補足するための資料編である。

2．本書では、下弓田遺跡関連の調査のうち昭和32年の石川恒太郎氏の試掘調査を石川試掘、昭和34年の田中熊雄氏を中心とした宮崎大学の調査を宮大調査、同年の県教育委員会が行なった日向遺跡総合調査を県教委調査、森駿氏表採の資料を表採資料と略記する。また、それぞれの報告のうち石川試掘の報告（『宮崎県文化財調査報告書』第2輯「下弓田遺物包含地」）を『32年報告』、宮大調査の報告（『宮崎大学学芸部紀要』第7号・『宮崎大学学芸部紀要』第8号）を『宮大紀要7』・『宮大紀要8』、県教委調査の報告（『日向遺跡総合調査報告』第1輯「下弓田遺跡」）を『36年報告』と略記する。

3．本書に掲載した土器は、県総合博物館が所蔵する下弓田遺跡関連の縄文土器である。内訳は県教委調査資料（『36年報告』の掲載土器も含む）と表採資料のうち口縁部が主体である。したがって、石器類や土製品、その他の時期の出土品については次ぎの機会に報告することにする。

4．本報告に係わる遺物の整理は、昭和63年度から平成元年度にかけて県総合博物館埋蔵文化財センターの事業として行なった。

　昭和63年度の整理は主事菅付和樹、整理専門員津隈久美子、整理作業員永峰まり子があたり、平成元年度は主任主事永友良典、津隈、永峰があたった。

5．掲載した図版の実測は菅付、津隈、永峰らが行ない、トレース・写真撮影は永友が行なった。なお、報告書作成にあたっては松浦由美、杉尾愛恵、金子悦子、棧陽子、戸高真知子の各氏の協力を得た。記して謝意を表する。

6．本報告の執筆・編集は永友が行なった。

7．整理した遺物等の資料は台帳登録の上、県総合博物館で保管している。

8．土器観察表の色調については、「新版標準土色帖」を使用した。

本　文　目　次

Ⅰ　本報告に至るまでの経緯 …… 1

Ⅱ　下弓田遺跡出土の縄文土器 …… 2
　1．はじめに …… 2
　2．博物館所蔵の下弓田遺跡関連資料 …… 3

Ⅲ　ま　と　め …… 10

挿　図　目　次

第1図　縄文土器実測図（1）……13
第2図　縄文土器実測図（2）……14
第3図　縄文土器実測図（3）……15
第4図　縄文土器実測図（4）……16
第5図　縄文土器実測図（5）……17
第6図　縄文土器実測図（6）……18
第7図　縄文土器実測図（7）……19
第8図　縄文土器実測図（8）……20
第9図　縄文土器実測図（9）……21
第10図　縄文土器実測図（10）……22
第11図　縄文土器実測図（11）……23
第12図　縄文土器実測図（12）……24
第13図　縄文土器実測図（13）……25
第14図　縄文土器実測図（14）……26
第15図　縄文土器実測図（15）……27
第16図　縄文土器実測図（16）……28
第17図　縄文土器実測図（17）……29
第18図　縄文土器実測図（18）……30
第19図　縄文土器実測図（19）……31
第20図　縄文土器実測図（20）……32
第21図　縄文土器実測図（21）……33
第22図　縄文土器実測図（22）……34
第23図　縄文土器実測図（23）……35
第24図　縄文土器実測図（24）……36
第25図　縄文土器実測図（25）……37
第26図　縄文土器実測図（26）……38
第27図　縄文土器実測図（27）……39
第28図　縄文土器実測図（28）……40
第29図　縄文土器実測図（29）……41
第30図　縄文土器実測図（30）……42
第31図　縄文土器実測図（31）……43
第32図　縄文土器実測図（32）……44
第33図　縄文土器実測図（33）……45
第34図　縄文土器実測図（34）……46
第35図　縄文土器実測図（35）……47
第36図　縄文土器実測図（36）……48
第37図　縄文土器実測図（37）……49
第38図　縄文土器実測図（38）……50
第39図　縄文土器実測図（39）……51
第40図　縄文土器実測図（40）……52
第41図　縄文土器実測図（41）……53
第42図　縄文土器実測図（42）……54
第43図　縄文土器実測図（43）……55
第44図　縄文土器実測図（44）……56

第45図　縄文土器実測図（45）……57

表　目　次

第１表　縄文土器観察表（１）……58
第２表　縄文土器観察表（２）……59
第３表　縄文土器観察表（３）……60
第４表　縄文土器観察表（４）……61
第５表　縄文土器観察表（５）……62
第６表　縄文土器観察表（６）……63
第７表　縄文土器観察表（７）……64
第８表　縄文土器観察表（８）……65
第９表　縄文土器観察表（９）……66
第10表　縄文土器観察表（10）……67
第11表　縄文土器観察表（11）……68
第12表　縄文土器観察表（12）……69
第13表　縄文土器観察表（13）……70
第14表　縄文土器観察表（14）……71
第15表　縄文土器観察表（15）……72
第16表　縄文土器観察表（16）……73
第17表　縄文土器観察表（17）……74
第18表　縄文土器観察表（18）……75
第19表　縄文土器観察表（19）……76
第20表　縄文土器観察表（20）……77
第21表　縄文土器観察表（21）……78
第22表　縄文土器観察表（22）……79
第23表　縄文土器観察表（23）……80
第24表　縄文土器観察表（24）……81
第25表　縄文土器観察表（25）……82
第26表　縄文土器観察表（26）……83
第27表　縄文土器観察表（27）……84
第28表　縄文土器観察表（28）……85

図　版　目　次

図版１　縄文土器（１）……87
図版２　縄文土器（２）……88
図版３　縄文土器（３）……89
図版４　縄文土器（４）……90
図版５　縄文土器（５）……91
図版６　縄文土器（６）……92
図版７　縄文土器（７）……93
図版８　縄文土器（８）……94
図版９　縄文土器（９）……95
図版10　縄文土器（10）……96
図版11　縄文土器（11）……97
図版12　縄文土器（12）……98
図版13　縄文土器（13）……99
図版14　縄文土器（14）……100
図版15　縄文土器（15）……101
図版16　縄文土器（16）……102
図版17　縄文土器（17）……103
図版18　縄文土器（18）……104
図版19　縄文土器（19）……105
図版20　縄文土器（20）……106
図版21　縄文土器（21）……107

Ⅰ．本報告に至るまでの経緯

下弓田遺跡は宮崎県最南端に位置する串間市大字南方字狐塚に所在する縄文時代後期を代表的する遺跡である。遺跡は志布志湾に注ぐ福島川の河口南岸の隆起砂丘上に立地する。

遺跡は、第二次大戦中に土地所有者である森駿が土採り作業中に発見し、昭和19年に上代日向研究所より刊行された『日向上代遺蹟遺物地名表』で瀬之口伝九郎が紹介している。

本格的な調査の手が加わったのは戦後になってからで、昭和32年に石川恒太郎（県文化財専門委員）が狐塚地区で試掘調査（石川試掘）を行ない、『宮崎県文化財調査報告書』第２輯で「下弓田遺物包含地」（『石川報告』）として報告している。昭和34年３月には田中熊雄（宮崎大学教授）を中心とした宮崎大学の調査チームが狐塚地区内で小規模な調査（宮大調査）を行ない、『宮崎大学学芸部紀要』第７号（『宮大紀要７号』）と『宮崎大学学芸部紀要』第８号（『宮大紀要８号』）で「狐塚遺跡の研究」として報告している。また、田中は『宮大紀要７号』のなかで、調査以前に下弓田地区周辺で採集されていた縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、縄文時代の石器などの森所蔵の資料（表採資料）のなかから縄文土器130点余りをあわせて紹介している。

さらに、同年９月には県教育委員会が日向遺跡総合調査の一環として約230の発掘調査（県教委調査）を行なっている。調査には酒詰仲男（同志社大学教授）、鏡山猛（九州大学教授）、賀川光夫（別府大学助教授）、遠藤尚（宮崎大学助教授）、石川、日高正晴（県文化財専門委員）、鈴木重治（県立博物館学芸員）らがあたり、縄文時代後期の住居跡を発掘したほか、縄文土器の層位調査を行なって多大の収穫を挙げた。調査の結果は昭和36年３月、『日向遺跡総合調査報告』第１輯「下弓田遺跡」（『36年報告』）としてまとめられている。

現在、県総合博物館が所蔵している下弓田遺跡関連の資料は県教委調査の出土資料と若干の採集資料である。これらの収集の経緯について、昭和35年３月刊行の「博物館々報」には昭和34年度新収品目録の中に、移管資料「串間市下弓田出土縄文時代資料１括」、購入資料「串間市下弓田出土縄文時代資料１括」の記載がある。これからすると県教委調査資料は調査終了後収蔵されたことがわかる。また表採資料について、購入資料の欄に記載されている一括資料が該当すると思われるがその経緯について詳細はわからないが、調査資料と同時期に収蔵されたことが想像できる。

今回の「土器編１」の刊行は、『36年報告』では図化された縄文土器が60点程度と主なものに限られてため多くの縄文土器が未掲載のままとなっていた。そのため、埋蔵文化財センターでは出土品整理事業の一環として昭和63年度及び平成元年度に県教委調査出土資料や表採資料など博物館所蔵の下弓田遺跡関連資料の整理作業を行なった。

この報告書をまとめるにあたって、田中熊雄（県文化財保護審議会委員）、鈴木重治（同志社

大学文学部)、日高正晴(西都原古墳研究所所長)、田中茂(瓜生野小学校校長)、茂山護(本郷小学校教頭)、日高孝治(県史編さん室)、面高哲郎・長津宗重・菅付和樹(県文化課)、近藤協(県総合博物館)、宮田浩二(串間市教育委員会)の各氏ほかの御協力を得た。記して謝意を表する。

引用および参考文献

(1) 瀬之口伝九郎『日向上代遺蹟遺物地名表』上代日向研究所　昭和19年(1944)

(2) 石川恒太郎「下弓田遺物包含地」『宮崎県文化財調査報告書』第2輯　宮崎県教育委員会　昭和32年(1957)

(3) 田中熊雄「狐塚遺跡の研究」『宮崎大学学芸部紀要』第7号　宮崎大学学芸学部　昭和34年(1959)

(4) 田中熊雄「狐塚遺跡の研究(2)」『宮崎大学学芸部紀要』第8号　宮崎大学学芸学部　昭和35年(1960)

(5) 川賀光夫・鈴木重治ほか「下弓田遺跡」『日向遺跡総合調査報告』第1輯　宮崎県教育委員会　昭和36年(1961)

(6) 菅付和樹「下弓田遺跡」『宮崎県史』資料編考古Ⅰ　宮崎県　平成元年(1989)

(7) 「博物館々報」第6号　宮崎県立博物館　昭和35年(1961)

Ⅱ　下弓田遺跡出土の縄文土器

1．はじめに

下弓田遺跡関連の資料は先述のとおり県教委調査の出土資料を中心に宮大調査の出土資料、採集資料からなっており、県教委調査の出土資料と表採資料は県総合博物館に保管、宮大調査の出土資料は宮崎大学の保管されている。

下弓田遺跡関連の資料の内訳は次のとおりである。

表採資料には、阿高式系統土器、指宿式土器、大平式土器、市来式土器、草野式土器、北久根山式平行の土器などの縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器のほかに石錘・打製石斧・磨製石斧・打製石鏃が見られる。

石川試掘や宮大調査の資料には、大平式土器、市来式土器、草野式土器などの縄文土器のほかに凹石・敲石・磨石・石皿・軽石製品・石包丁様石器などの石器が少量見られる。縄文土器のほかに石錘・石斧・凹石・敲石・磨石・石皿・石匙などの石器類が報告されている。

県教委調査資料には市来式土器、草野式土器、松山式土器、大平式土器、磨消縄文土器、黒色磨研土器などの縄文土器のほかに土製円盤も見られる。底部には網代底も見られる。また、布痕土器も含まれる。石錘・編平打製石斧・磨製石斧・凹石・敲石・磨石・石皿・軽石製品・石包丁様石器などの石器も報告されている。

引用および参考文献

(1) 菅付和樹「下弓田遺跡」『宮崎県史』資料編考古Ⅰ　宮崎県　平成元年（1989）

(2) 岡元満子「底部に圧痕を有する縄文土器について」『鹿大考古』第５号　鹿大考古学会　昭和61年（1986）

２．博物館所蔵の下弓田遺跡関連資料

（１）資料の概要

前述のとおり、博物館に収蔵されている下弓田遺跡関連の縄文土器は県教委調査分と表採資料分からなる。今回図化した資料は『36年報告』に掲載されたものも含た県教委調査と表採資料のうち『宮大紀要７号』で紹介された森採集資料の縄文土器のうち、口縁部を有するものに限った。したがって胴部や底部、土製円盤、石器、布痕土器等の実測図は今回掲載しなかった。掲載総数523点で県教委調査資料が１～420、表採資料が421～523である。県教委調査分のうち１～３は、博物館の展示用として完形復元された土器で収蔵目録には市来式土器と記されている。いずれも底部を欠くものでナンバリング等はされていないが、おそらく日向遺跡総合調査で出土した土器片のうち石膏復元できる資料を選び展示用に復元したものと思われる。表採資料のうち437～523までが『宮大紀要７号』で田中が紹介した資料である。また、421～436のうち何点かは県教委調査分も含まれている可能性がある。

県教委調査の資料は『36年報告』でも記載されていたように、遺物を耕作土・上層・中層・下層に分けて取上げており、縄文土器に層位や深さ（例えば40～50）が注記されているものも見られた。しかし、未注記のものが大半を占めることから今回は層位による分類は行なわず、『36年報告』に用いられている鈴木分類をもとに口縁部断面や施文による分類を行なうことにした。なお、縄文土器に注記されている事項は可能な限り観察表の備考欄に記載した。また、表採資料の縄文土器については『宮大紀要７号』では写真資料のみの掲載であったため今回図化したが、土器に注記がなされておらず写真との照合が困難であったことから図化した資料は照合が確定されたものに限った。以下の資料の概要について触れることにする。なお、文中では県教委調査資料を(　)、表採資料を＜　＞で示している。

（２）縄文土器

Ⅰ類（１・４～24・136～150・292～301）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させた幅狭の平坦面を文様帯に持つ。文様帯には単一の貝殻腹縁か竹管工具による爪形、「D」字形の連続刺突文や、連続刺突文と凹線・沈線を比較的簡単に組み合わせたものが見られる。

Ⅰ－A（１・４～19）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させた幅狭の文様帯を持つ。文様帯に

は単一の連続刺突文を施す。

Ⅰ－B（20～24）

文様帯付近から大きく外反する口縁部口唇部をわずかに肥厚させた幅狭の文様帯を持ち単一の文様が施されており文様帯下にも施文が見られる。

Ⅰ－C（136～139・141・144・146・148～150）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させたやや幅広の文様帯を持つ。文様帯には凹線文と連続刺突文を組み合わせた単純な施文が見られる。おもな文様構成としては、2～3条の凹線文間に連続刺突を施す組み合わせのもの（136など）。文様帯上下に竹管状工具による連続刺突文とその中間に1条の凹線文の組み合わせたもの（144など）などが見られる。

Ⅰ－D（140・142・143・145・147）

口縁部の内面と外面の両方に張り出し肥厚部が「T」字状に張り出す。文様帯には2条の凹線文と連続刺突文の組み合わせた単純な施文が見られる。

Ⅰ－E（292～301）

凹線文と連続刺突文による施文の見られる波頂部分。幅の狭い文様帯を持つ土器（292～301）では連続刺突のみを施した文様帯の波頂部に円形刺突を施すタイプ（292など）、連続刺突文間に1～2条の凹線を施した文様帯の波頂部に円形刺突を施すタイプ（296など）や円形刺突の両側に縦方向の凹線を施すタイプ（299など）などがみられる。

Ⅱ類（2・25～135・151～291・302～305）＜437・439～479・482～500＞

口縁部を肥厚させ口縁断面が三角形または「く」字形を呈する土器。文様帯には連続刺突文や凹線文が施されている。

Ⅱ－A（25～92）

口縁部を肥厚させた口縁断面三角形口縁で文様帯が幅狭の土器。文様は貝殻腹縁か竹管状工具による爪形や「D」字形の連続刺突文が単一で施されている。

Ⅱ－A1（25～42・45～47）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させたやや幅狭の文様帯を持つ。文様帯の断面は三角形を呈し単一の文様がみられる。

Ⅱ－A2（43・48～76）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させたやや幅広の文様帯を持つ。文様帯に単一の文様がみられる。

Ⅱ－A3（77～79）

口縁部の内面の屈曲と外面の張り出しが若干見られ肥厚部が「T」字状に張り出す。

Ⅱ－A４（80～92）

口縁部が「く」字状を呈し外面への張り出しが見られる。肥厚させた幅狭の文様帯には単体の文様がみられる。

Ⅱ－B（２・93～126・151～219）＜437・439～464＞

屈曲部上部が短い「く」字口縁で文様帯の幅がやや幅広を呈する土器。口縁部屈曲部が外側にのみ張り出すタイプと内面が内湾するタイプが見られる。文様も貝殻腹縁か竹管状工具による爪形や「D」字形の連続刺突文が単一で施されているタイプのほかに凹線文と連続刺突文を組み合わせたタイプが見られる。

Ⅱ－B１（93～103）＜437・439＞

口縁部が「く」字状を呈し外面への張り出しが見られる。肥厚させた幅広の文様帯には単一の文様がみられる。

Ⅱ－B２（２・104～126）＜453＞

口縁部が「く」字状を呈し外面への張り出しが見られ内面の屈曲が大きい。肥厚させた幅狭の文様帯には単一の文様がみられる。

Ⅱ－B３（151～163）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させたやや幅広の文様帯を持つ。文様帯には凹線文と連続刺突文を組み合わせた単純な施文が見られる。おもな文様構成としては１条の貝殻腹縁の連続刺突文と竹管状工具による連続刺突文を組み合わせたもの（157など）。文様帯上下に竹管状工具による連続刺突文とその中間に１条の凹線文の組み合わせたもの（158など）。文様帯上下の竹管状工具による連続刺突文とその中間に１条の貝殻腹縁連続刺突文の組み合わせたもの（159など）などが見られる。

Ⅱ－B５（165～180）＜440～452＞

口縁部が「く」字状を呈し外面への張り出しが見られる。肥厚させたやや幅広の文様帯には２条の連続刺突文間に凹線文を施す文様が主体をなす。三ケ月状の刺突を凹線内（170など）や凹線間（171、176など）に施すものなども見られる。また、１～２条の凹線を施した文様帯下に連続刺突の見られるもの（173など）なども含まれる。

Ⅱ－B６（181～219）＜454～464＞

口縁部が「く」字状を呈し外面への張り出しが見られる。また内面の屈曲も大きい。肥厚させたやや幅広の文様帯には凹線文や連続刺突文を組み合わせ単純な文様が見られる。主な文様構成としては、凹線文と連続刺突文を組み合わせたものが主体で、２条の連続刺突文間に凹線文を施すタイプでは凹線間に円形の刺突（181など）や円形刺突の周りに連続刺突を施した花びら形の文様（187など）なども見られる。連続刺突文の組み合わせでは短い連続刺突文間に貝殻腹縁による長めの連続刺突文を施すタイプ（198など）が主体をなす。

Ⅱ－C（3・220～291）<465～479・482～500>

屈曲部上部が長い「く」字口縁で文様帯の幅が幅広を呈する土器。口縁部屈曲部が外側にのみ張り出すタイプや内面が内湾するタイプのほかに内面の湾曲が顕著で「S」字状を思わせるタイプも見られる。文様も単一の連続刺突文が単一、凹線文と連続刺突文を組み合わせタイプが見られる。波状口縁を中心に幅広の文様帯には複雑で華麗な文様が施されている。

Ⅱ－C 1（3・220～263）<465～479・482～483>

文様帯下部の肥厚部分は明瞭で著しく張り出し、「く」字形となる。内面にも若干の屈曲が見られるものもある。文様のバリエーションとしては2条の凹線のみ（222など）、2条の凹線下に連続刺突文（223など）、2条の連続刺突文間に1～3条の凹線（229など）、2条の短い連続刺突文間に貝殻腹縁による長めの連続刺突文（246など）などの施文がみられる。また、2条の連続刺突文間に2～3条の凹線を施しさらに凹線間に横方向の連続刺突文を配するもの（233など）も見られる。このうち、2条の連続刺突文間に1～3条の凹線のみられるタイプでは凹線内や凹線間に円形（241など）や三ケ月形（232など）の刺突文を施すもの、凹線が斜方向になるもの、文様帯下に凹線（227）や凹線と連続刺突文（253）を施すものなども見られる。

波頂部にも多彩な文様帯が見られる。2条の凹線タイプでは斜方向の凹線（225など）、2条の連続刺突文間に2～3条の凹線を施すタイプでは多数の刺突文（235など）や刺突文を囲むような連続刺突文（237など）を配したり、凹線を多条に施すなど（239など）より多彩な文様が見られる。また、このタイプでは波頂部裏に刺突（240、261）やらせん条の沈線（262）が施されているものもみられる。2条の連続刺突文間に2～3条の凹線を施しさらに凹線間に横方向の連続刺突文を配するタイプでは縦方向の2～3条の凹線も見られる。

Ⅱ－C 2（264～275）<484～493>

文様帯下部の肥厚部分は明瞭で著しく張り出し、内面の屈曲も大きく「く」字形となる。文様構成は2条の連続刺突文間に2～3条の凹線を組み合わせたタイプとさらに凹線間に横長の貝殻刺突を配する複雑なタイプも見られる。波頂部には縦長の刺突文（237など）や凹線文（274）のほか円形刺突で両端を押えた横長の凹線（265）やその両側にさらに縦長の凹線（264）を配したものも見られる。

Ⅱ－C 3（276～291）<494～500>

文様帯下部の肥厚部分がさらに明瞭で著しく張り出し口縁が大きく外彎する。内面の屈曲も顕著な「く」字形がさらに「S」字形となる。文様構成は2条の連続刺突文間に2～3条の凹線を組み合わせた多彩な文様である。波頂部の施文は円形刺突で両端を押えた横長の凹線とその両側に縦長の凹線を配したものもが多く見られる。

Ⅱ－D（302～305）

凹線文と連続刺突文による施文の見られるやや幅広の文様帯の波頂部分。3条の連続刺突文と2条の凹線文を組み合わせた文様帯の波頂部に縦の凹線と縦方向の連続刺突（305など）や「X」状の凹線と円形の刺突を組み合わせた施文（302）などが見られる。

Ⅲ類（306～313）＜438・510・512＞

頸部からゆるやかに外反する口縁部で、断面が三角形や丸みを帯びる。口縁部にコブ状の突起や貼り付け文を付けるものも見られる。施文は幅狭の文様帯に単純な爪形刺突文などを施しているものや、貝殻腹縁刺突文と沈線文を組みあわせた文様を口縁部から胴部にまで及ぶものなど見られる。

Ⅳ類（314～316）＜481・515＞

頸部に把手を取り付けた土器。

Ⅴ類（323～358）＜501～508＞

形骸化し間延びた「く」字口縁を持つ土器。

Ⅴ－A（323～349）

口縁部文様帯下部の肥厚が強調されず、形骸化したような低い段になり、口縁部断面の「く」字形の屈曲も間延びしその下にくびれがわずかしか見られない土器群。文様は単純でくびれ部の上下に貝殻腹縁の連続刺突文が1条ずつ施されている。

Ⅴ－B（350～358）

外面のくびれ部付近から口縁部が外傾または外反する土器群。文様はくびれ部の上下に貝殻腹縁の連続刺突文が1条ずつ施されている。

Ⅵ類（359～370）＜509・511・513・514＞

口縁部が比較的短く強く外反する土器群。文様はくびれ付近に貝殻腹縁の連続刺突文が1条見られる単純な構成である。

Ⅶ類（371～406）

貝殻条痕および粗製の無文の土器群。

Ⅶ－A（371～378）

口唇部に若干の施文が見られる土器。口唇部に貼り付け突起や口唇部端部に圧文を施す（371～373）ものや、口唇端部に貝殻刺突を施す（374～378）もの。

Ⅶ－B（379～389）

口縁部は口唇部が丸みを帯びて比較的肥厚しており短く外傾または外反する。Ⅰ類に近いタイプ。

Ⅶ－C（385～394）

口縁部は口唇端部が丸みを帯びて短く外傾または外反する。

Ⅶ－D（395～402）

直立あるいは外反気味の口縁部口唇部を肥厚させた断面三角形の土器。

Ⅶ－E（403～406）

口縁部が直立気味に開く土器。

Ⅷ類（317～321）＜480＞

脚台付土器の脚部および類似の一群。

横方向の凹線と連続刺突の施文に透かしを設けたタイプ（319）＜480＞。縦方向の凹線と連続刺突の施文するタイプ（321）。格子状に線刻を施すタイプなどが見られる。また、凹線間に竹管連続刺突を施した馬蹄形の器台（318）や端部にかぎ状に線刻を施し連続刺突でさらに施文する盤（板）状の土器（322）など特殊なものも見られる。

Ⅸ類

その他の土器

Ⅸ－A（407～420）

沈線文または凹線文を主文様として用いる土器。

407・408は内湾する口縁上部に刺突文を施す。410、411は沈線間に連続刺突文を配し410は突起を持つ。412～420は平行沈線を用いている。

Ⅸ－B（421～423）＜516・517＞

貝殻条痕文地の上に指頭によると思われる太い凹線で曲線文を描く土器。

Ⅸ－C（424・425）

外反気味の口縁部をわずかに肥厚させた文様帯に2～3条の沈線と磨消縄文（？）を施し、表面にヘラミガキ調整が見られる土器。

Ⅸ－D（426～428）

内湾する口縁部で、口唇部に沈線と刺突を施し口縁部表に縄文による施文の見られる磨消縄文土器。

Ⅸ－E（429）

内湾気味の口縁部で、凹線内に疑似縄文による施文が見られる土器。

Ⅸ－F（430）

押し引き文を施す土器。

Ⅸ－G（431・322）

沈線間に刺突文を充塡する土器。431は疑似磨消縄文土器とも思われる。

Ⅸ－H（433～436）

いわゆる黒色磨研土器で頸部が大きく外反し短い口縁部に１～２本の沈線が見られる土器。436は「く」字に屈曲する胴部で凹線内に楕円形の押圧文を施す。

Ⅸ－Ⅰ<518～523>

口縁部から胴部にかけて２本平行の沈線で曲線や直線文を施文する。

その他、今回未掲載の土器としては幅広の口縁帯にW字状や亀甲状の文様を有するいわゆる大平式土器も見られる。

以上の分類を『36年報告』の鈴木分類と対比すると下記のような対比が可能と思われる。

ⅠA類	L１－２、L２－１・２・３
ⅠB類	L１－２、L２－１・２・３
ⅠC類	L１－２、L２－４
ⅠD類	（L１－２）
ⅠE類	（L１－２）、L２－４
ⅡA類	L１－２、L２－１・２・３
ⅡB類	M１－１・２、L２－１・２・３　M２－１・２・３・６・11
ⅡC類	U１－１・２・３、L２－１・２・３　M２－１・２・３・６・11 U２－１・２・３・４
ⅡD類	（M１－１）
Ⅲ　類	M１－３・４・５、M２－８・９
Ⅳ　類	U１－７
Ⅴ　類	－
Ⅵ　類	U１－４
Ⅶ　類	－

（注）

『36年報告』の鈴木分類の概略は次のとおりである。

(1) 下層の土器…市来式の前段階（下弓田式）の土器。屈折部以上の施文帯が狭く直行に近い断面の「く」字口縁土器（Ｌ１－２）が主流となる。口唇に１段の刺突列（貝殻頂）を施した文様が主体（Ｌ２－１・２・３）。その他、２段の刺突列（貝殻頂）間に２本の沈線を配しその中に刺突列（貝殻腹縁）を１条施し縦方向の数条の刺突列（貝殻腹縁）で区画するものも（Ｕ２－４）。口唇部に刻目のみ（Ｕ２－６）などがみられる。

(2) 中層の土器…市来式の盛行期の土器。典型的な「く」字口縁の土器（Ｍ１－１）が主流。口縁の屈曲部以上に延びがあり屈曲部に張り出しを持つ土器も伴う（Ｍ１－２）。文様は２条の貝殻腹縁（竹管による爪形刺突文に類似？）刺突列の中間に刺突列（サルボウ腹縁）を並列させる施文が圧倒的に多い（Ｍ２－１・２・３）。また、少量だが口唇部が肥厚して丸みを持つ土器や平端化された土器も上層に多い。文様はＭ２－１・２・３のほか、２条貝殻腹縁刺突列の中間に２条平行沈線（Ｍ２－４）、２段の２本沈線の中間に貝殻腹縁刺突列（Ｍ２－５）、爪形文類似の２段刺突文列（Ｍ２－６）などがある。その他、やや大きめの１段貝殻腹縁刺突列（Ｍ２－７）、２条貝殻腹縁刺突列下に１段沈線（Ｍ２－８）、刺突列（サルボウ腹縁）下部に３本平行沈線（Ｍ２－９）、不整な貝殻腹縁刺突と沈線の組み合わせ（Ｍ２－10）、幅広の２段貝殻腹縁刺突列の中間に数条沈線（Ｍ２－11）、貝殻腹縁刺突間の縦方向沈線と屈曲部下位の数条沈線（Ｍ２－12）、無文（Ｍ２－13）、巻貝（ヘナタリ）の回転施文（Ｍ２－14）など多彩である。

(3) 上層の土器…貝殻施文による華麗な文様を施した「く」字形口縁土器（Ｕ２－１・２・３）が基調。波状口縁や把手（Ｕ２－６・７）なども見られる。また、無文や単純な貝殻施文の口唇部が肥厚して平端化された土器（Ｕ－４・５）も伴う。主な文様は２条の貝殻腹縁刺突列の中間に多彩な施文を配する。中間の施文には、余裕のある並列する貝殻腹縁刺突文（Ｕ２－１）、水平な貝殻腹縁刺突を区画する垂直な刺突（ハイガイ断片）文（Ｕ２－２）、貝殻腹縁刺突の上下に１本沈線（Ｕ２－３）、２本沈線の間にまばらな貝殻腹縁の刺突（Ｕ２－４）などがある。その他、貝殻断片刺突（Ｕ２－５）や貝殻腹縁刺突（Ｕ２－６）を１段配した単純施文、無文（Ｕ２－７）、並列した貝殻腹縁刺突列の間の２本沈線と屈曲部以の並列する刻目状貝殻施文と肩部以下の数条の沈線（Ｕ２－８）、間隔を有する２本の貝殻腹縁刺突列の間の１条の曲沈線（Ｕ２－９）など多彩である。

Ⅲ　ま　と　め

今回報告した下弓田遺跡出土の縄文土器は、後期の市来式土器を中心に中期終から晩期初頭にかけての幅広い時期が含まれる。

１期（後期初頭）

太い凹線で曲線文を描く阿高式系統末期の岩崎上層式にあたる。県教委調査資料および表採資料とも少量である。（Ⅸ－Ｂ）

2期（後期前半）

口縁部から胴部にかけて2本平行の沈線で曲線や直線文を施文する指宿式土器を伴う時期で表採資料に少量見られる。（Ⅸ－Ⅰ）

3期（後期中葉）

口縁部を肥厚させた平坦面を文様帯とする土器の時期で県教委調査資料に見られる。（Ⅰ）

幅狭の文様帯に単独の連続刺突文や沈線などの単純な施文が見られる土器で、「T」字状の口縁は松山式土器に類似する。量的には1期、2期に比べて増加傾向にあるが、主体とはならない。3期の一部は4期に下る可能性がある。賀川分類の1類Lが含まれるであろう。

4期

口縁断面が三角形または「く」字形を呈する市来式土器の最盛期であり下弓田遺跡の中心となる時期でもある。幅狭・やや幅広い・幅広の口縁部を文様帯とし、幅狭の文様帯には単一の刺突文を施したものが多く、文様帯の幅広化にともなって刺突文や凹線・沈線を組み合わせた文様構成が主体となり幅広の文様帯のものではさらに組み合わせも複雑で華麗な文様構成となる傾向がうかがえる（Ⅱ）。なお、4期は細分化が可能である。

また、頸部からゆるやかに外反する口縁部を持つタイプの市来式土器を中心としたコブ状の突起を持つ土器(Ⅲ)や頸部に把手を取り付けた土器(Ⅳ)もこの時期に見られる。施文は貝殻腹縁刺突文と沈線文を組みあわせた文様が胴部にまで及ぶタイプである。さらに、脚台付土器(Ⅷ)などもこの時期に見られる。賀川分類の1類Mと1類U、さらに2類Mも含まれると思われる。

なお、わずかではあるが北部九州系の磨消縄文系土器である鐘ケ崎式土器（Ⅸ－D）も見られる。この時期に対応すると思われる。

5期

間延びした「く」字口縁の市来式土器（Ⅴ）と短く強く外反する口縁を持つ草野式土器（Ⅵ）が含まれる。文様は貝殻腹縁刺突文をくびれ部付近に施した単純な施文となる。量は減少する。賀川分類の2類Uが含まれる。

6期（後期後半）

西平式土器から三万田式土器の時期で黒色磨研土器などが少量見られる。（Ⅸ－H）

最後に「36年報告」の中で賀川は下層出土の『直口に近い口縁部を外側に口唇を切ったごとく、三角状をなすものの類』の土器を、市来式土器の祖型として「下弓田式」と提唱している。

しかし、「下弓田式」については実態がつかみにくかったこともあって現在ではほとんど用いられていないが一部で市来式土器の一部を示したり、宮崎県における市来式土器の呼称としてつかわれているにすぎない。

今回報告の博物館資料のなかに「36年報告」で「下弓田式」として図示された資料に該当する

土器は見られず詳細な記述は困難である。しかし、今回の資料の中で（141）は図示された「下弓田式」の土器に類似する資料と思われる。

141は直立あるいは外反気味の口縁部口唇部をわずかに肥厚させたやや幅広の文様帯を持つ類Ｂ３の土器で文様帯には２～３条の凹線文間に連続刺突を組み合わせた施文がみられる。３期の時期に比定されるもので松山式土器と同時期にあたることから成立期の一型式の土器として位置付けできる。

（注）

『36年報告』のなかで賀川は鈴木分類を受けて３類７形式に分類している。

「く」字口縁の土器群を１類とし、断面三角形の口縁で鈴木分類の下層出土の土器群を１類Ｌ（Ｌ１－１・Ｌ１－２、Ｌ２－１～Ｌ２－４）。口縁がやや「く」字形に発達し肩部の張りが著しく文様帯は長く延びる土器群を１類Ｍ（Ｍ１－１・Ｍ１－２、Ｍ２－１～Ｍ２－６・Ｍ２－11・Ｍ２－12・Ｍ２－14）。口縁内部も内湾して「く」字形に延びる土器群を１類Ｕ（Ｕ１－１～Ｕ１－３、Ｕ２－１～Ｕ２－４・Ｕ２－６・Ｕ２－９）としている。

口縁部断面が平に切れる傾向のある土器群を２類とし、直立し山形に隆起した口縁部に凸状の突起部やその下部に把手状の突起があるものを２類Ｍ（Ｍ１－４・Ｍ１－５、Ｍ２－７～Ｍ２－1）がこのタイプである。

２類Ｕ～口縁部４ヵ所に突起を配するものを２類Ｕ（Ｕ１－５～Ｕ１－７、Ｕ２－１～Ｕ２－７）としている。

口縁断面が丸く肩部が張る土器群を３類とし、口縁部断面がやや凸状にふくらみ胴部が丸く張りをもつ甕形土器を３類Ｍ（Ｍ１－３、Ｍ２－13）がこのタイプである。

３類Ｕ～口縁部の突帯に発達した張りがなく丸みを持ちゆるやかに胴張りをした甕形土器を３類Ｕ（Ｕ１－４、Ｕ２－７）としている。

さらに、下弓田下層出土の１類Ｌの土器を市来式の前段階として下弓田式土器と仮称している。この１類Ｌの土器は屈折部以上が非常にせばめられ、施文帯も狭く直行に近い断面を示す「く」字口縁の土器が主流をなしている。賀川はこの下弓田下層の１類Ｌ（下弓田式土器）を草野Ｖ層の土器と対比させ後期中葉後半としている。そして、下弓田中層の１類Ｍを市来式土器と対比させ後期末葉前半に、下弓田上層の１類Ｕを後期末葉後半においている。

引用および参考文献

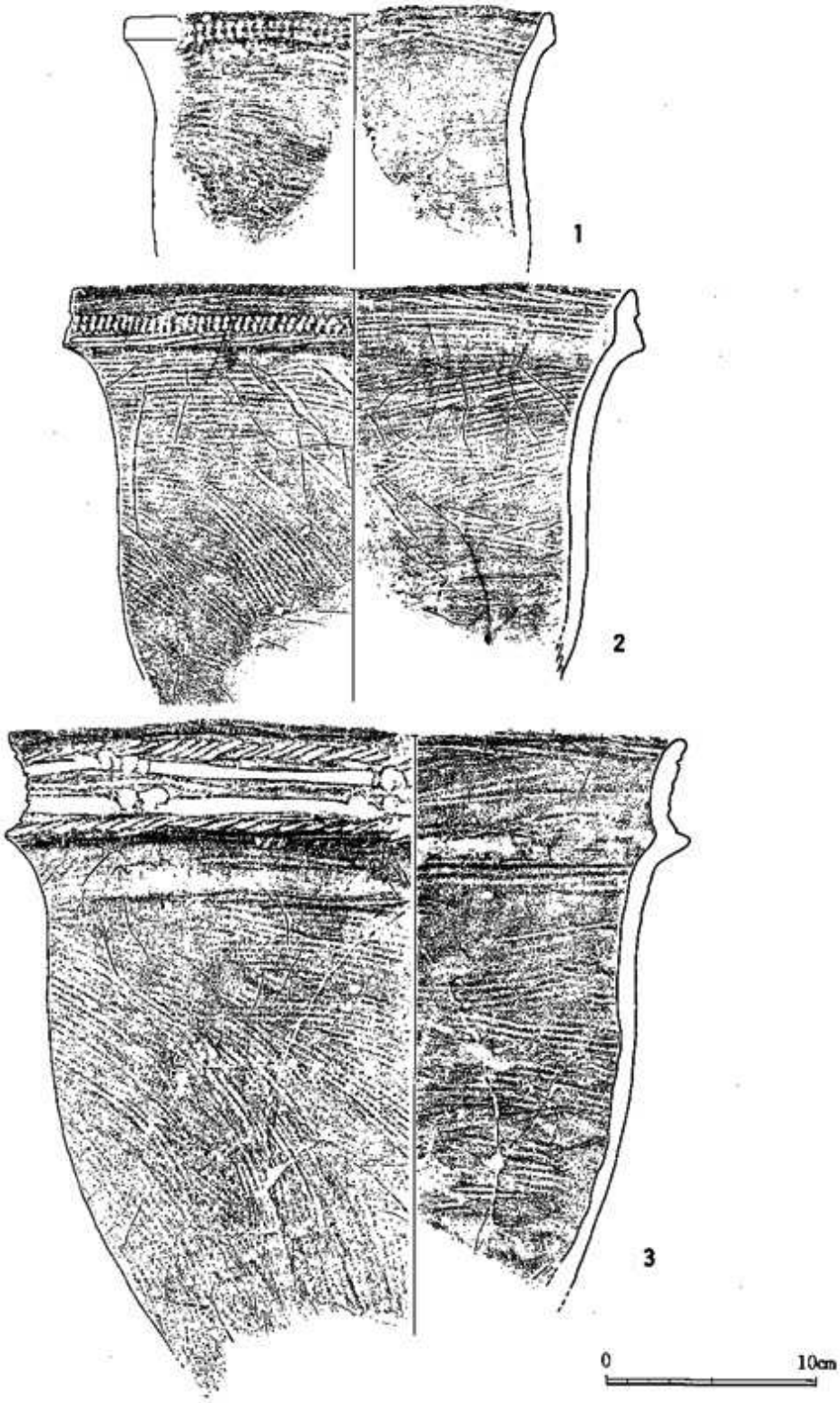
(1) 出口浩ほか「草野貝塚」『鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（9）』鹿児島市教育委員会　昭和63年（1988）

(2) 長津宗重・菅付和樹「丸野第２遺跡」『田野町文化財調査報告書第11集』田野町教育委員会平成２年（1990）

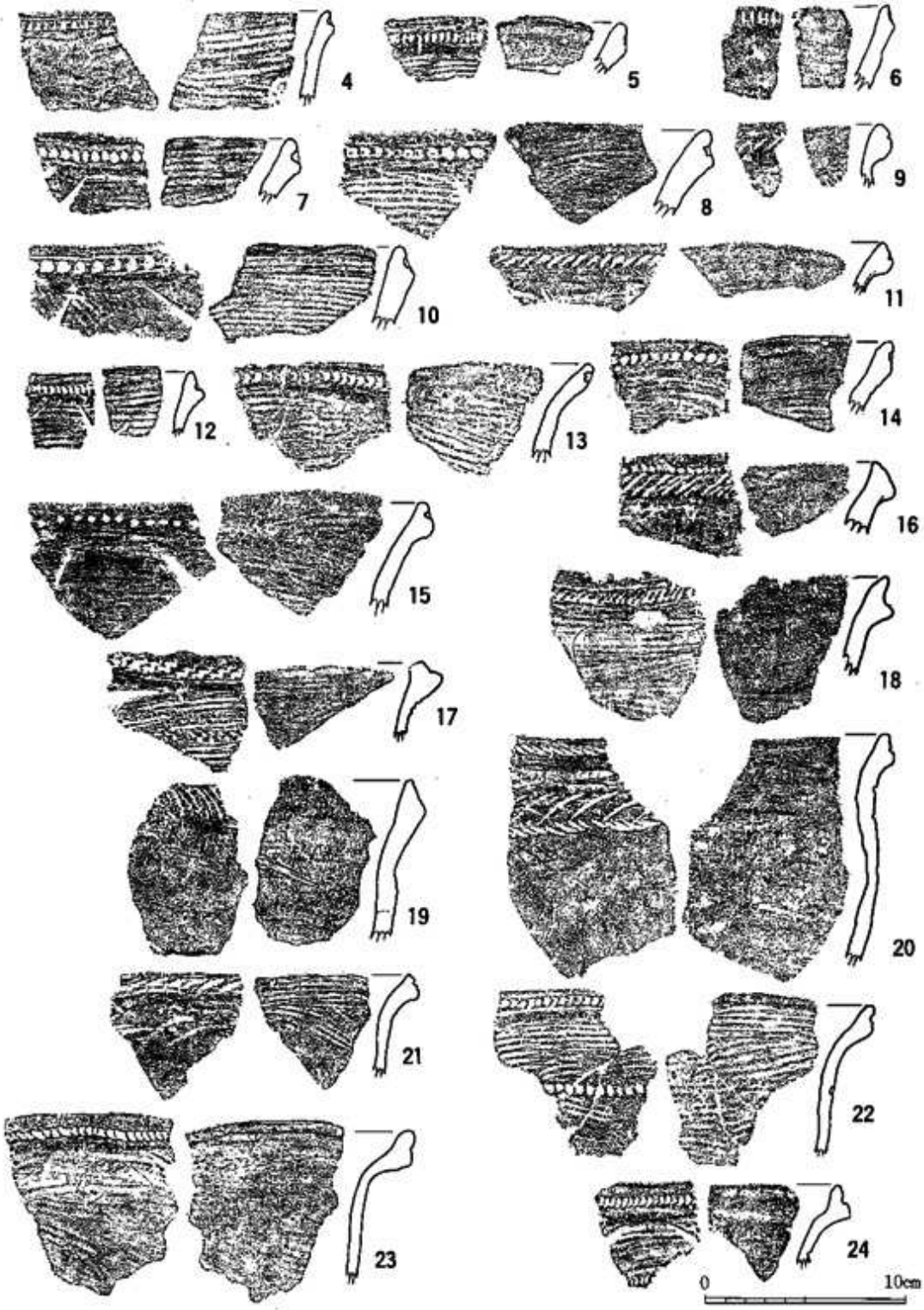
(3) 川賀光夫・鈴木重治ほか「下弓田遺跡」『日向遺跡総合調査報告第１輯』宮崎県教育委員会昭和36年（1961）

(4) 菅付和樹「下弓田遺跡」『宮崎県史　資料編　考古Ⅰ』宮崎県　平成元年（1989）

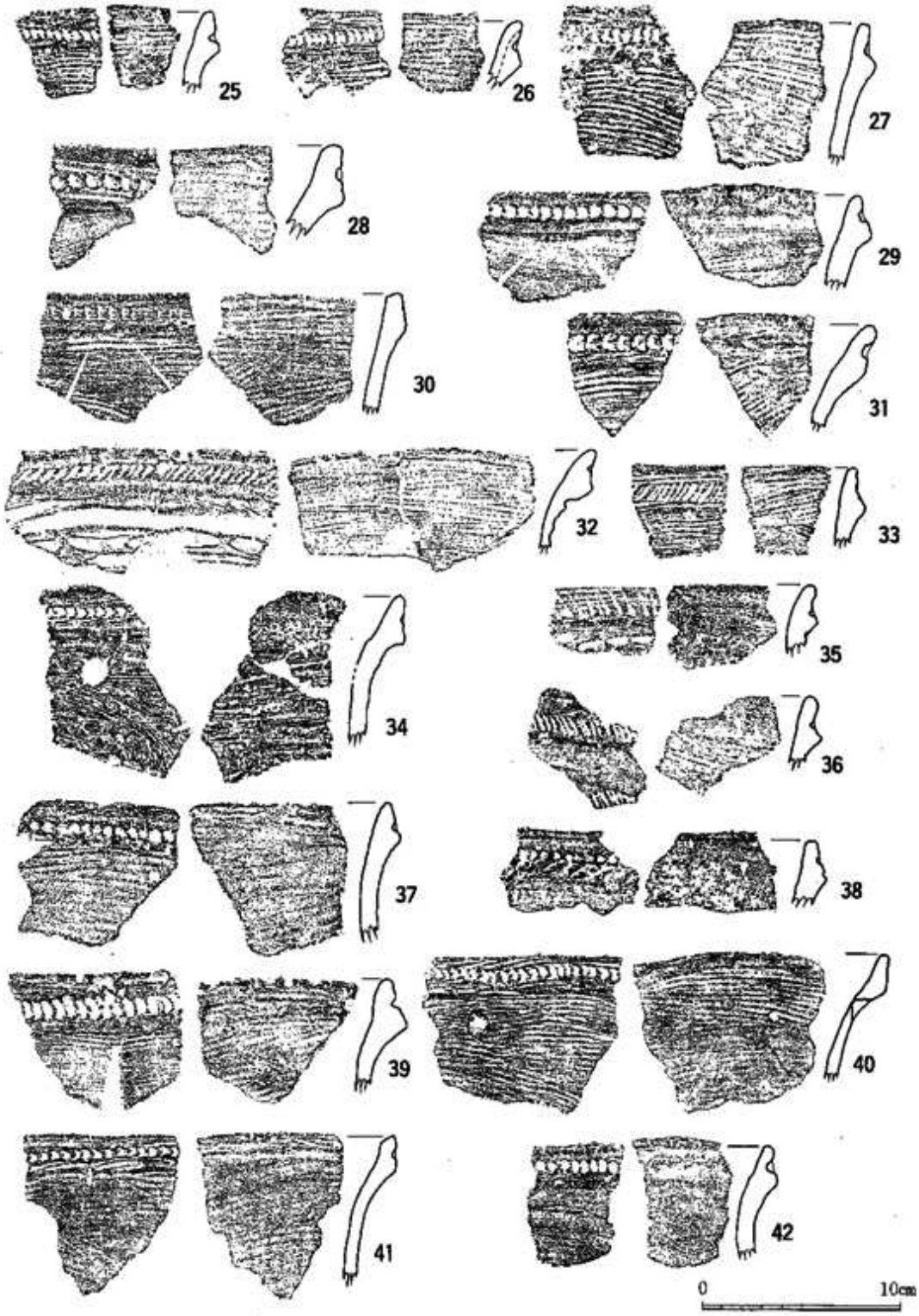
(5) 本田道輝「市来・一湊式土器様式」『縄文土器大観』４後期・晩期・続縄文　小学館　平成元年(1989)



第1図　土器実測図（1）

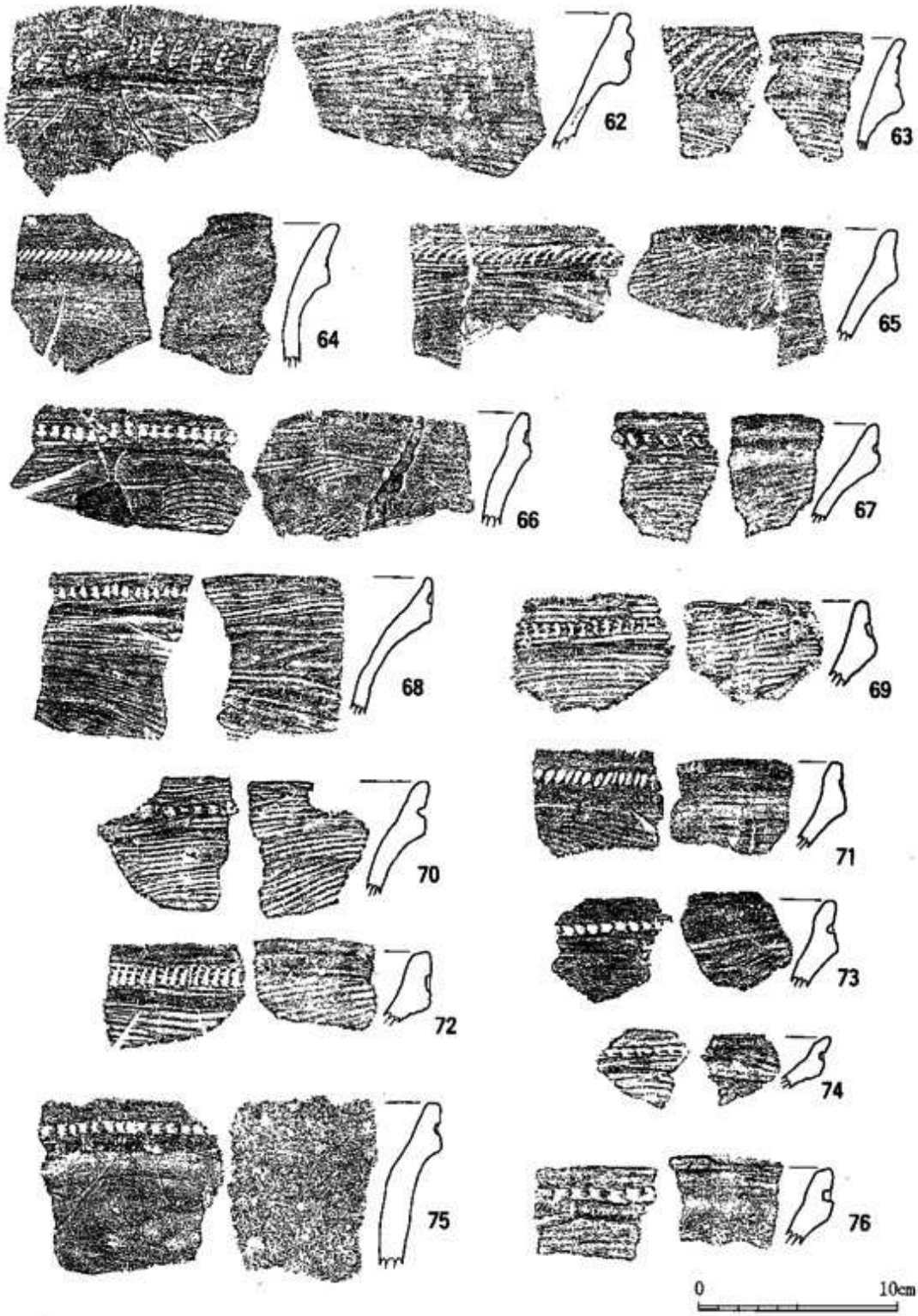


第2図　土器実測図（2）

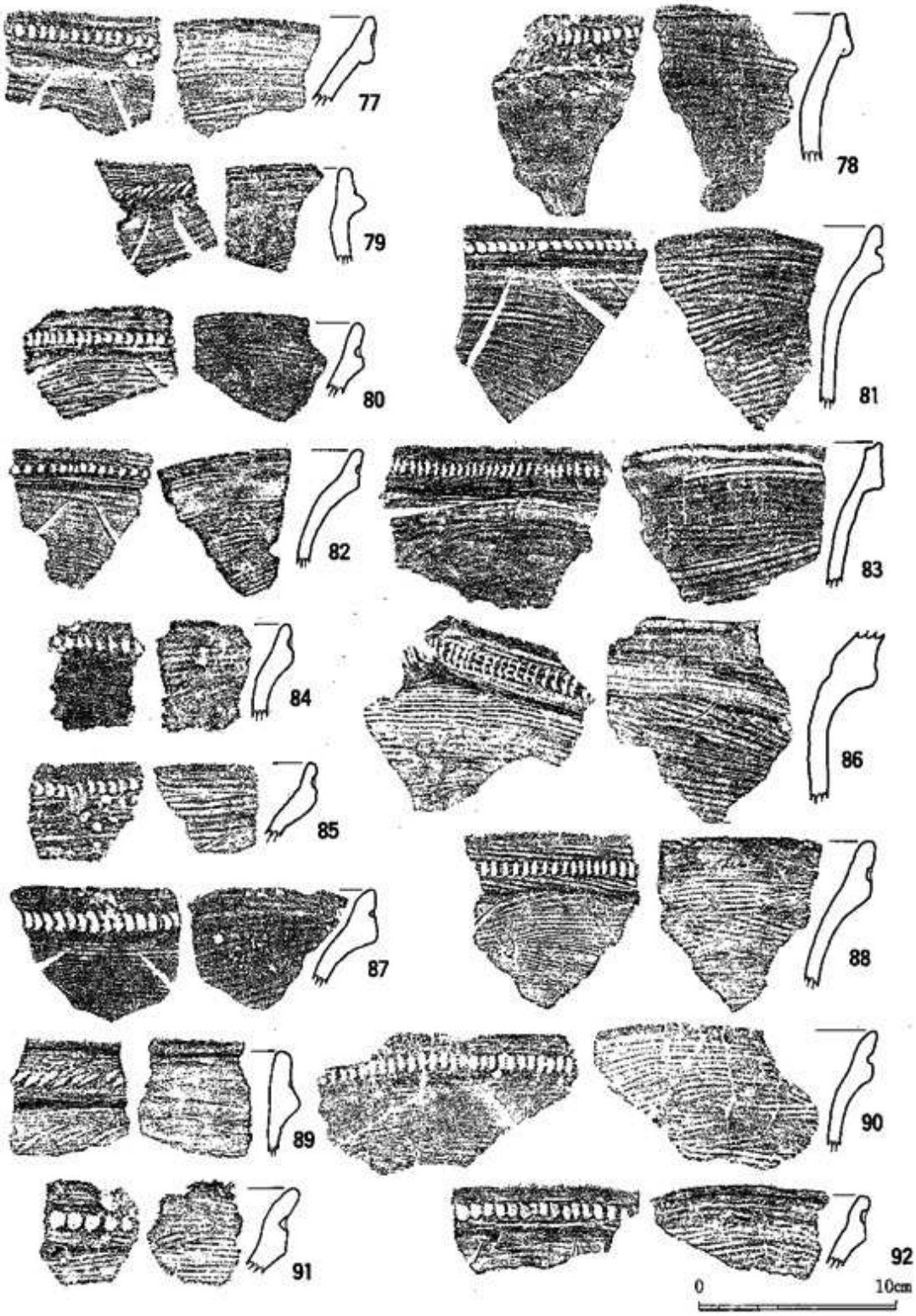


第3図　土器実測図（3）

第4図　土器実測図（4）

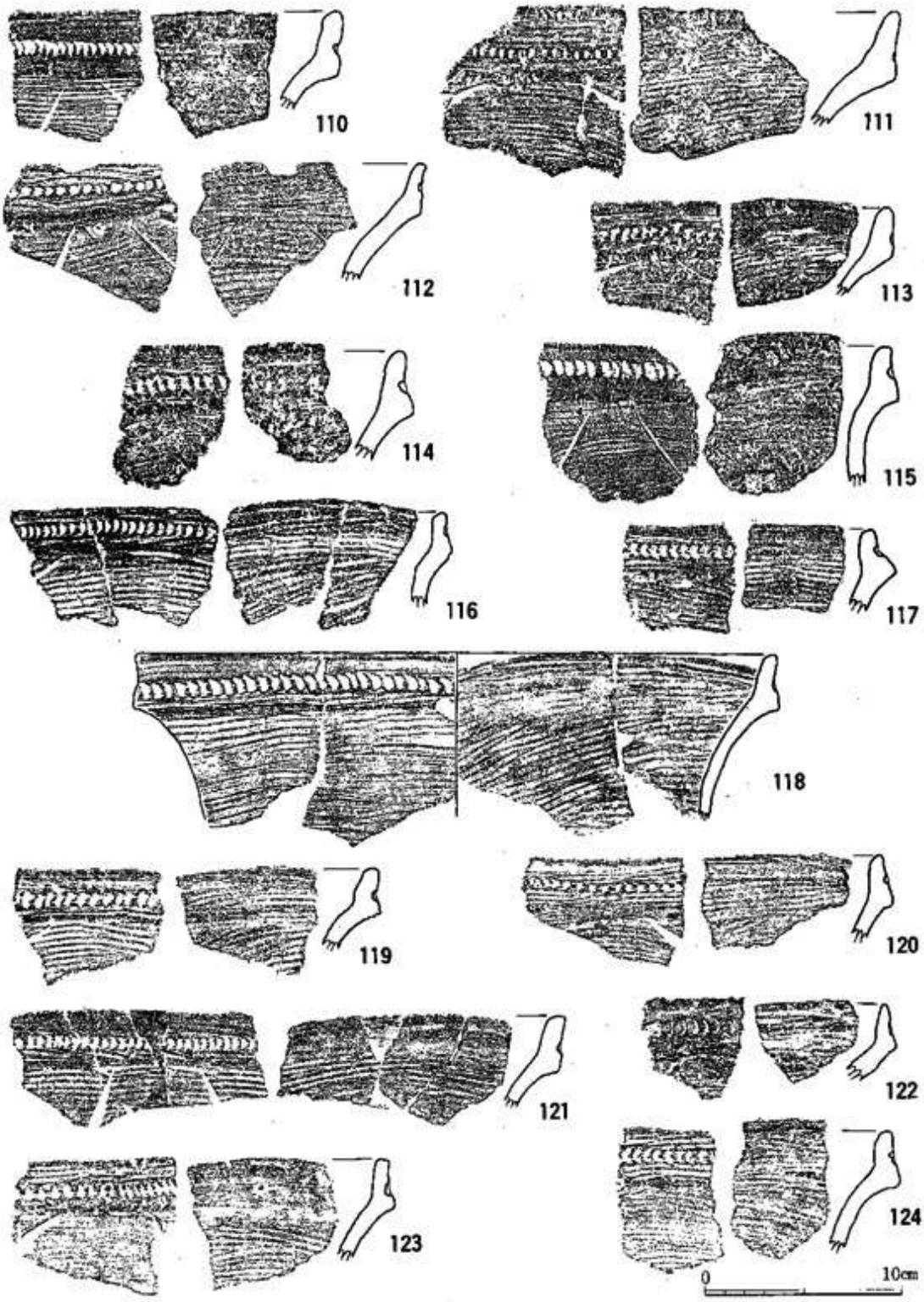


第5図　土器実測図（5）

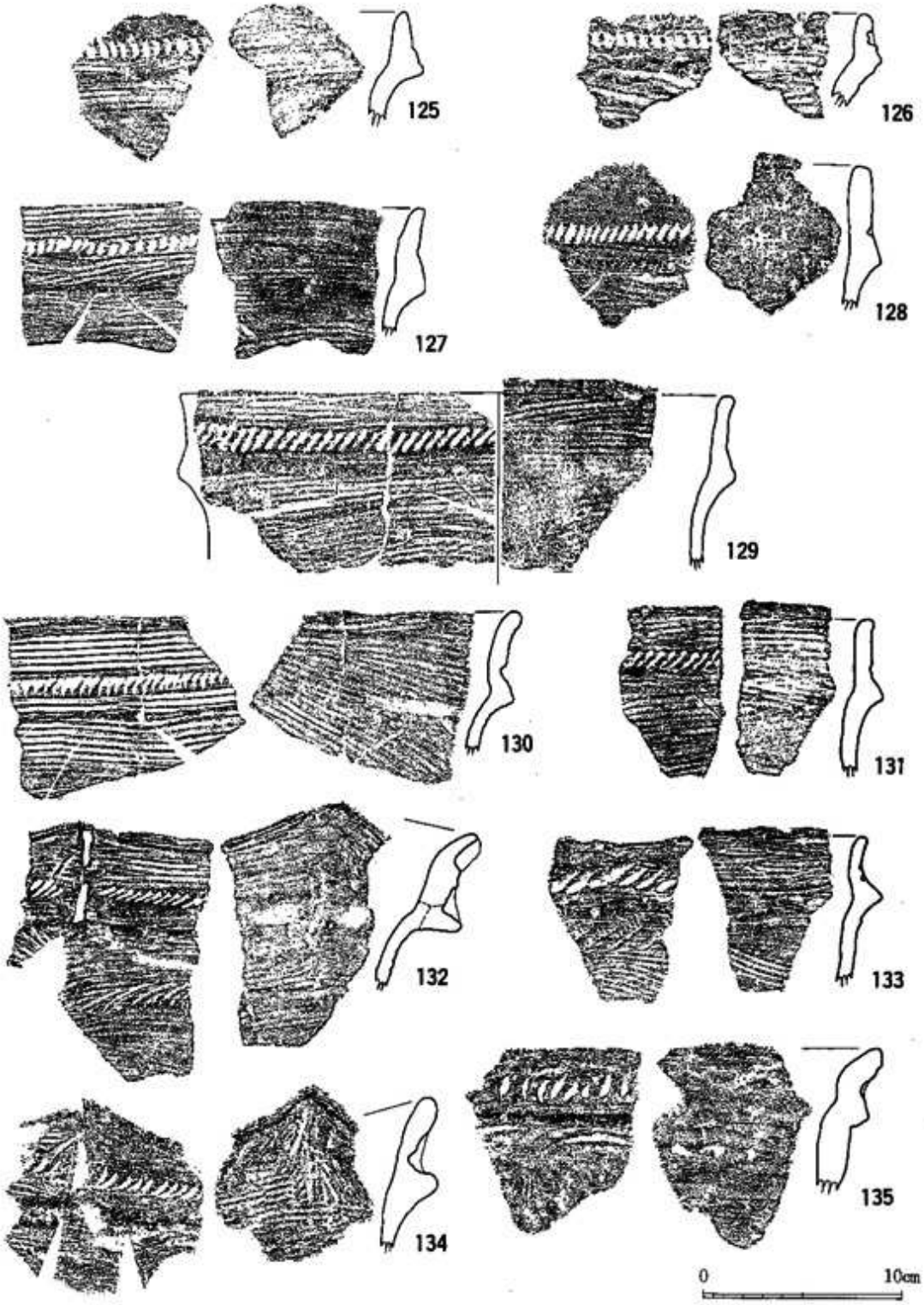


第6図　土器実測図（6）

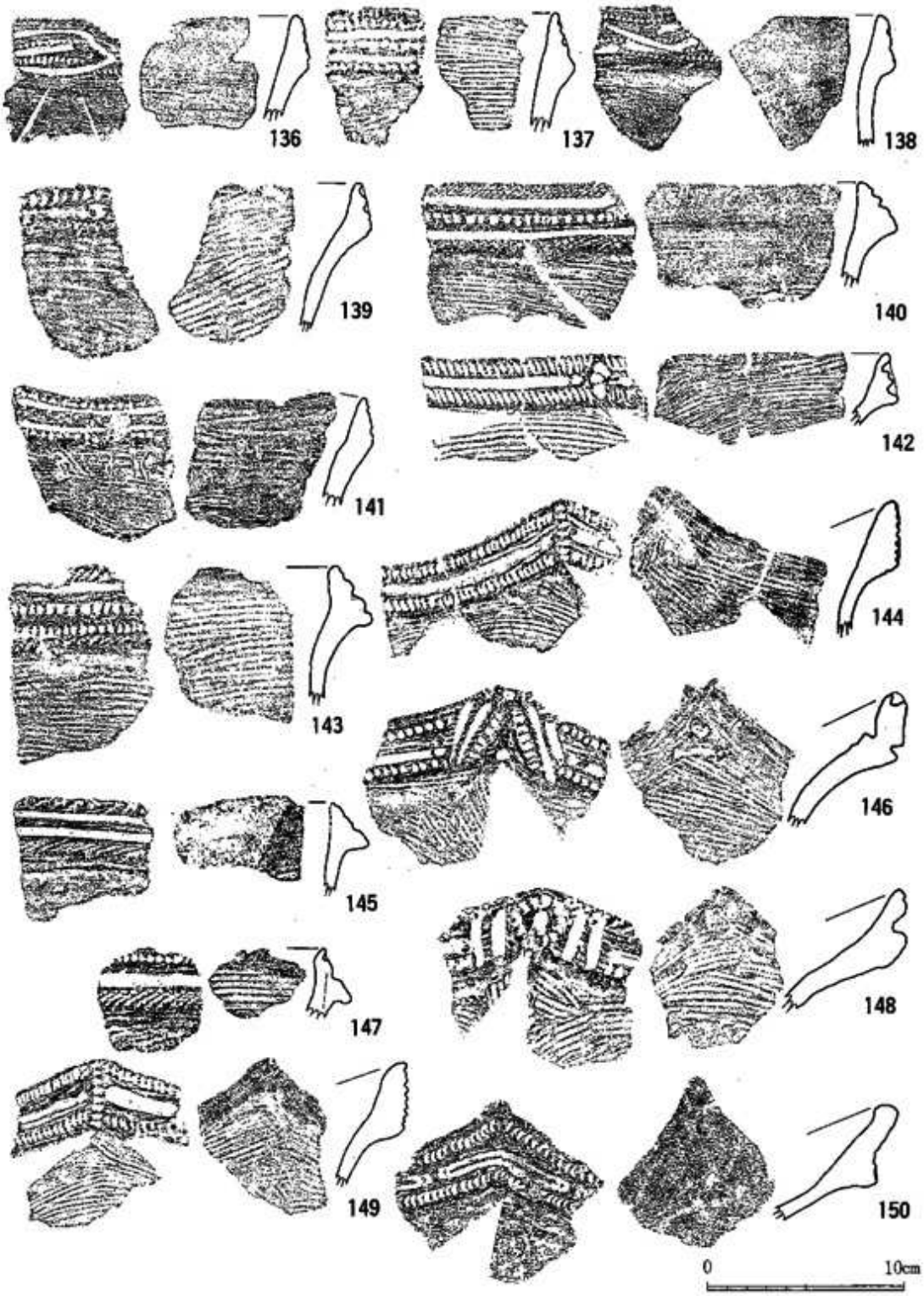
第7図　土器実測図（7）


110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
0
10cm

第8図　土器実測図（8）

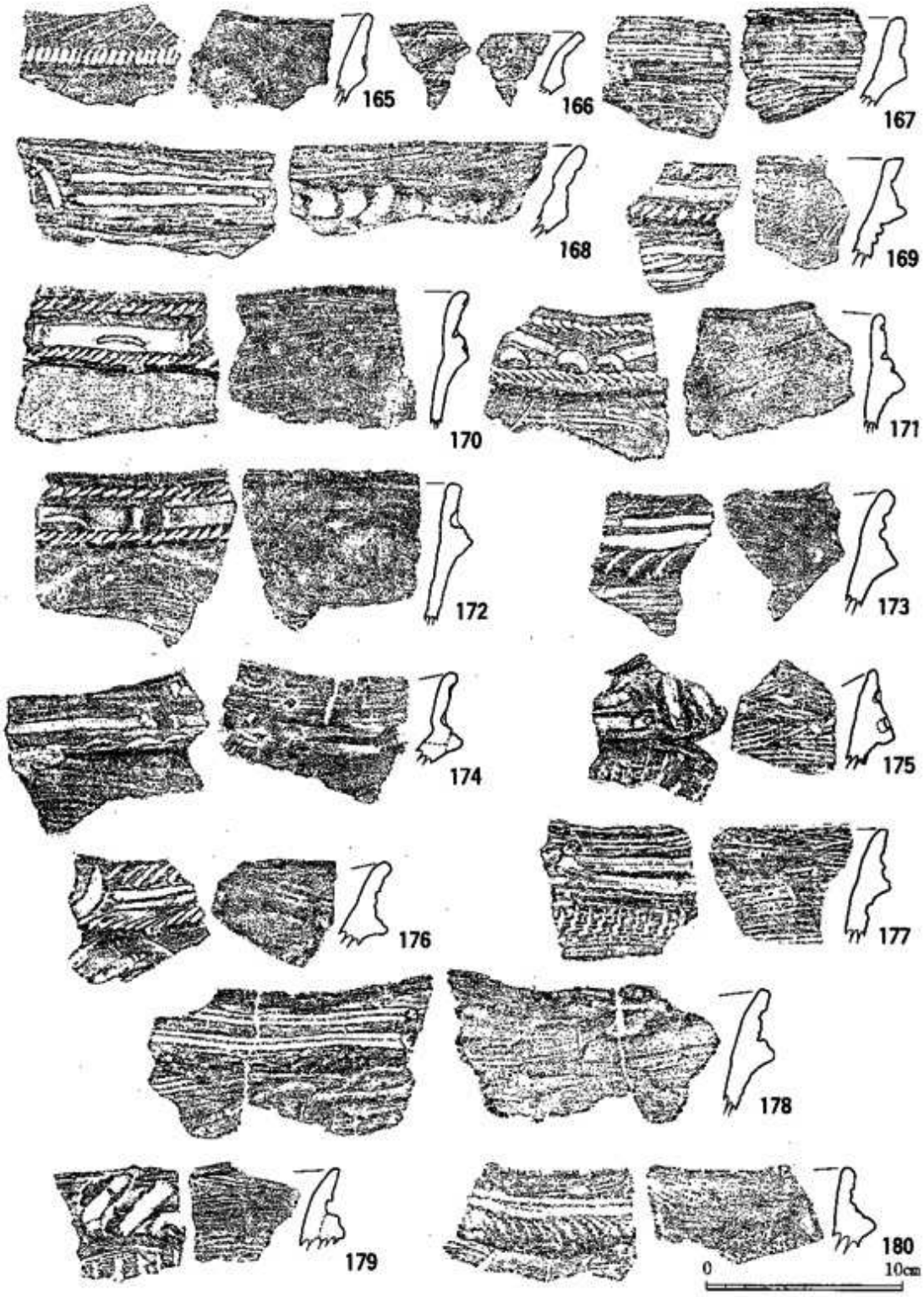


第9図　土器実測図（9）

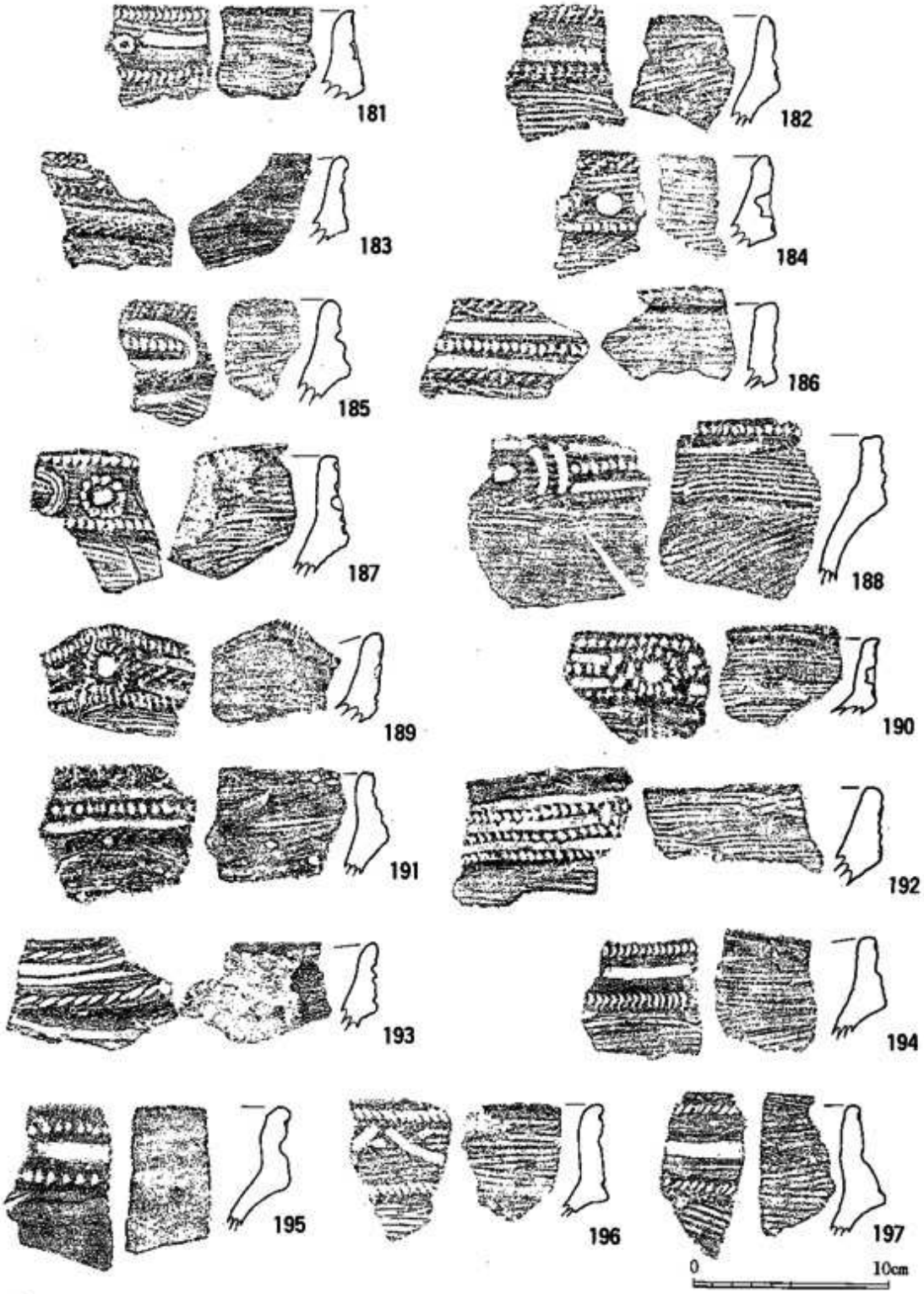


第10図　土器実測図（10）

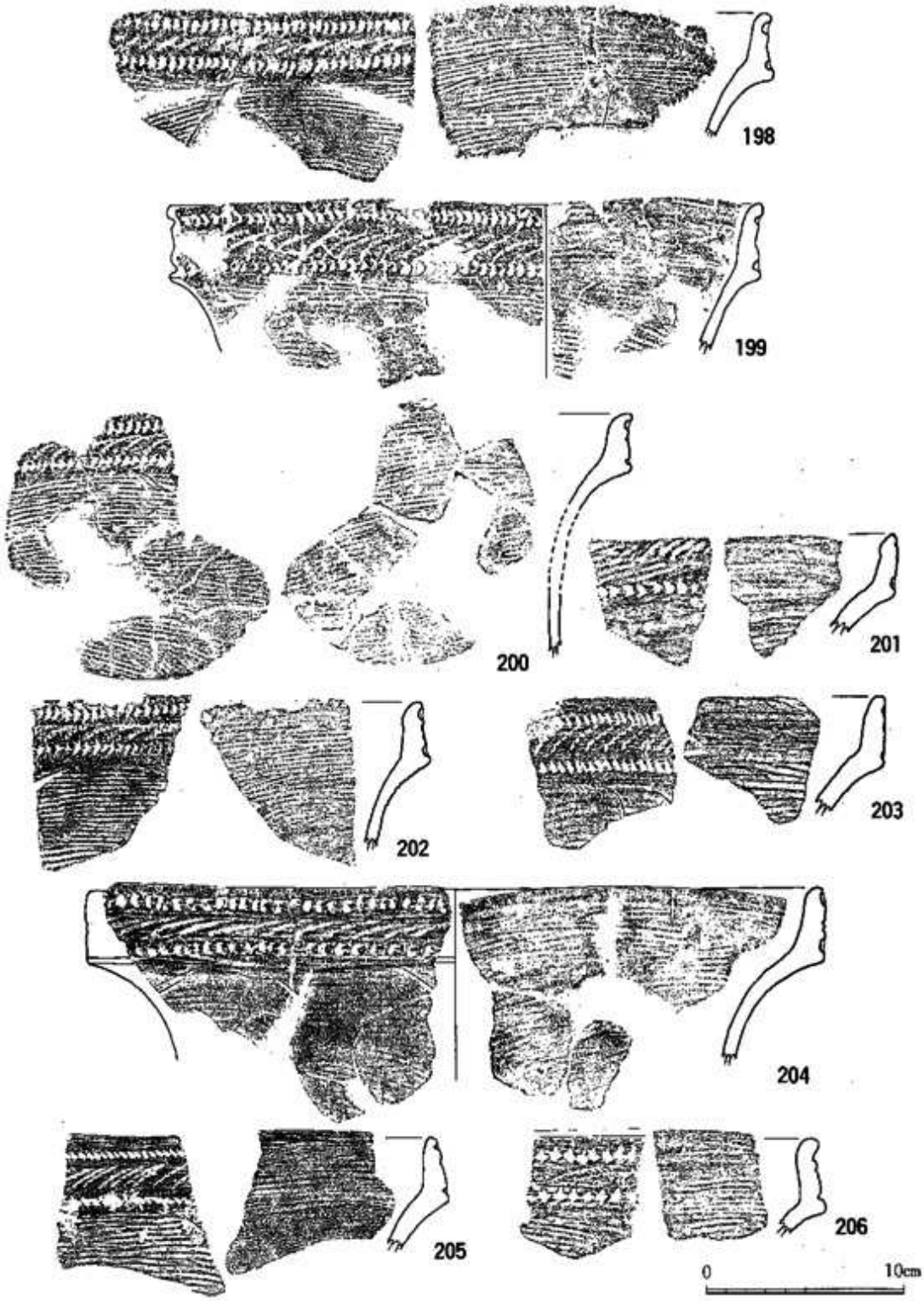
第11図　土器実測図（11）



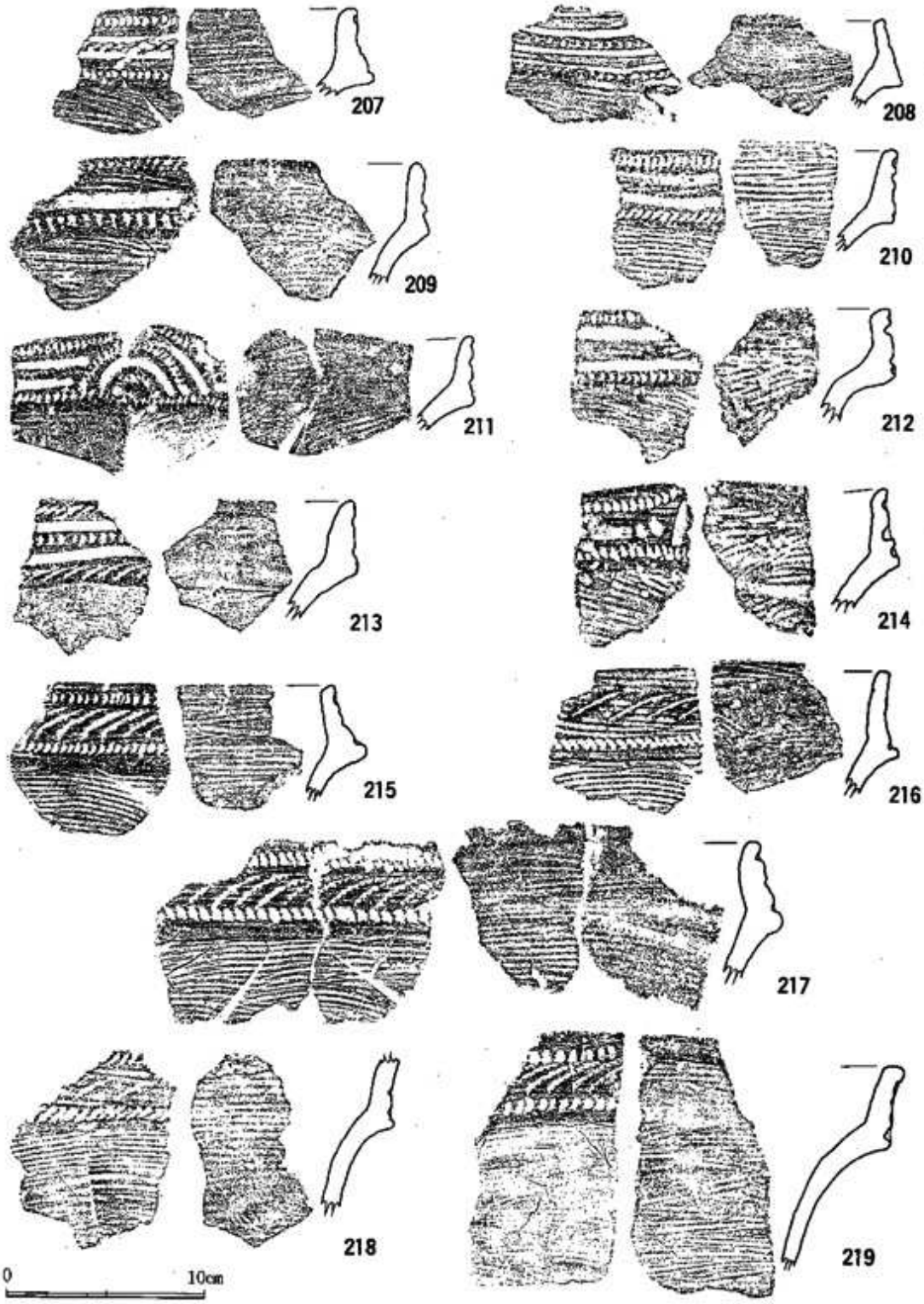
第12図　土器実測図（12）



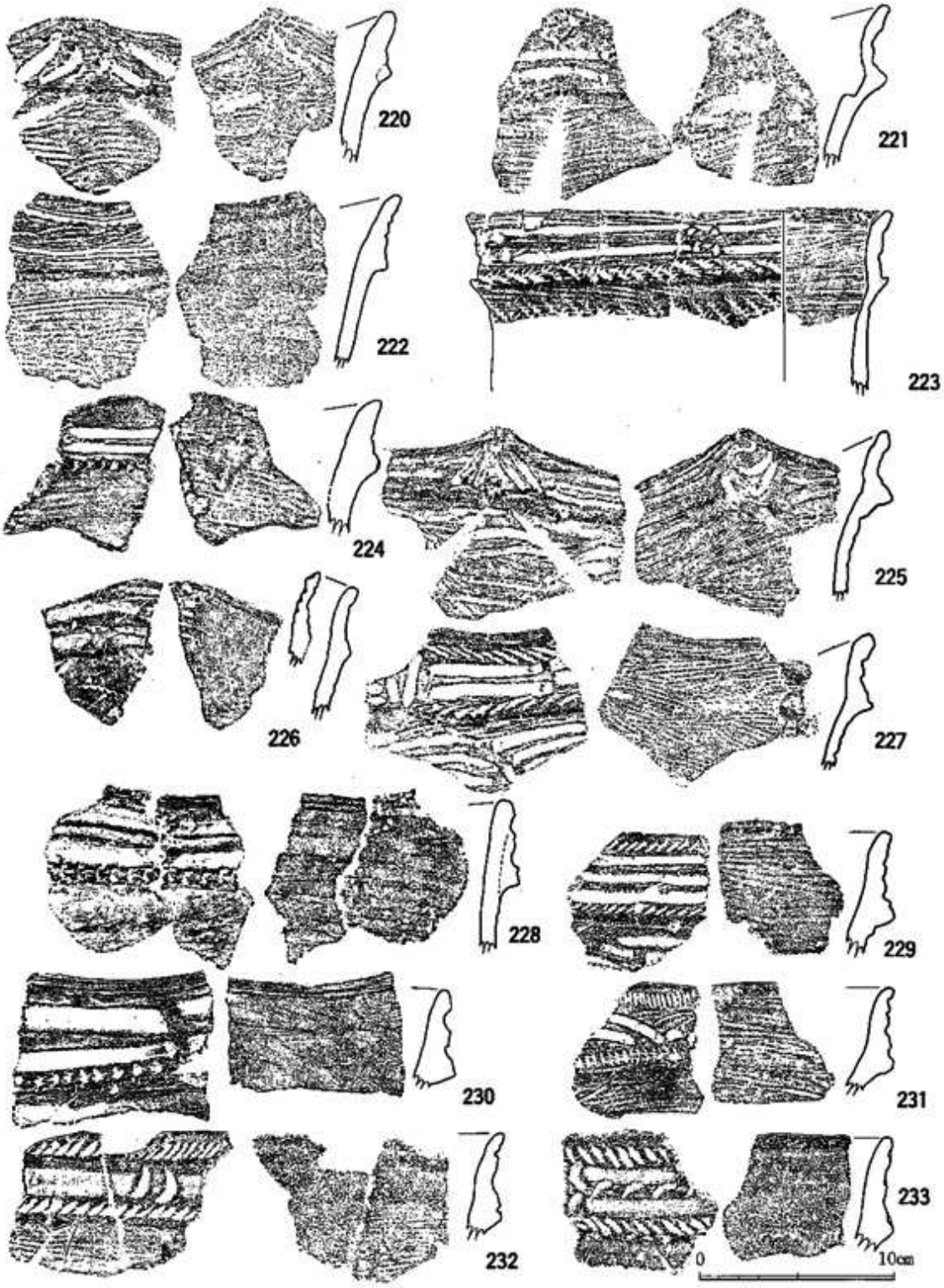
第13図　土器実測図（13）



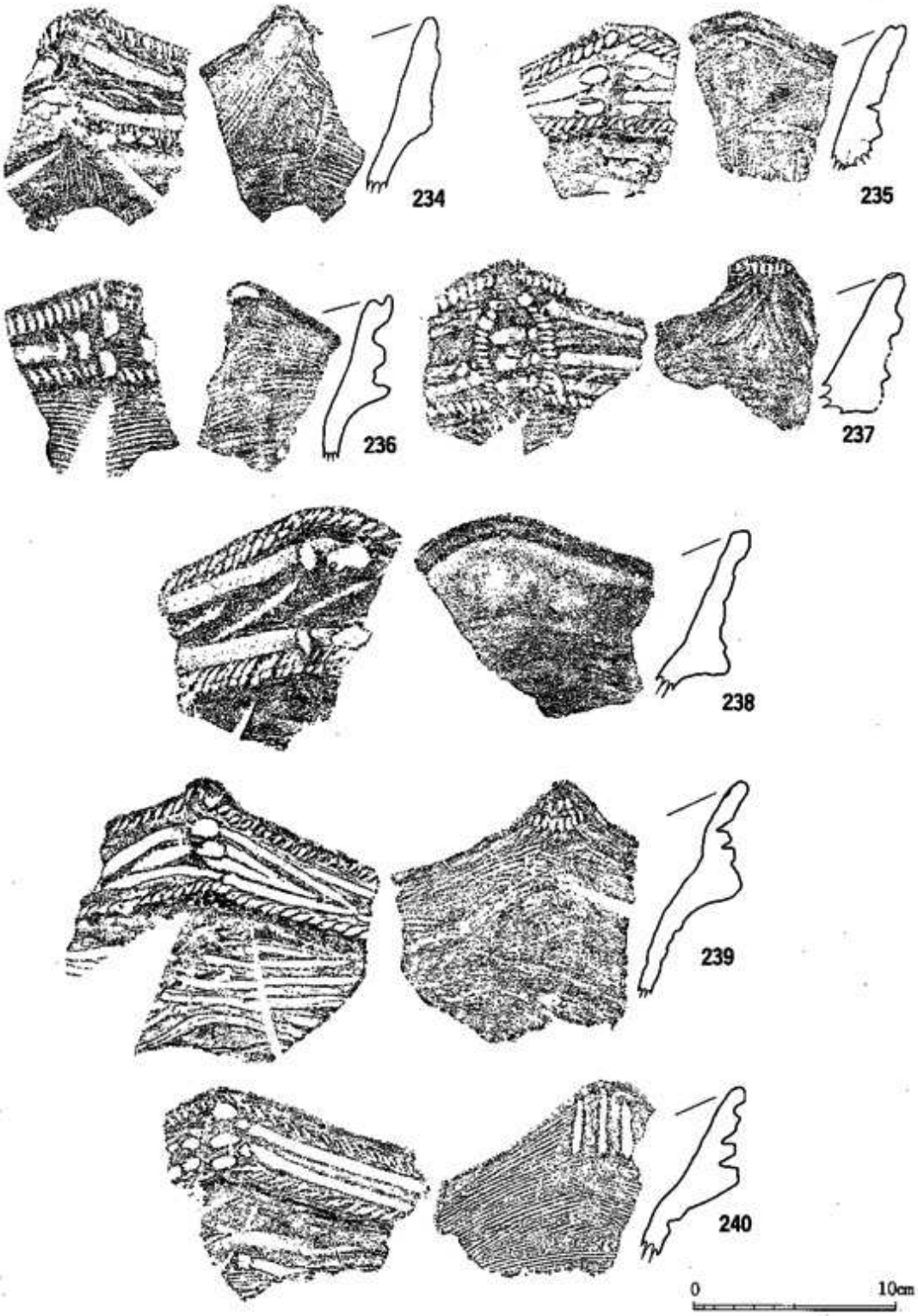
第14図　土器実測図（14）



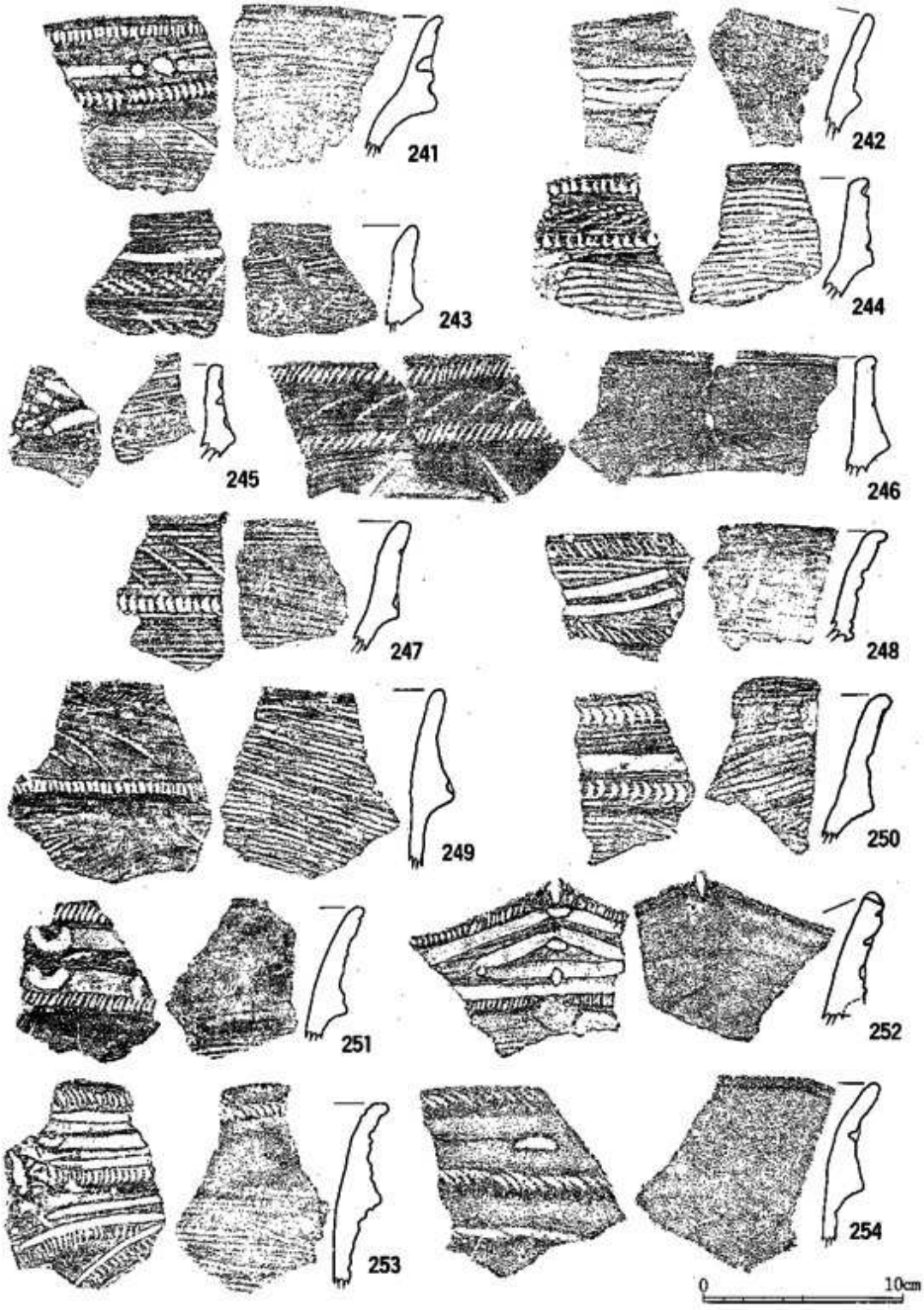
第15図　土器実測図（15）



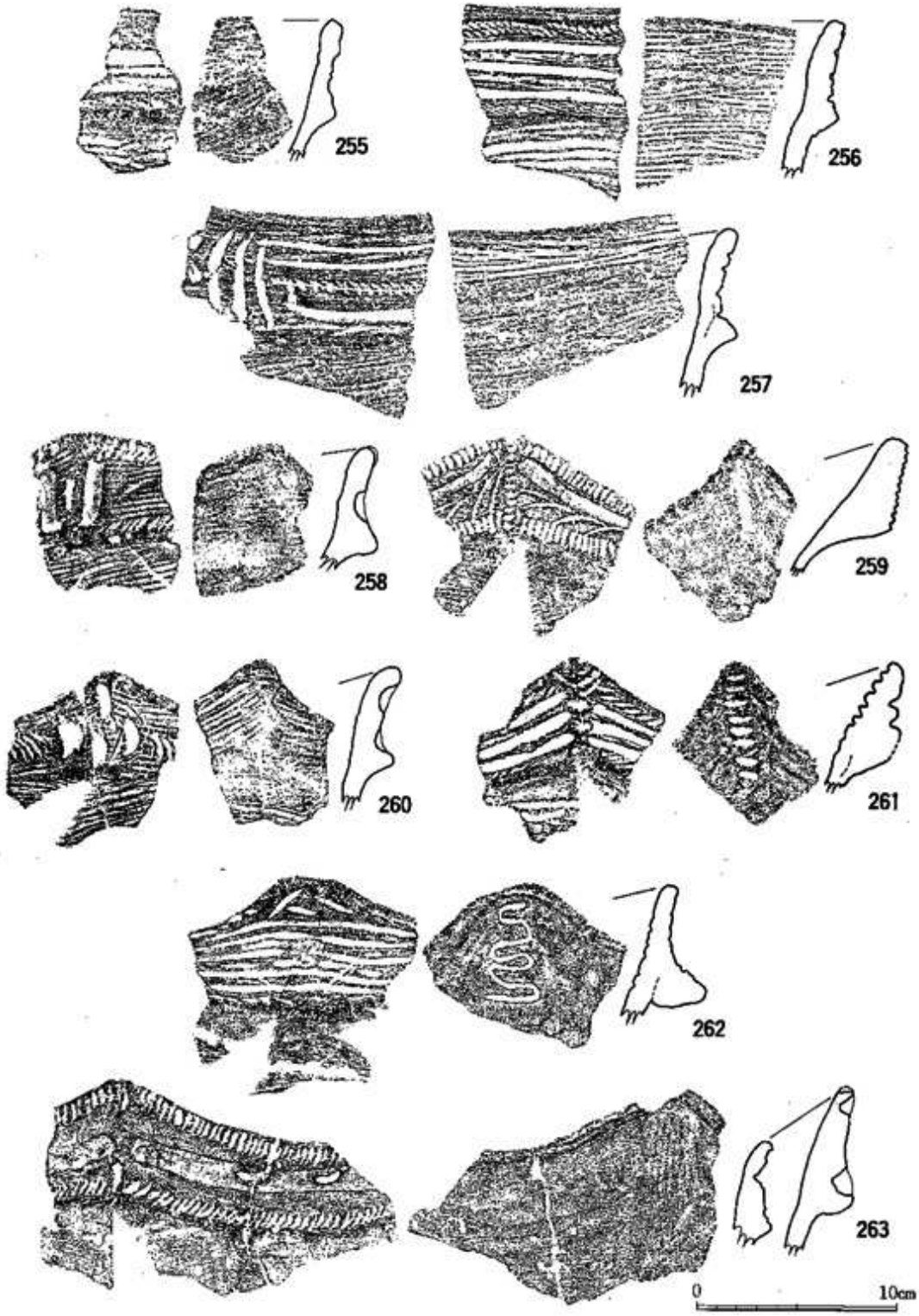
第16図　土器実測図（16）



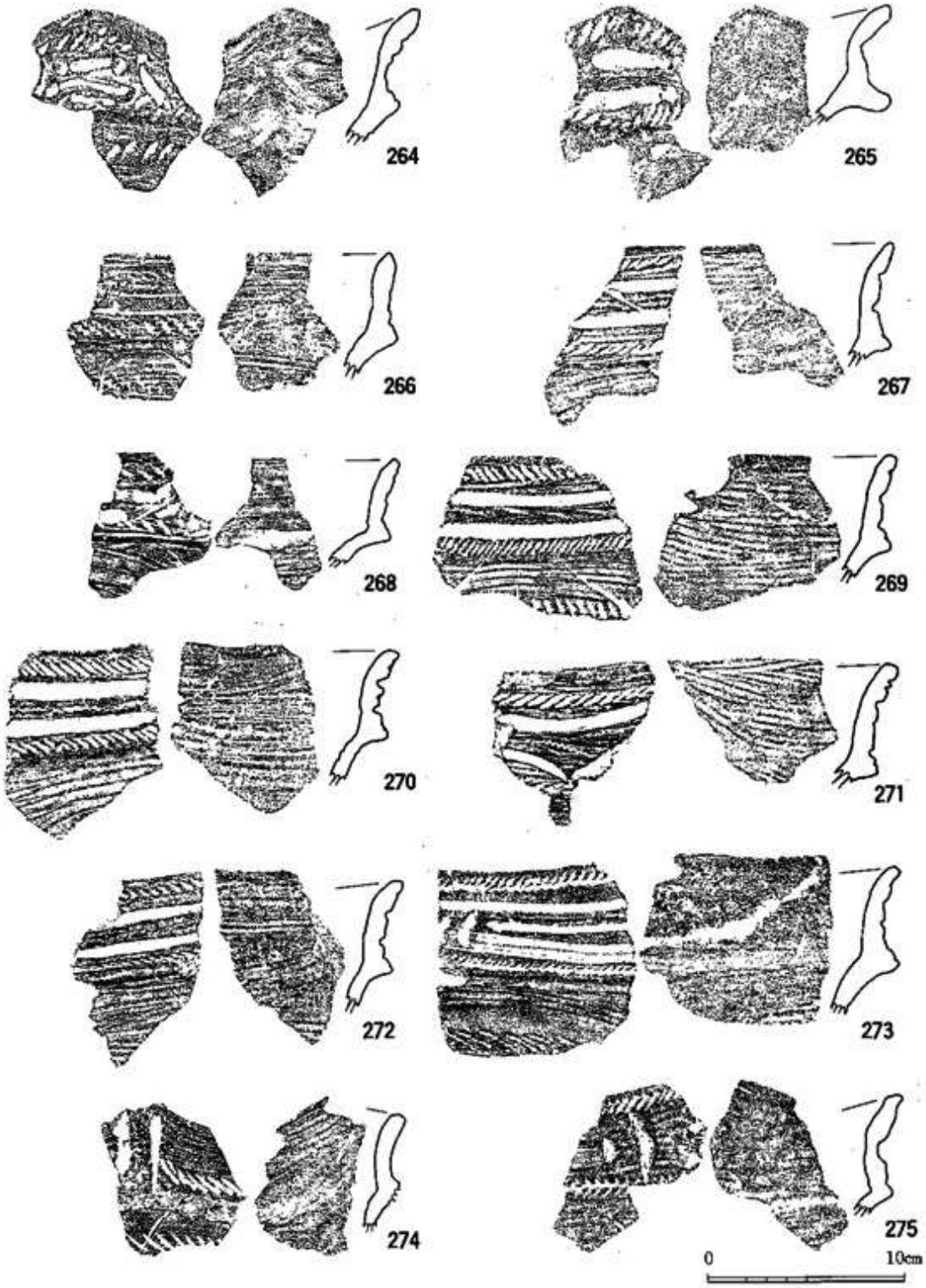
第17図　土器実測図（17）



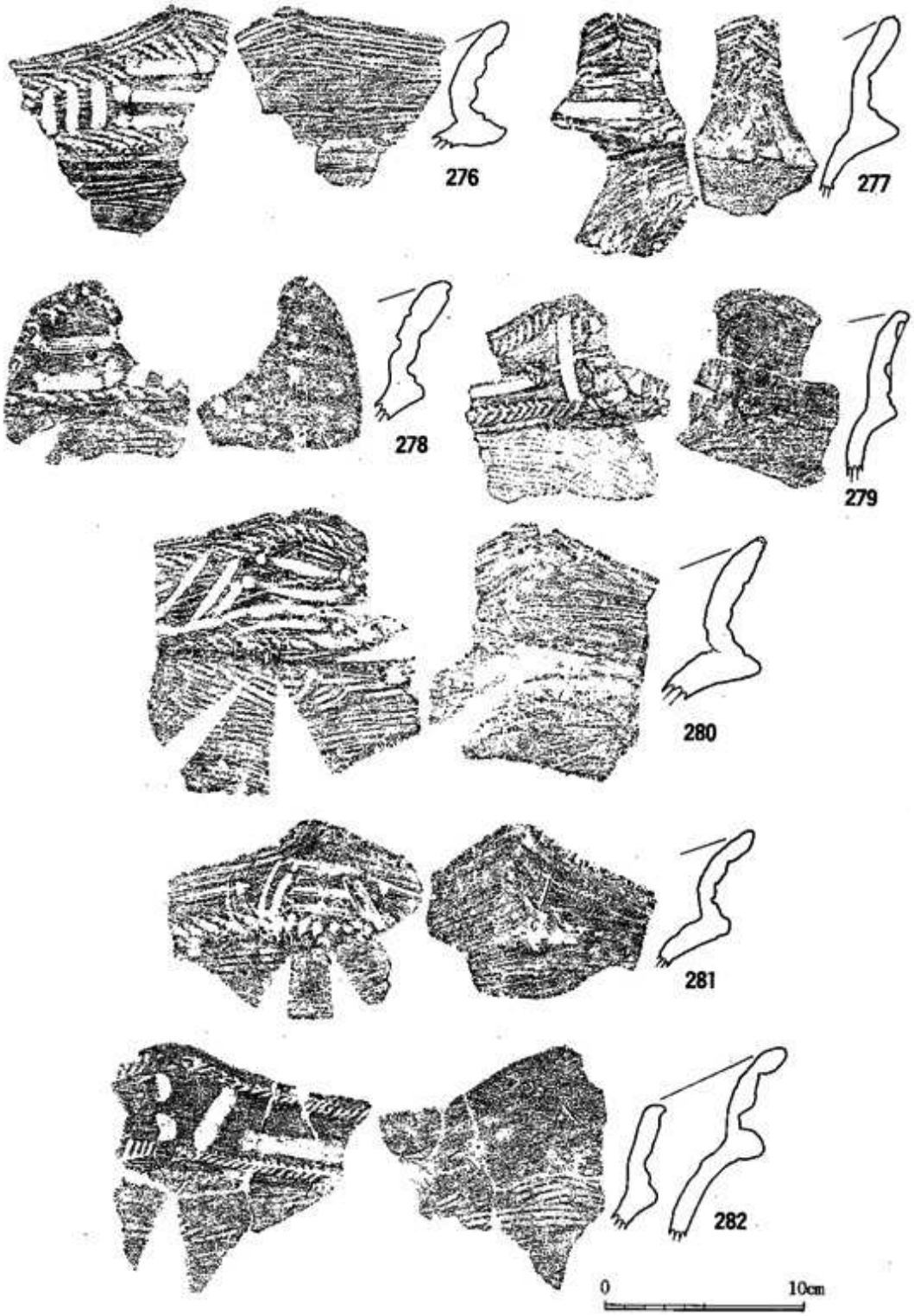
第18図　土器実測図（18）



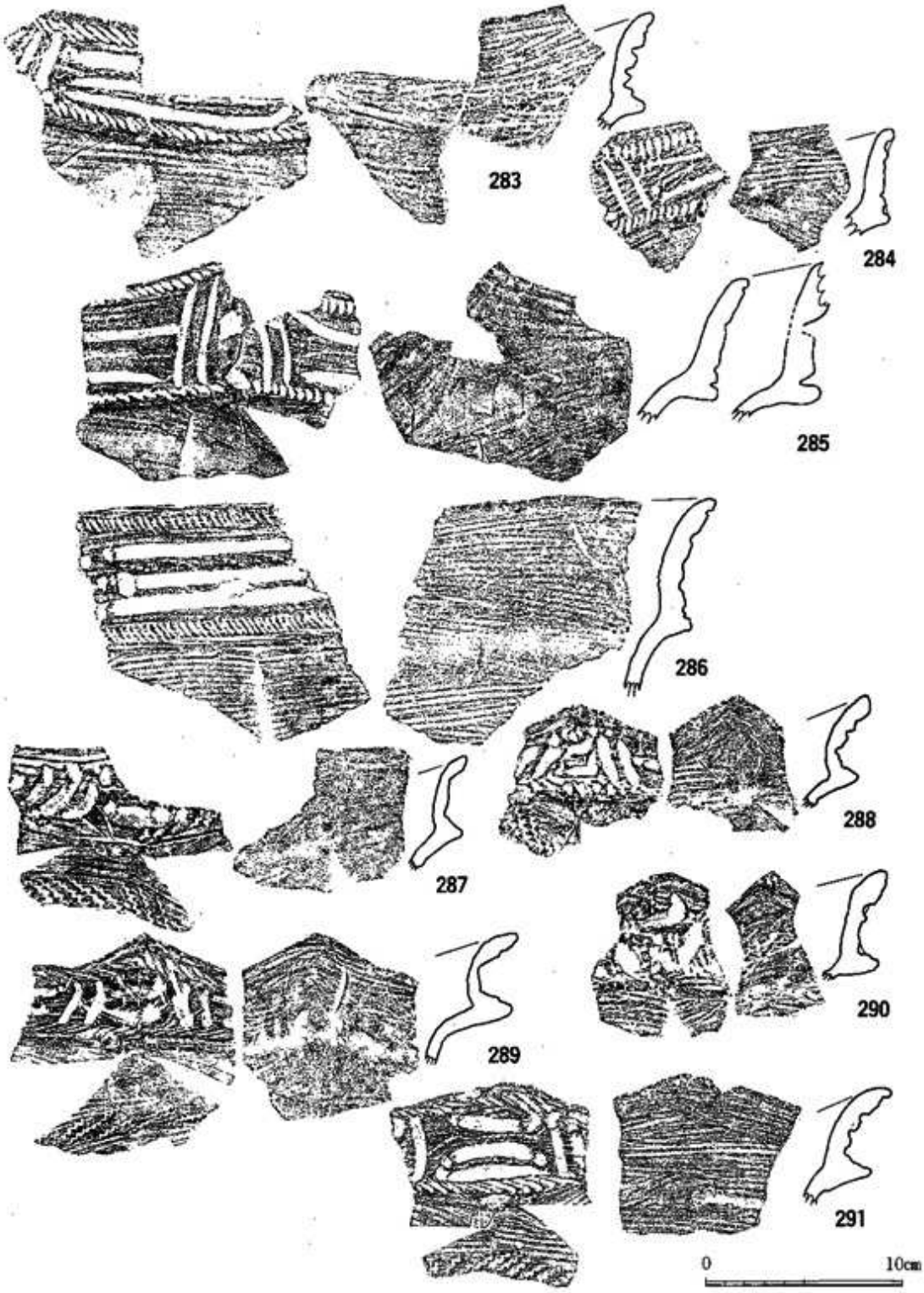
第19図　土器実測図（19）



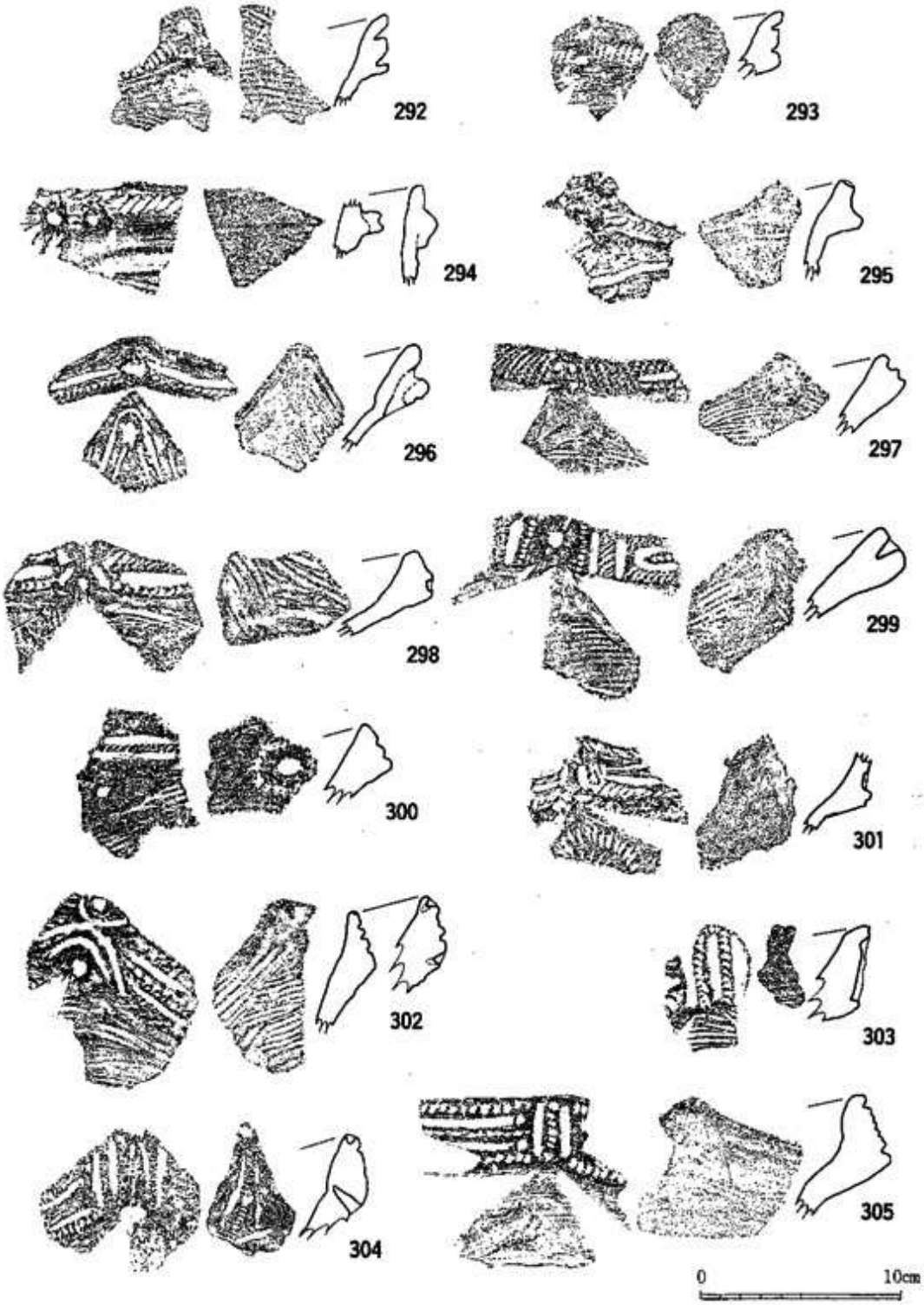
第20図　土器実測図（20）



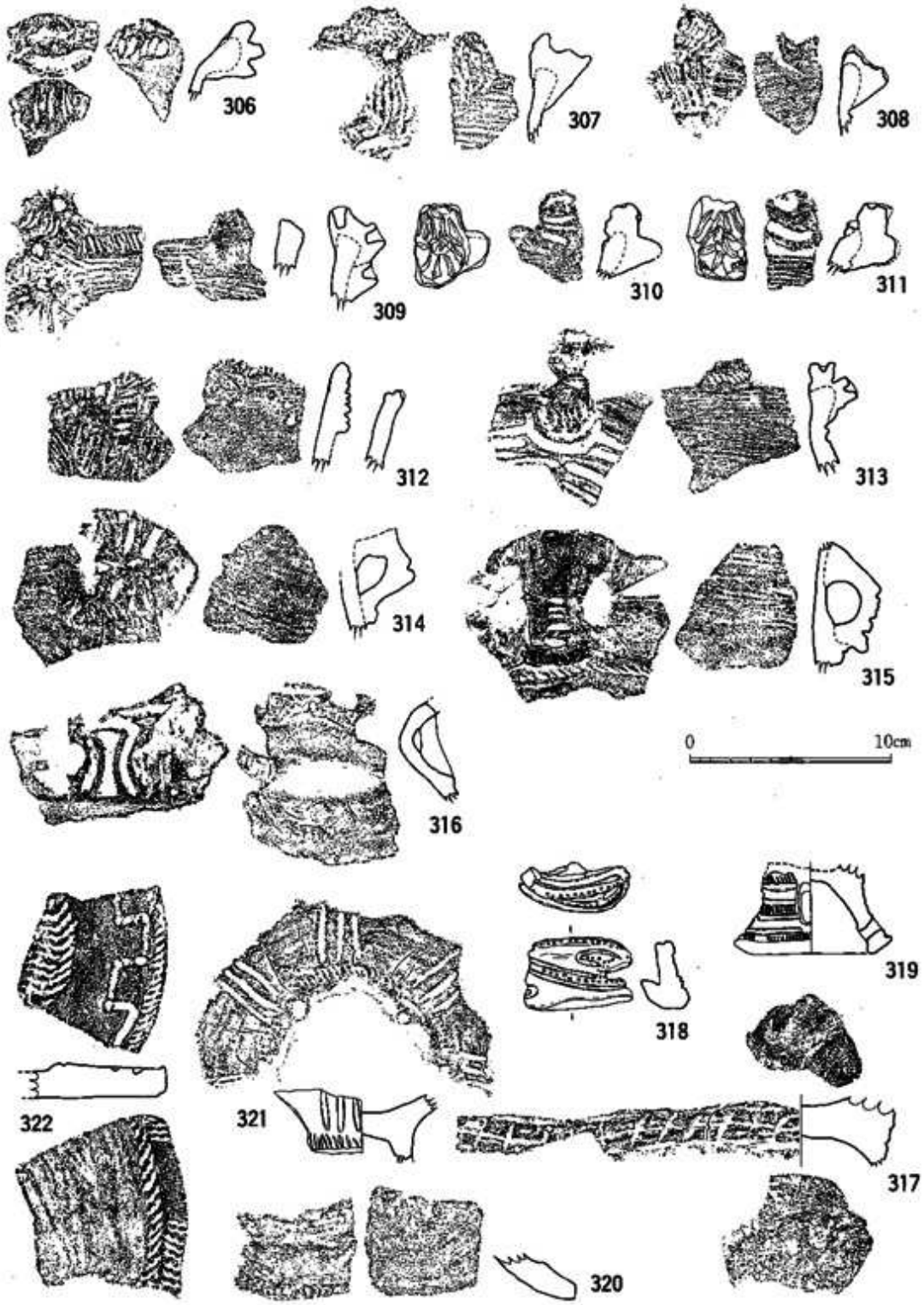
第21図　土器実測図（21）



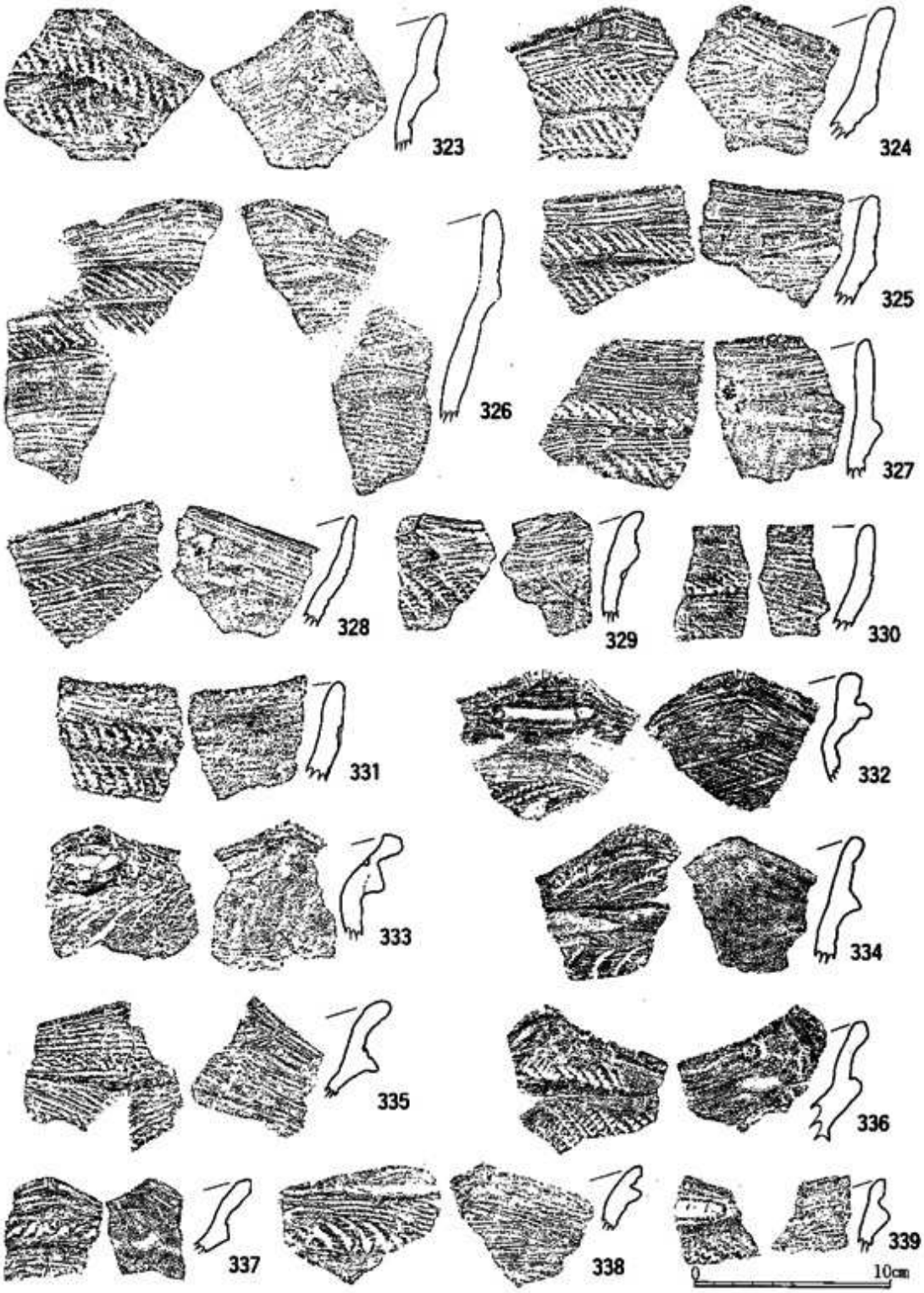
第22図　土器実測図（22）



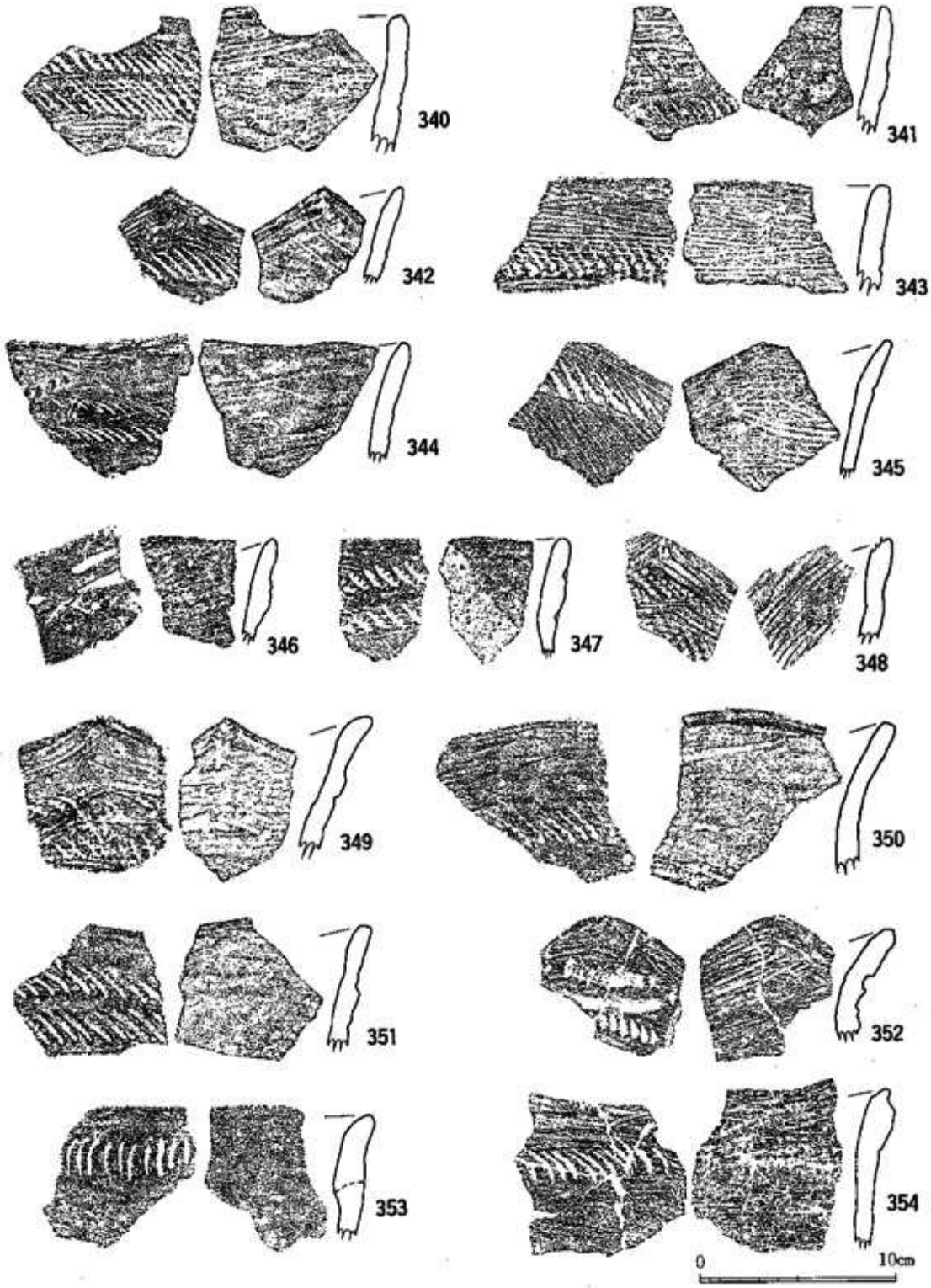
第23図　土器実測図（23）



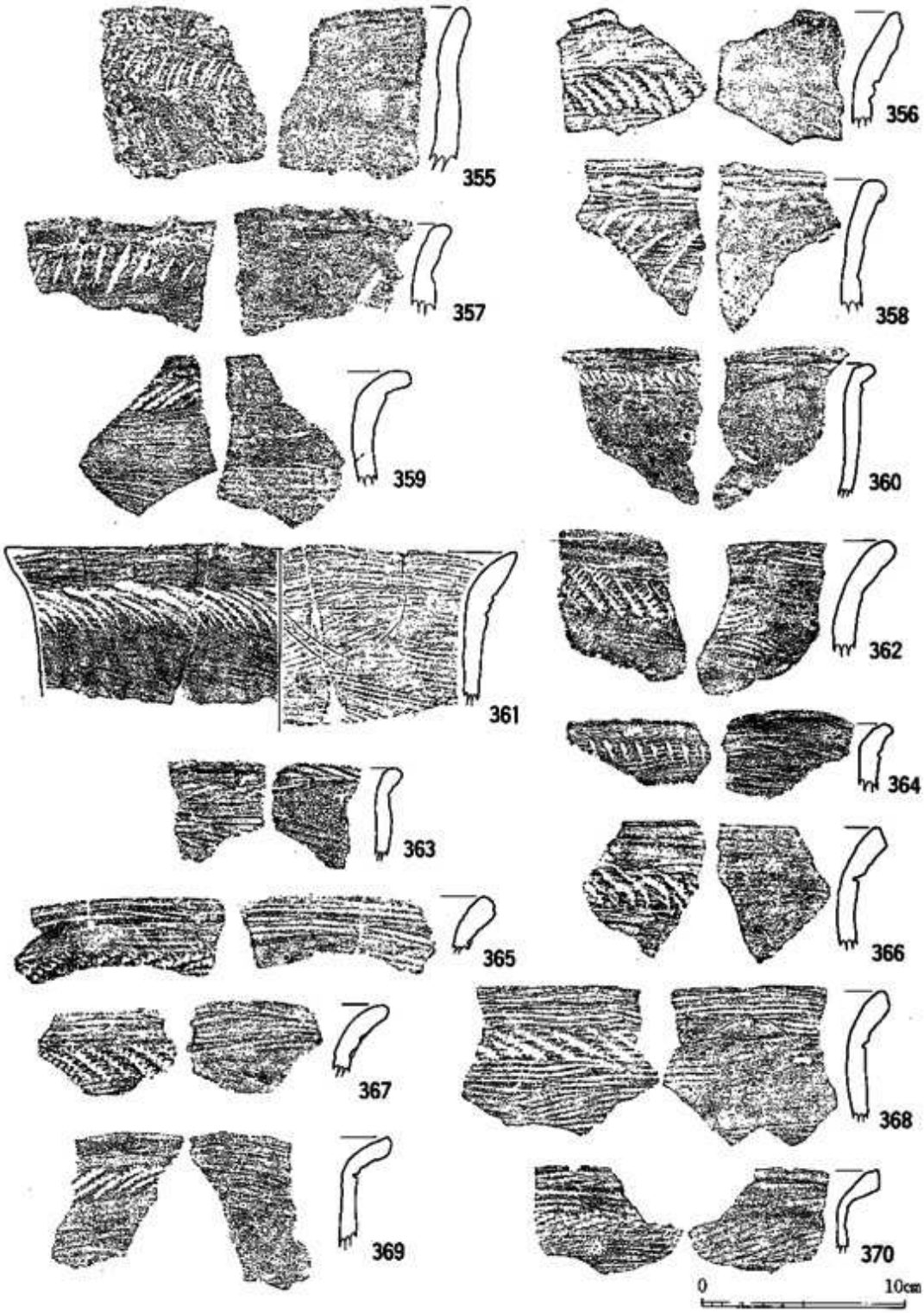
第24図　土器実測図（24）



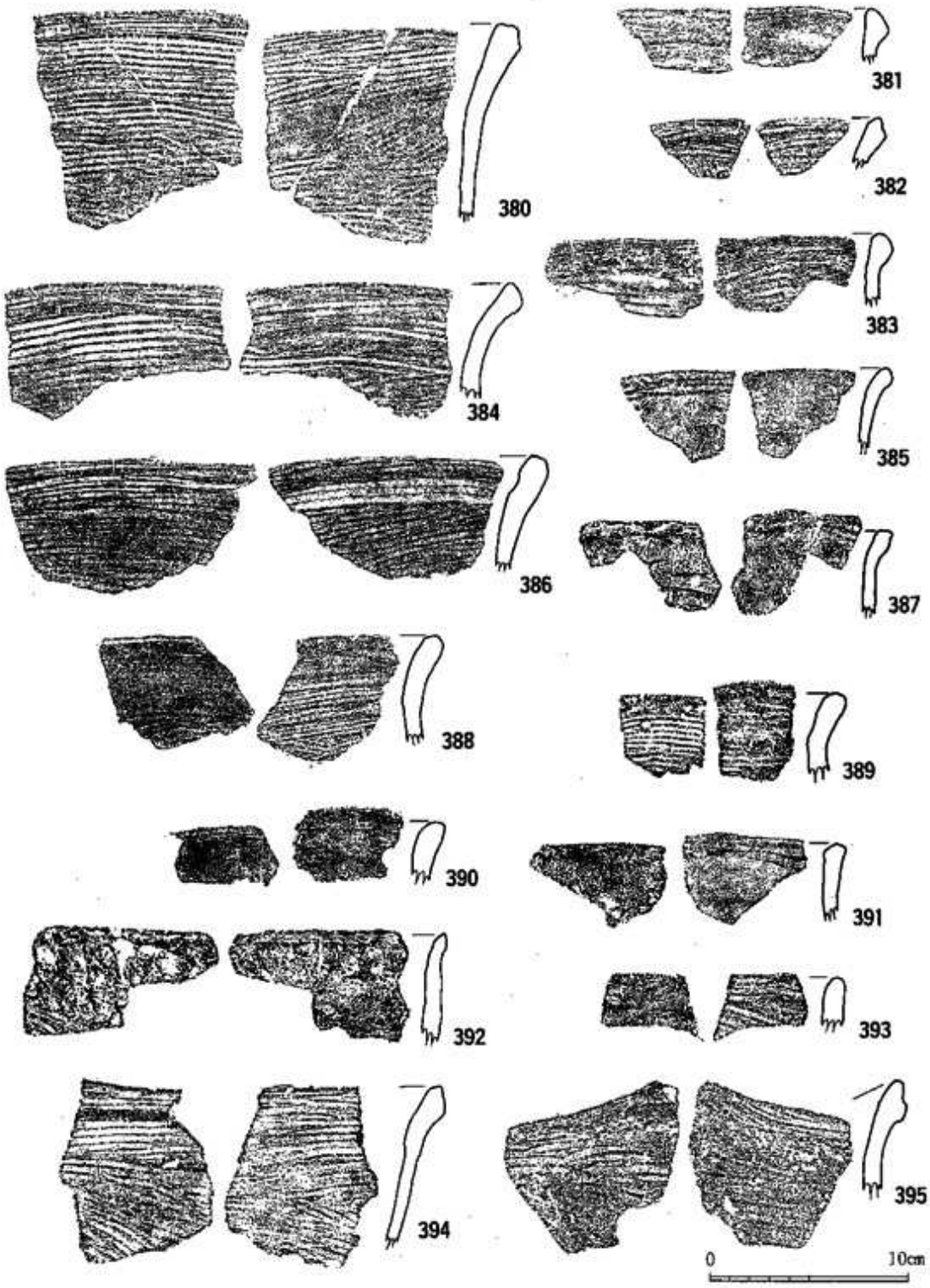
第25図　土器実測図（25）



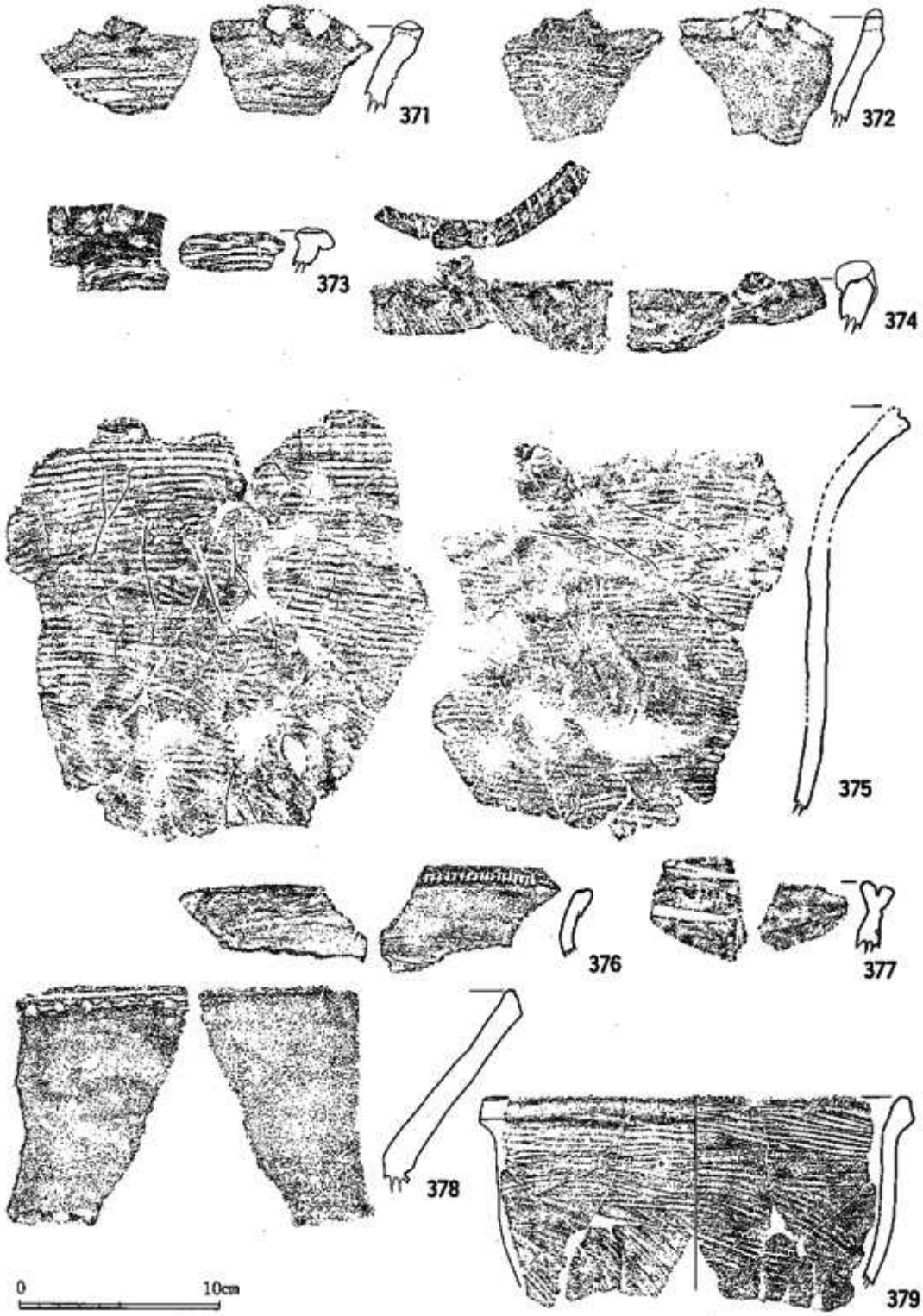
第26図　土器実測図（26）



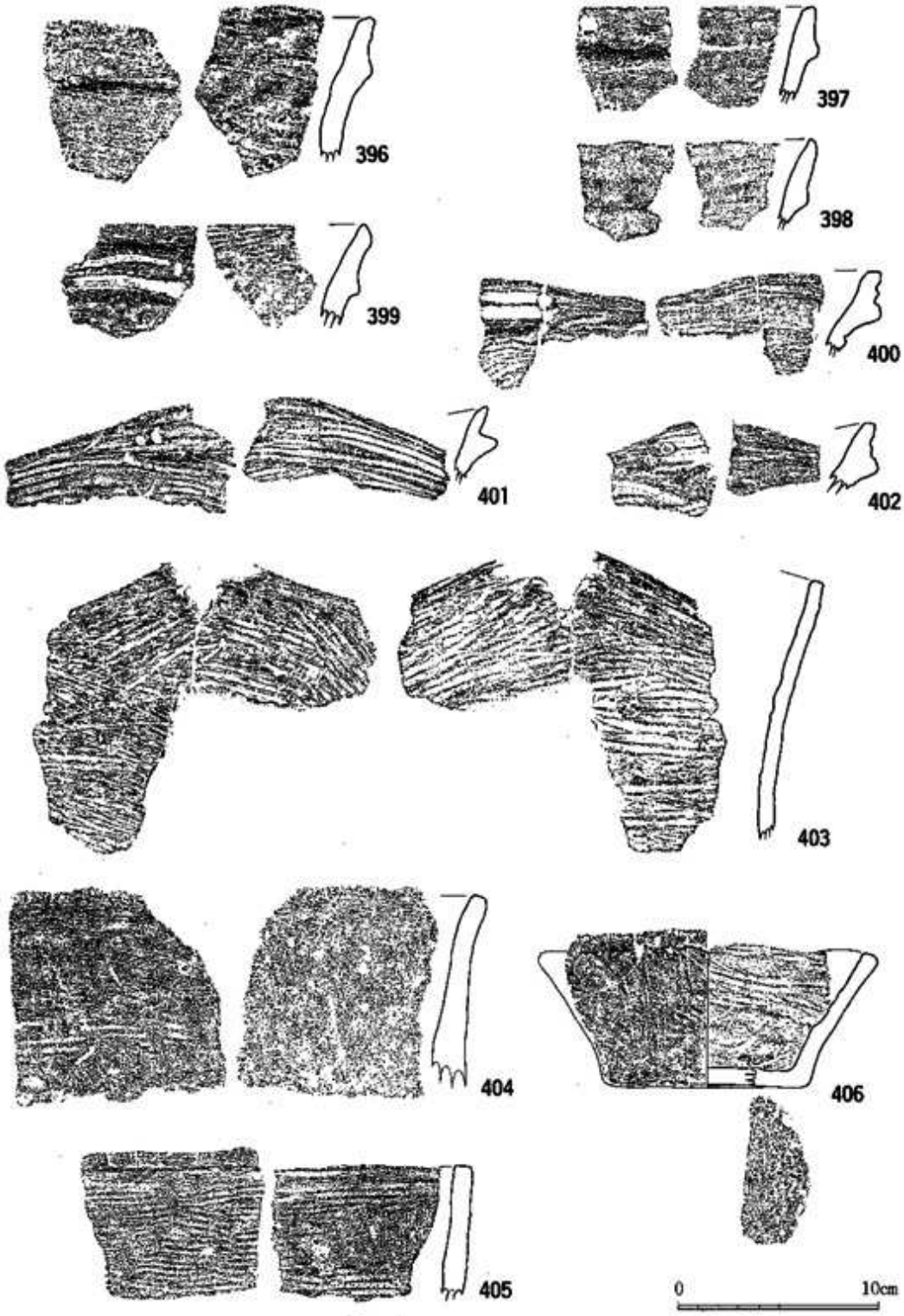
第27図　土器実測図（27）



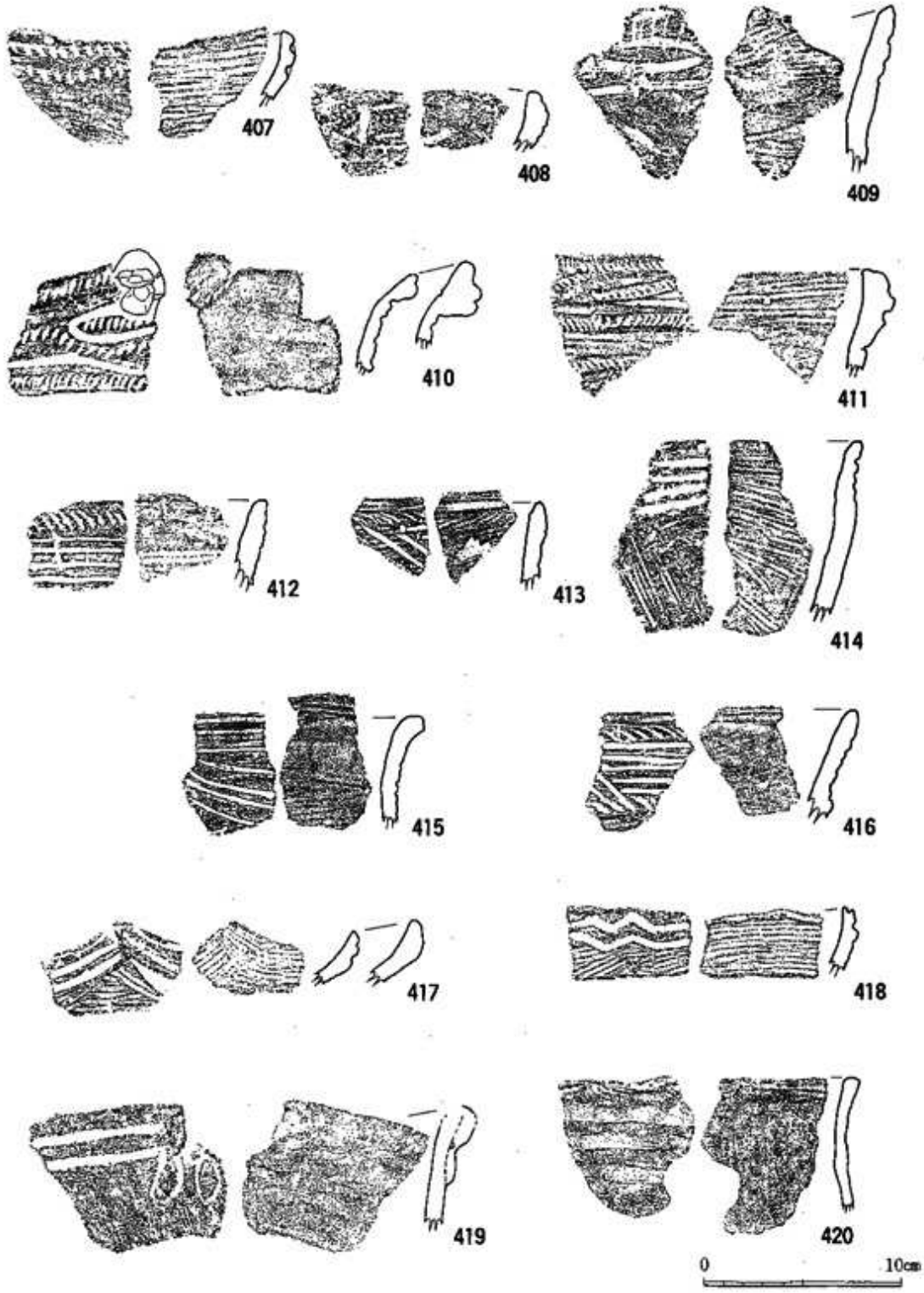
第28図　土器実測図（28）



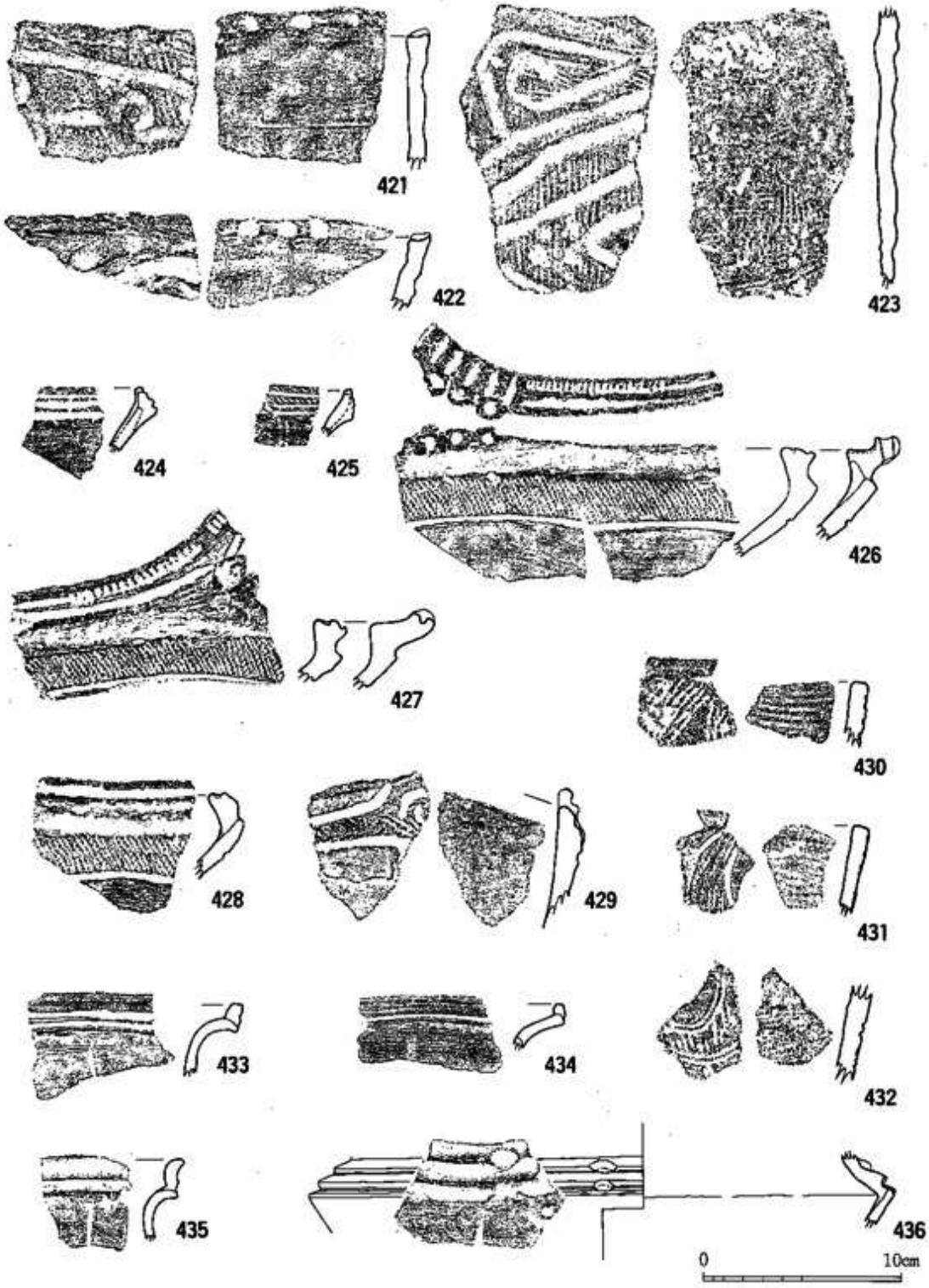
第29図　土器実測図（29）



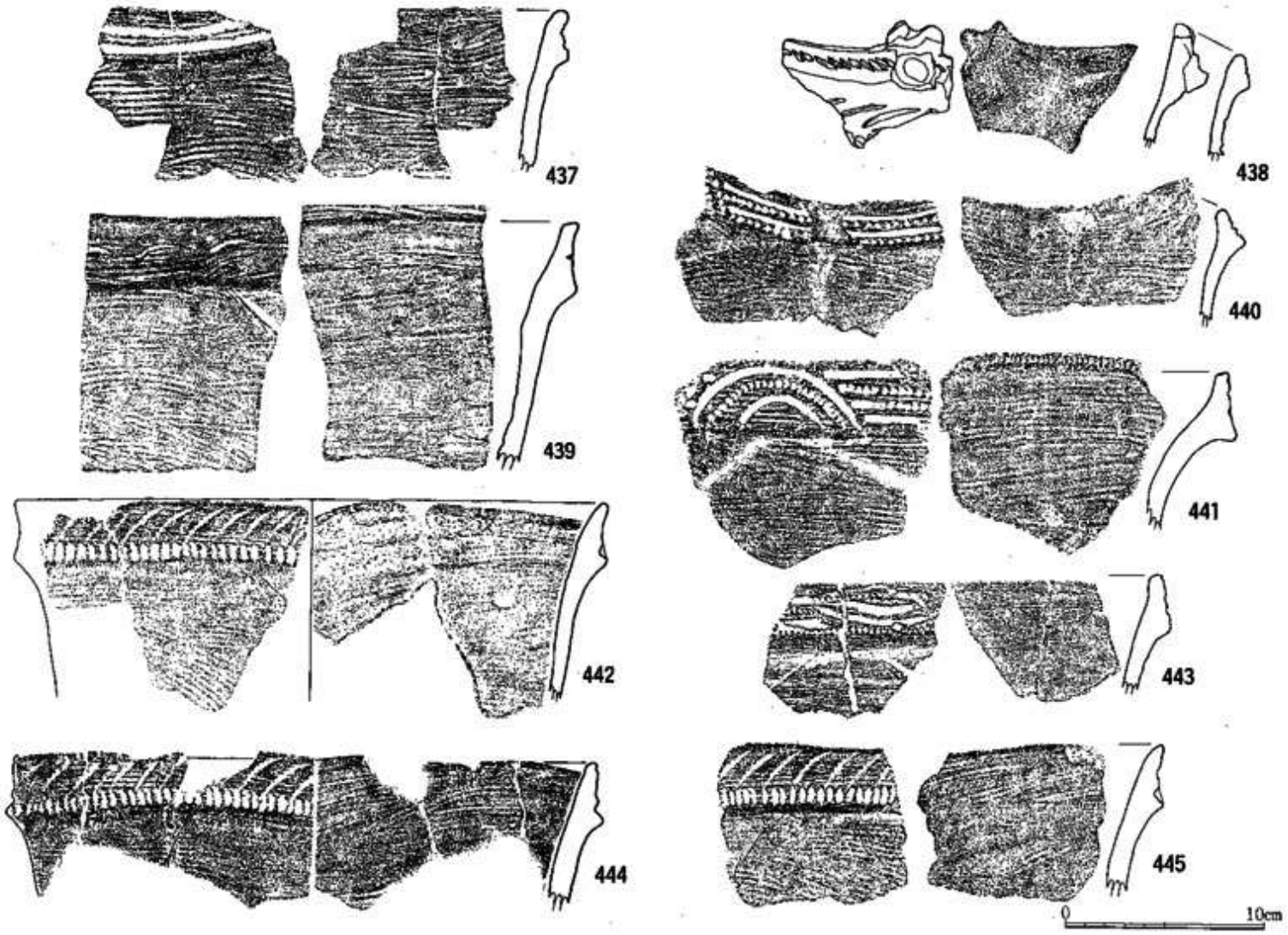
第30図　土器実測図（30）



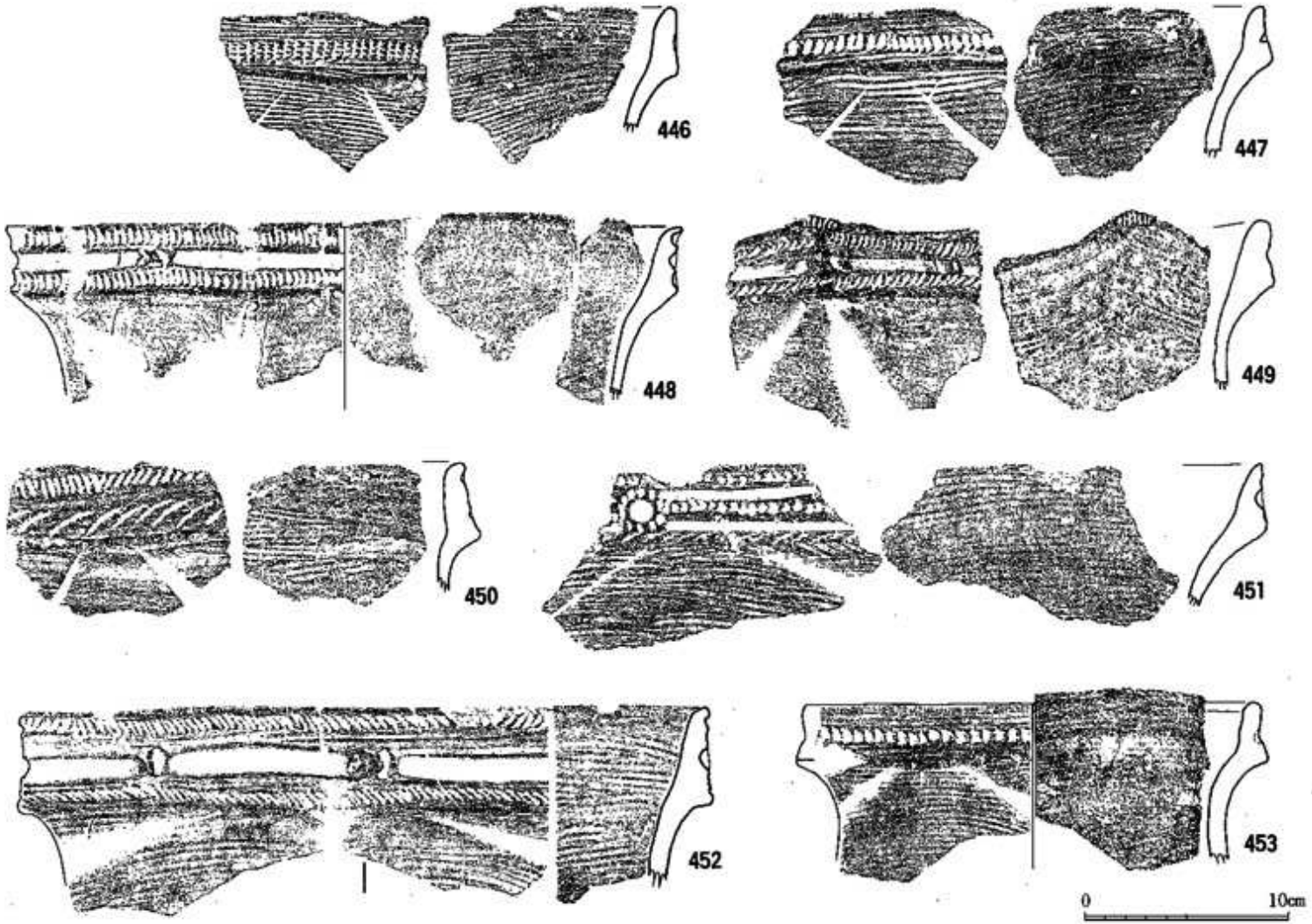
第31図　土器実測図（31）



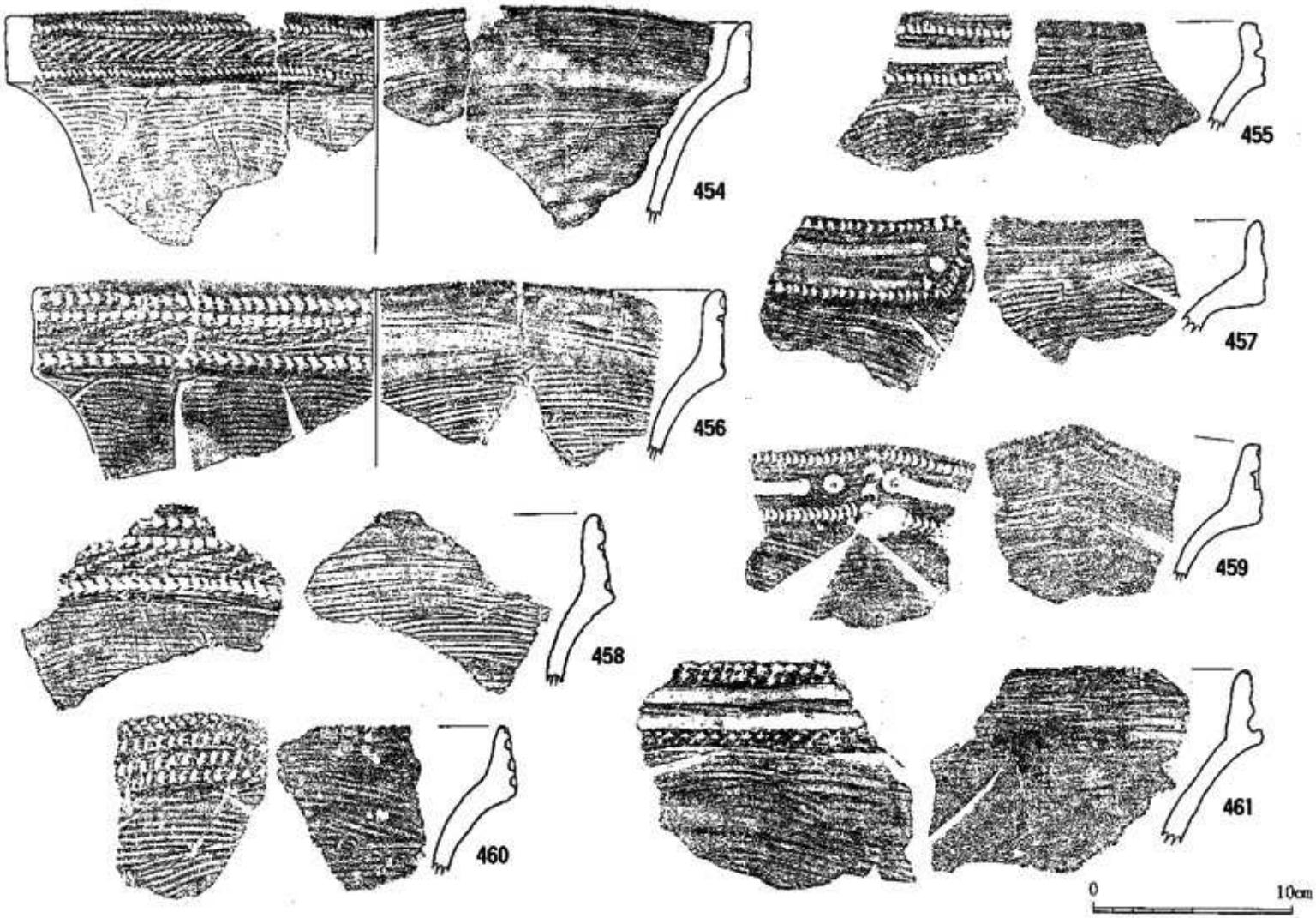
第32図　土器実測図（32）



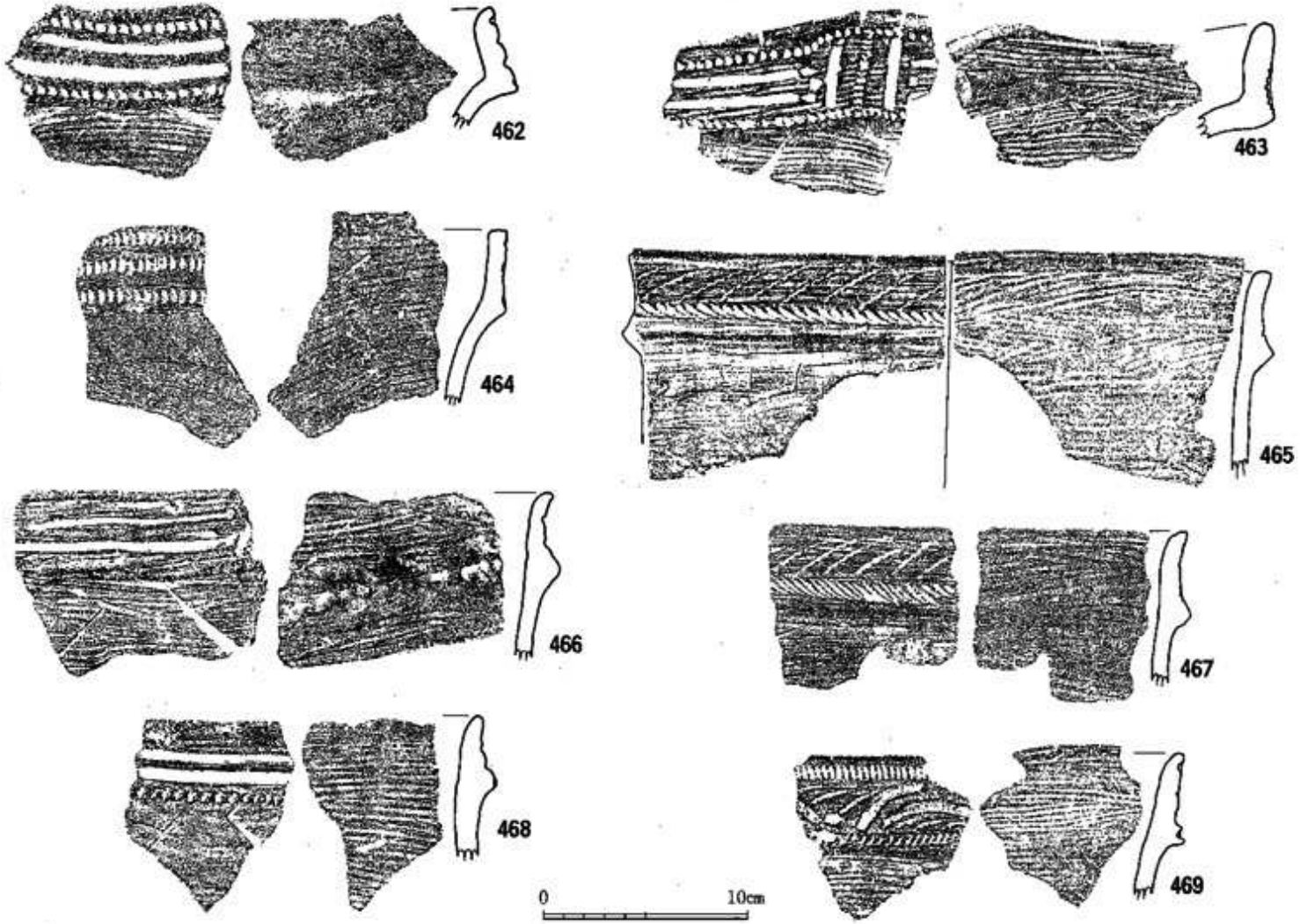
第33図　土器実測図（33）



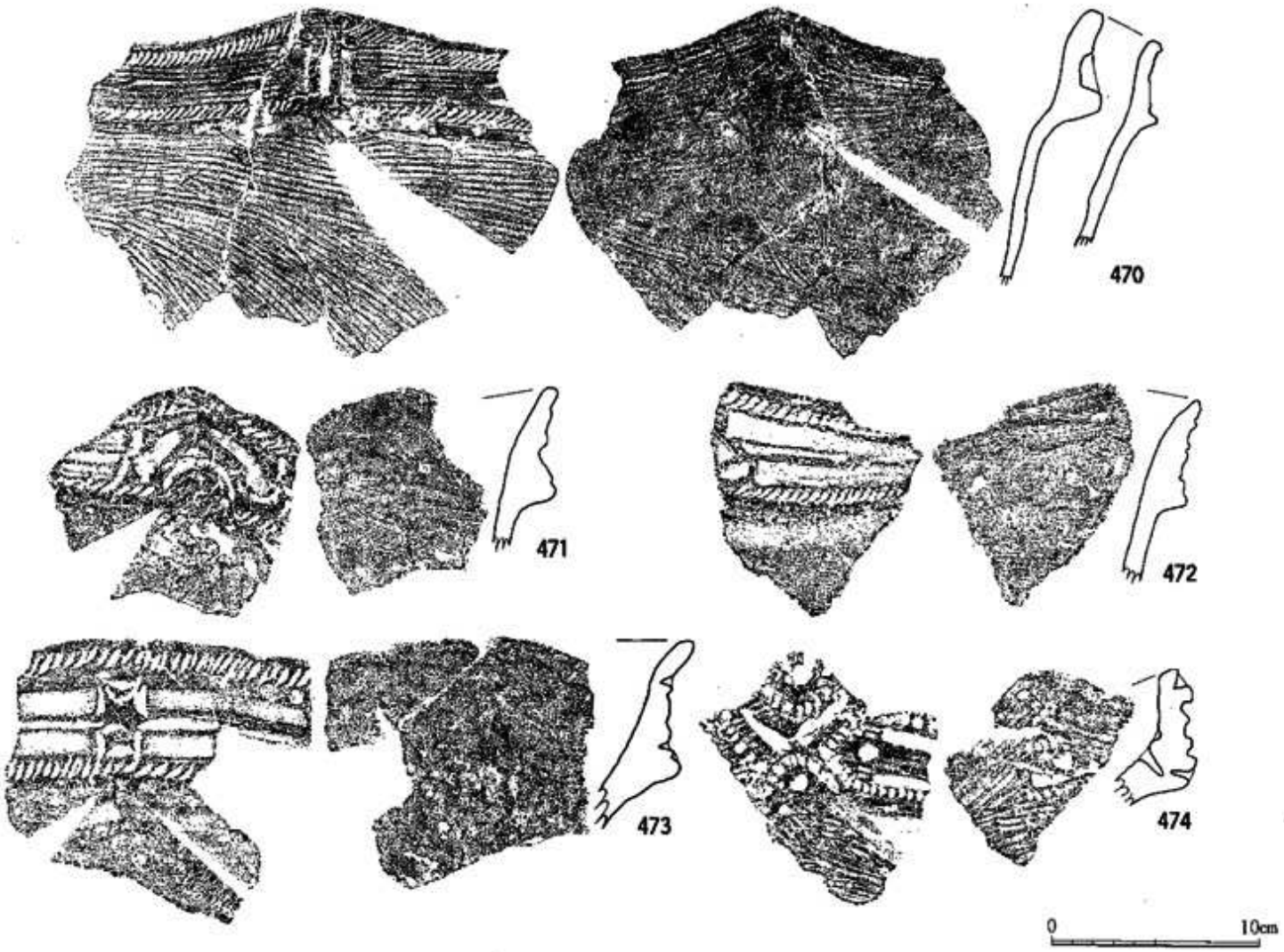
第34図　土器実測図（34）



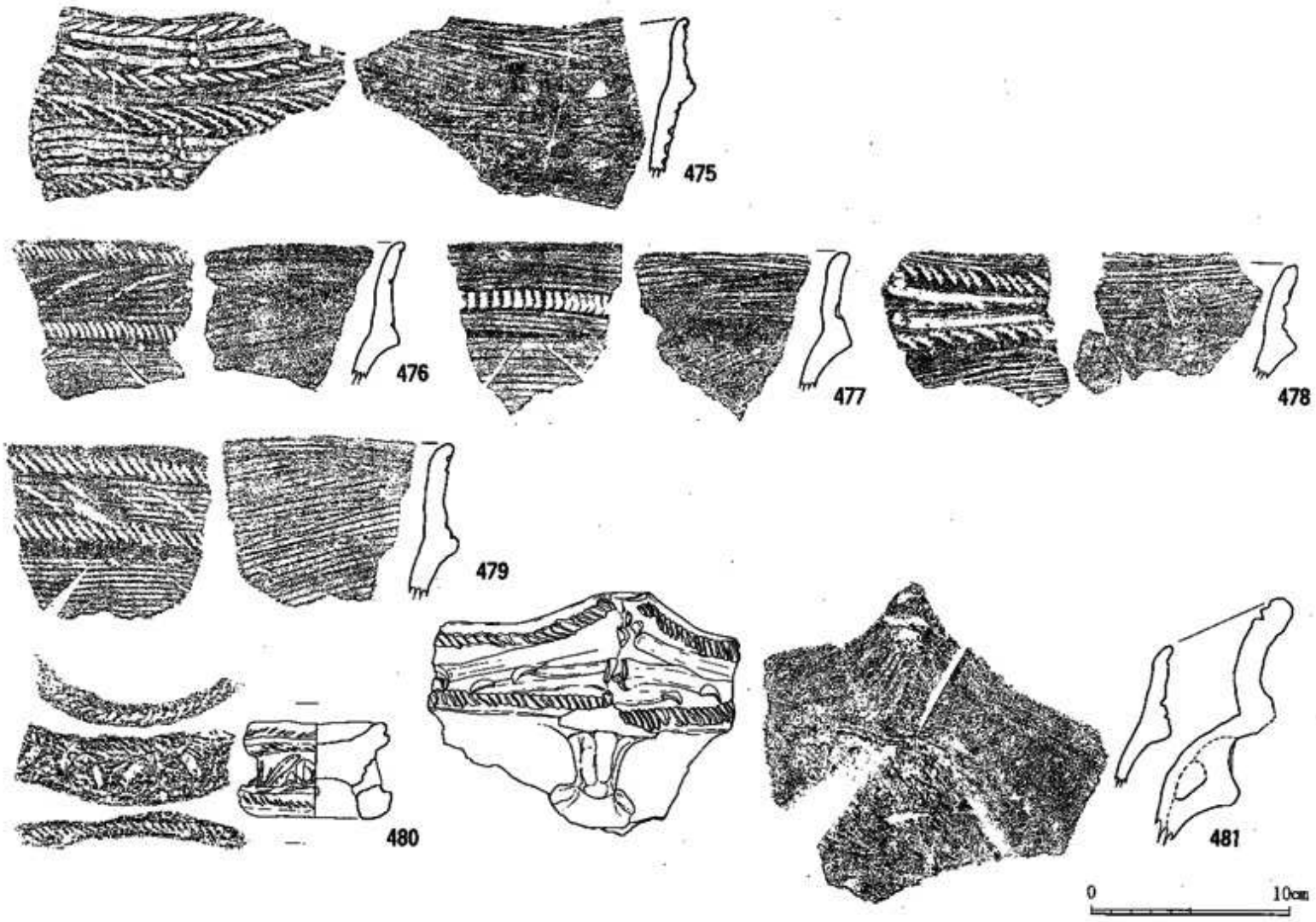
第35図　土器実測図（35）



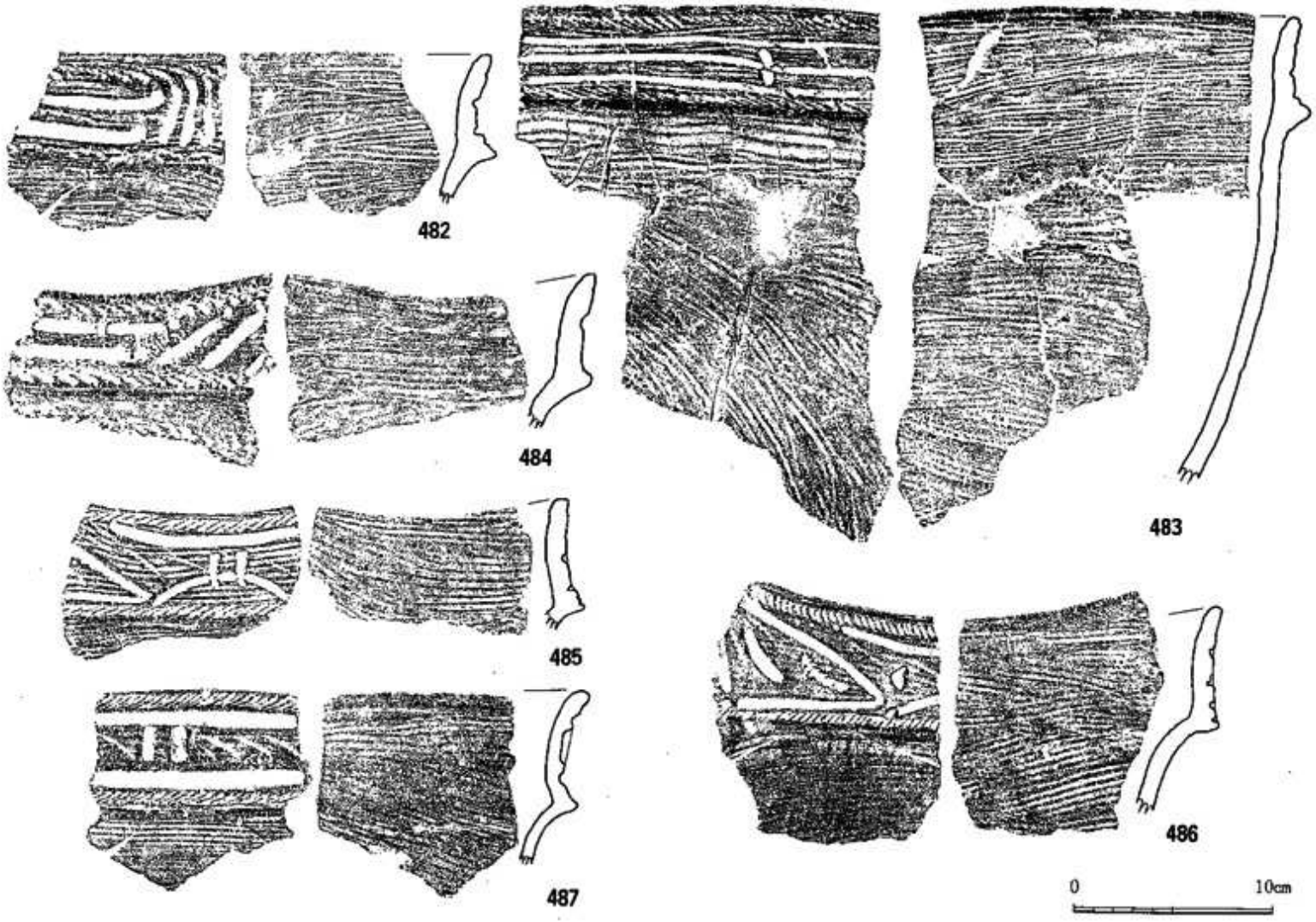
第36図　土器実測図（36）



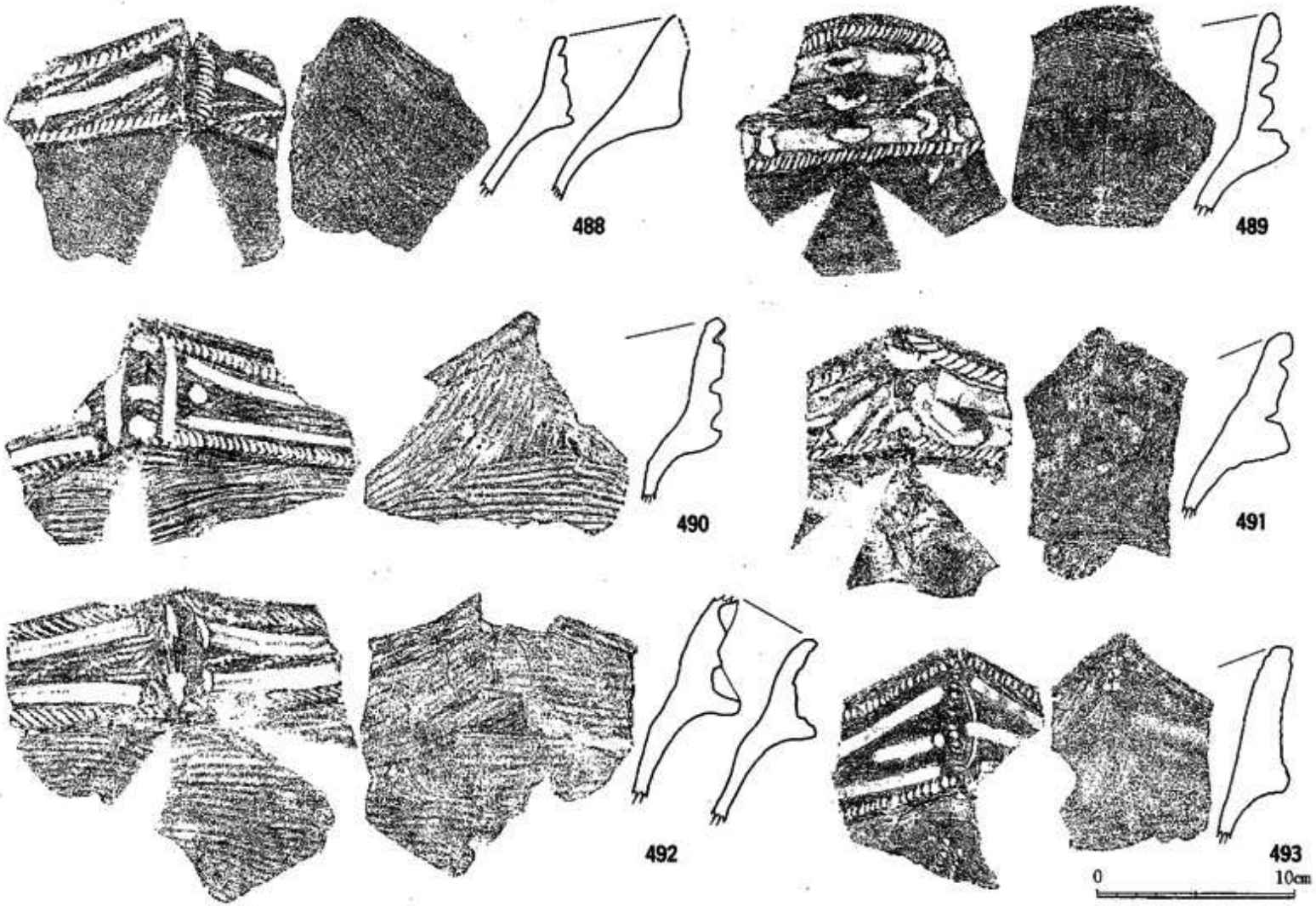
第37図　土器実測図（37）



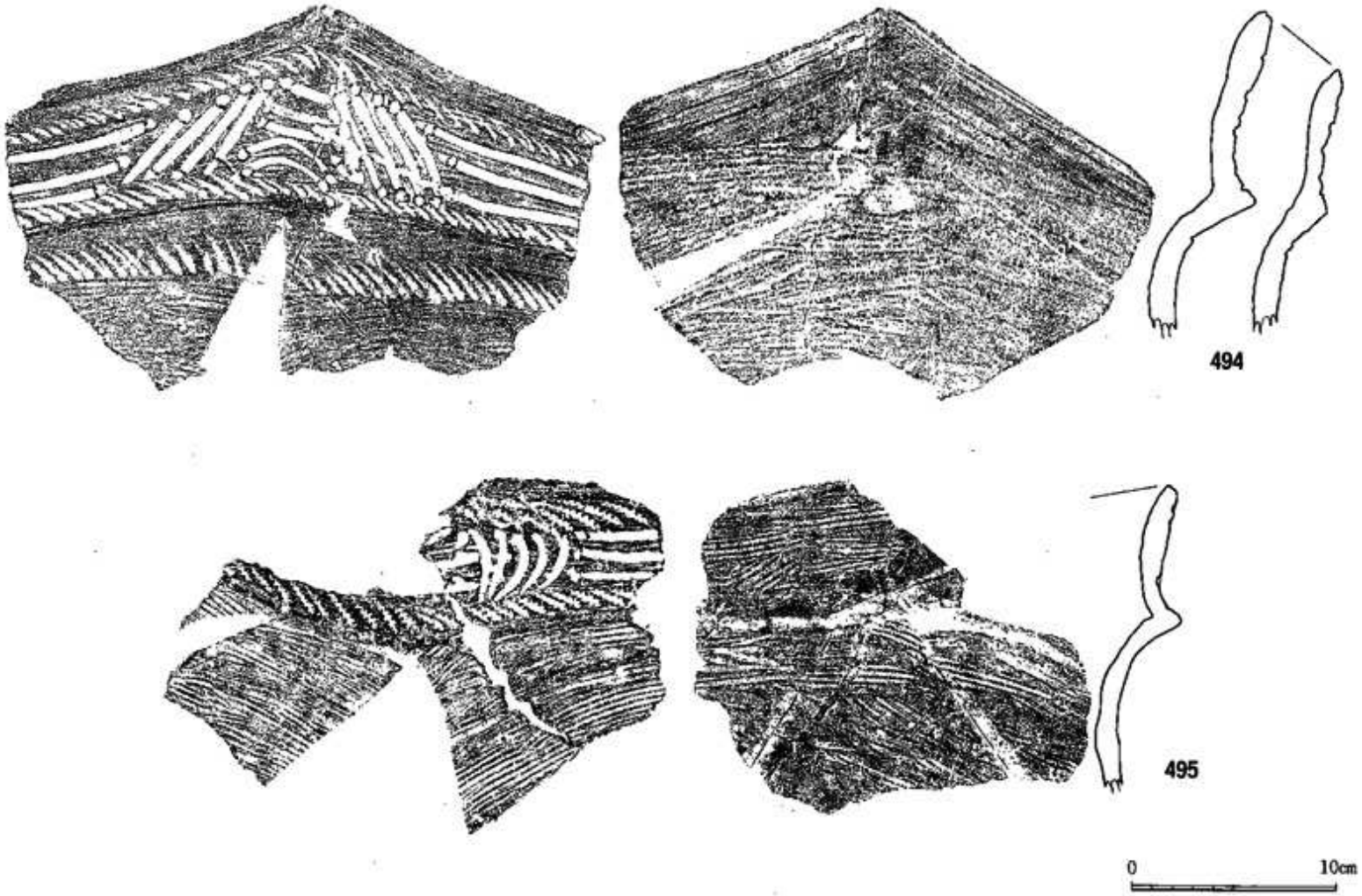
第38図　土器実測図（38）



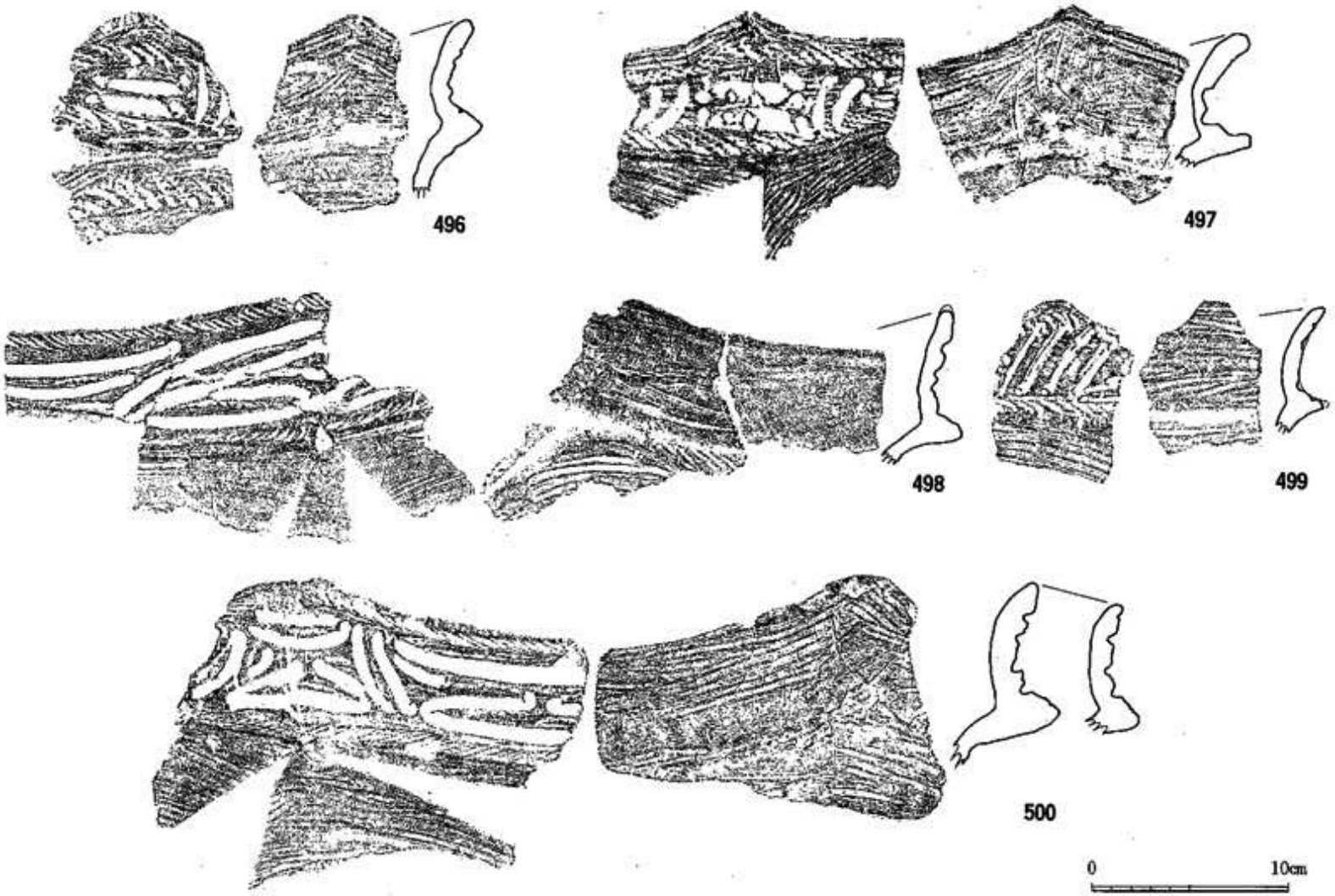
第39図　土器実測図（39）



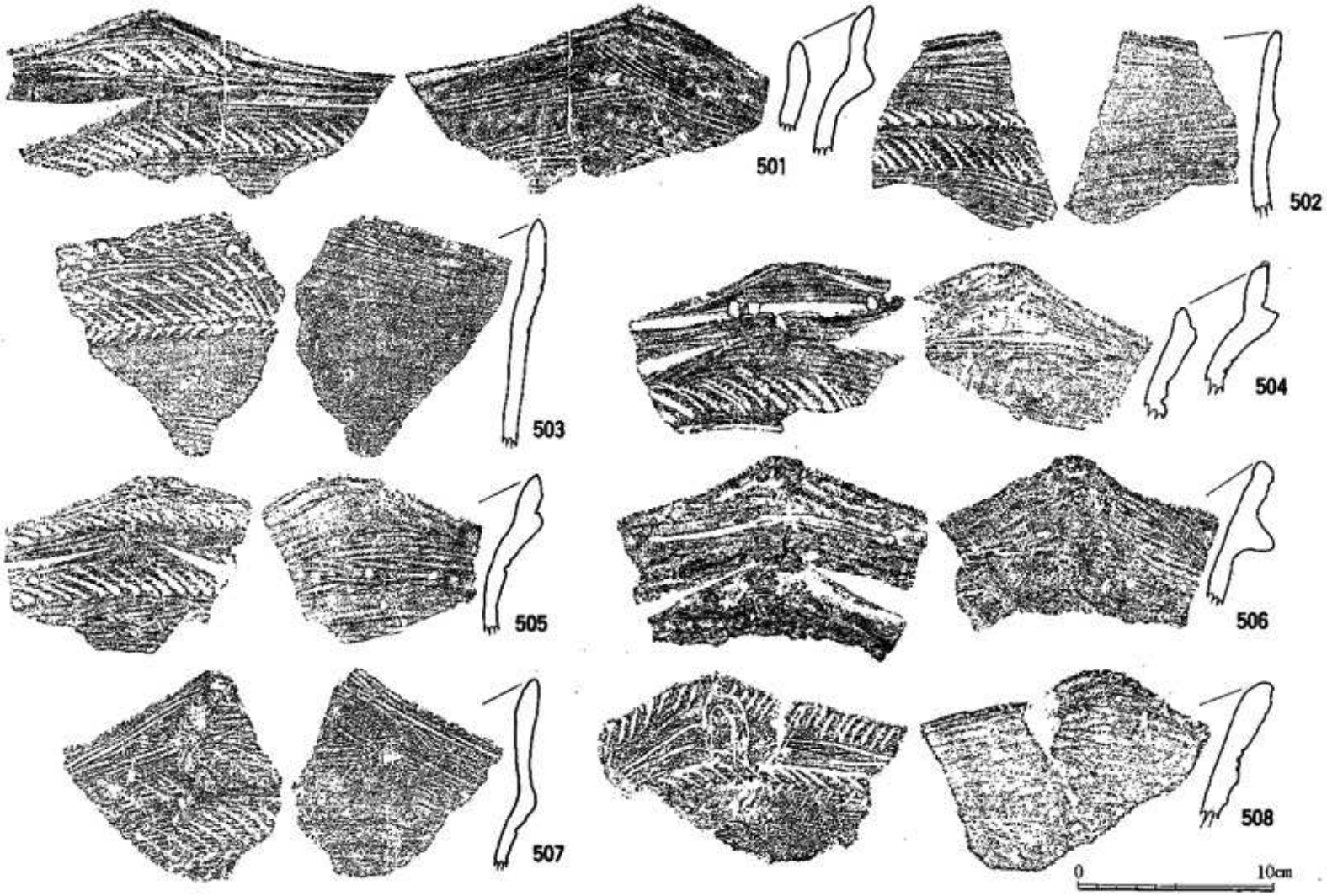
第40図　土器実測図（40）



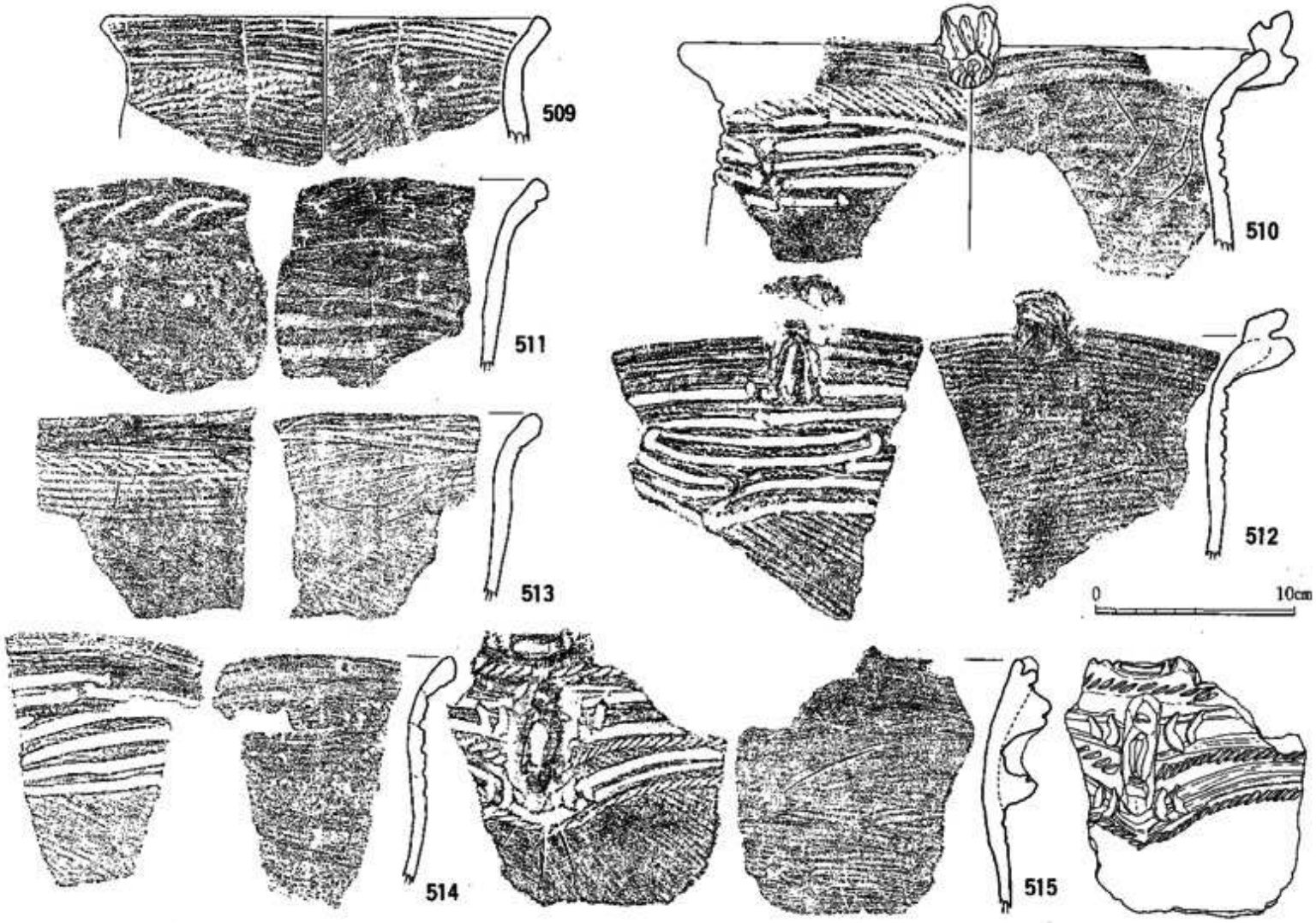
第41図　土器実測図（41）



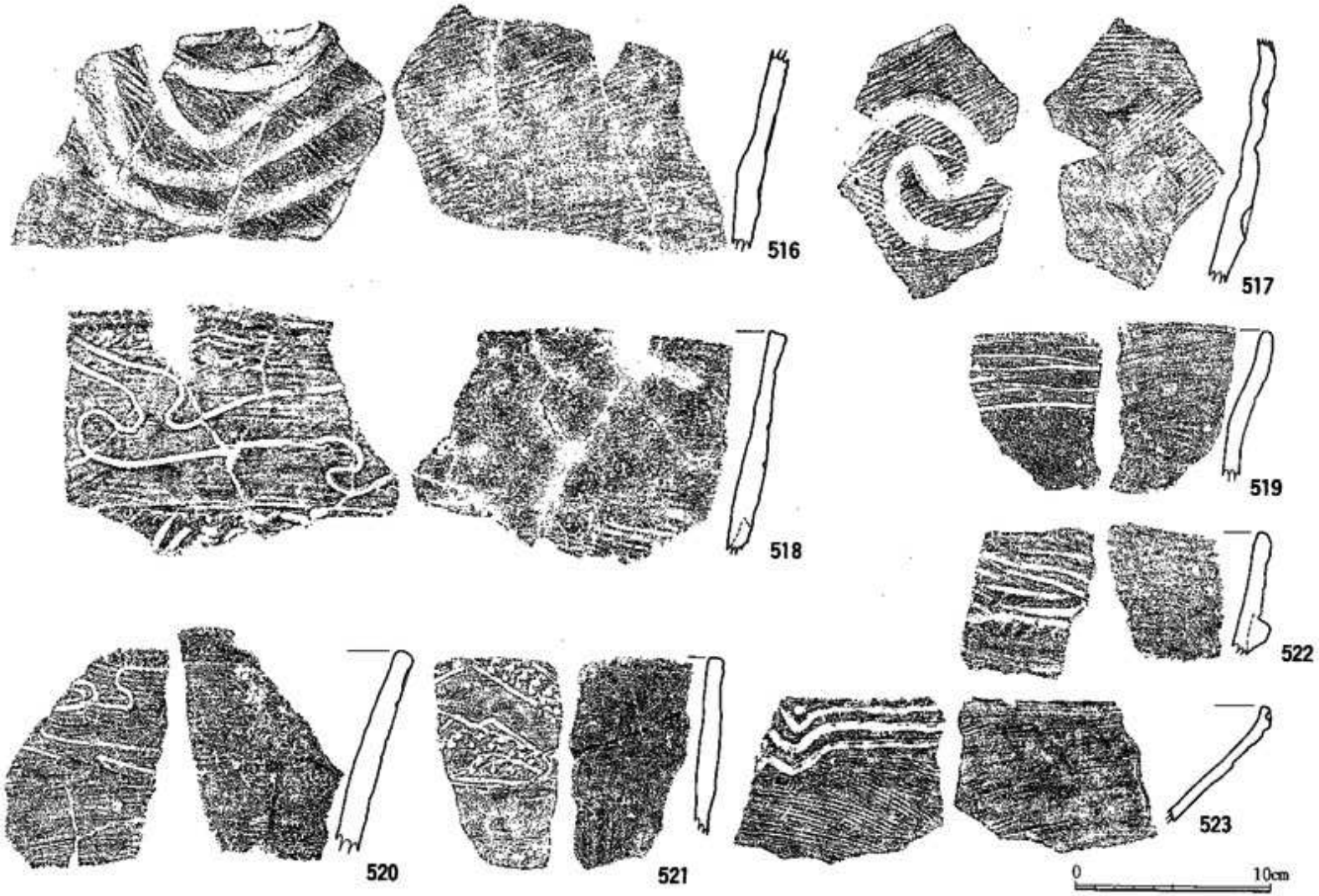
第42図　土器実測図（42）



第43図　土器実測図（43）



第44図　土器実測図（44）



第45図　土器実測図（45）

第1表　縄文土器観察表(1)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
1	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁によるタテ方向の連続刺突文（押し引き状）	—	0.5㎜程度の石英、灰色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	灰黄褐 (10YR 4/2)	良好	外面スス付着
2	〃	〃	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	1㎜程度の石英を多く含む。1㎜程度の灰色・黒色で光る砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/3) 黒褐 (2.5Y 3/1)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
3	〃	〃	斜方向の連続刺突文／凹線(2,3個の刺突)／貝殻腹縁による横方向の刺突文／凹線（2個の刺突）／斜方向の連続刺突文	—	0.5～1㎜の石英を多く含む。1～3㎜の灰・褐色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4) 暗赤褐 (5YR 3/2) 黒褐 (2.5Y 3/1)	赤褐 (5YR 4/6) 黄褐 (2.5Y 5/3)	〃	
4	ナデ ヨコナデ	貝殻条痕	沈線の中にタテ方向の連続刺突文	—	白色の微細粒と石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
5	ナデ 貝殻条痕	ヨコナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3～2㎜の白色の粗い砂粒を少量含む。	赤褐 (5YR 4/6)	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	内面にスス付着
6	ヨコナデ	ヨコナデ	タテ方向の連続刺突文	—	1㎜の石英を少量含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	灰褐 (7.5YR4/2)	〃	
7	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3～1㎜の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/3)	黒褐 (7.5YR3/1)	〃	
8	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	竹管状工具による連続刺突文	—	0.5～2㎜の白色の砂粒を含む。	灰褐 (5YR 4/2)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
9	ヨコナデ	ヨコナデ	斜方向の連続刺突文	—	1.5㎜以下の白色の砂粒を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	
10	ナデ 粗いヨコナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	—	0.2～3㎜の雲母（金）を多く含む。	橙 (7.5YR6/6) 黒斑	にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	
11	ヨコナデ	ヨコナデ	斜方向の連続刺突文	—	2㎜以下の雲母（金）と白色の砂粒を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	褐灰 (7.5YR4/1)	〃	
12	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.5～1.5㎜の石英を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4)	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	B9　50～60
13	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	1.5㎜以下の石英を多く、5㎜以下の白色、茶褐色の砂粒を少し含む。	褐灰 (10YR 5/1)	灰褐 (5YR 5/2) 褐灰 (7.5YR4/1)	〃	
14	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	1㎜程度の黒色で光る砂粒と0.2～1㎜の石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	黄灰 (2.5YR4/1)	〃	
15	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	円形の連続刺突文	—	0.5～2㎜の白色、半透明、灰色、褐色、黒色の砂粒と雲母を含む。	橙 (7.5YR6/6)	橙 (7.5YR6/6)	〃	
16	ナデ	ナデ	円型連続刺突文 斜方向の連続刺突文	—	淡黄色の砂粒を多く含む。 雲母（金）を少し含む。	明赤褐 (2.5YR5/6) 橙 (7.5YR6/6)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	
17	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文/口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文（右下）	—	1.5～2.3㎜の褐色の砂粒と0.3㎜～1㎜の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
18	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	—	2㎜以下の雲母、石英、黒色で光る砂粒、淡黄色で軟質の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	SMY 88　20～30 59.9
19	ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5～2㎜の半透明砂粒と、0.3～1.8㎜の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	
20	ナデ	ナデ 指頭痕	斜方向の連続刺突文 口縁部下、斜方向の連続貝殻腹縁文 斜方向の連続刺突文	—	0.3～2.5㎜の淡黄色の砂粒を多く含む。0.5～2㎜の半透明の砂粒を多く含む。0.5～2㎜の雲母を含む。	褐 (7.5YR4/3)	褐 (7.5YR4/3)	〃	外面にスス付着

第2表　縄文土器観察表(2)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
21	ナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 口縁部下斜方向の連続貝殻腹縁文（間隔広）	——	0.3～0.8 mmの黄味をおびた白色の砂粒を含む。0.3～1.2 mmの雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黒斑	オリーブ黒(5Y 3/1) 黒斑	良好	
22	貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／口縁部下タテ方向連続刺突文	——	1 mm程度の灰・褐色の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B6 Ⅲ層50－80 全体にスス付着
23	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文（刺突方向がやや不規則）	——	2 mmの灰色の砂粒、石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	A・T-V-2 50 ① 内部全体にスス付着(頸部厚く)
24	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ヨコナデ	タテ方向の連続刺突文／口縁部下タテ方向連続刺突文	——	1 mm以下の白色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (2.5YR5/6) 黒斑	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	
25	ヨコナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	——	0.5～1 mmの白・褐色の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	A.T－Ⅲ区 Ⅲ層－60cm
26	〃	貝殻条痕	〃	——	0.2～0.8 mmの石英を含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	AT V－2
27	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	——	0.5～3 mmの石英を少し含む。	暗灰黄 (2.5Y 5/2)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
28	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	——	1.5 mm以下の石英、砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) 灰褐 (5YR 5/2)	にぶい褐 (7.5YR6/3)	〃	外面にスス付着
29	ヨコナデ	〃	連続刺突文	——	1 mm以下の褐色の砂粒をごくわずかに含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
30	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	押し引き文	——	石英、灰色の砂粒を含む。	〃	〃	〃	
31	ナデ 貝殻条痕	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	——	0.3～0.8 mmの石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/5)	明赤褐(5YR 5/6)	〃	
32	ヨコナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下凹線（直線・短曲線）	——	0.3～2 mmの白、灰色の砂粒、雲母を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6) 黒斑	〃	B 80～90
33	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	——	2 mm以下の石英、細砂粒を多く含む。	褐灰 (7.5YR4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	
34	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	——	0.3～2 mmの白色の砂粒を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	灰褐 (5YR 4/2)	〃	B9 50～80 内面一部剥離
35	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下横長方形の刺突文	——	0.3～1 mmの黄味をおびた白色、半透明の砂粒、石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
36	ナデ	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文 口縁下、斜方向の連続刺突文	——	0.3～2.5 mmの黄味をおびた白色、半透明の砂粒、微細な雲母を含む。	〃	〃	〃	B－2 山形口縁
37	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	——	3 mm以下の白色の砂粒を多く含む。0.5 mm以下の砂粒、2 mm以下の金色の雲母を少し含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) にぶい褐 (7.5YR6/3)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	全体的に風化気味
38	ナデ ヨコナデ	ヨコナデ	連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1～3 mmの石英、0.5～3 mmの金色の雲母を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
39	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	——	微細な石英、黒色で光る砂粒を含む。	橙 (7.5YR6/6)	橙 (7.5YR6/6)	〃	
40	ナデ 貝殻条痕	〃	連続刺突文／口縁部下に1ケ所、円形穿孔	——	石英細片、0.5～1 mmの褐・灰色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	灰褐 (7.5YR4/2)	〃	B1＋2 41－50 円形の穿孔あり 外面にスス付着

第3表　縄文土器観察表(3)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
41	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.5 ～1.3 mmの石英、灰、白、褐色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	良好	
42	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ヨコナデ	タテ方向連続刺突文	—	3 mm以下の金色の雲母、1.5 mm以下の白色の砂粒を多く含む。	褐 (10YR 4/6)	褐 (10YR 4/6)	〃	外面にススト付着
43	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	2 mm以下の砂粒、石英を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	橙 (5YR 6/6)	〃	円形に剥離している部分が多い
44	ナデ 貝殻条痕	ヨコナデ	連続刺突文	—	1 mm以下の白色、褐色の砂粒と石英を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	橙 (7.5YR6/5) にぶい褐 (7.5YR5/3)	〃	
45	ナデ	貝殻条痕のあとヨコナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの白色の砂粒、石英、0.5 ～3 mmの金色の雲母を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	灰褐 (7.5YR4/2) 黒斑	〃	B7 20～50
46	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの石英を含む。	明褐 (7.5YR5/6) 褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/4)	〃	B4+2 50－60 口縁部ススト付着
47	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下に凹線文	—	全体に粒子が細かい。	褐 (10YR 4/4) 明褐 (7.5YR5/6)	褐 (7.5YR3/3)	〃	B5 Ⅱ層20－50
48	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの茶、褐色の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
49	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 ナデ	連続刺突文	—	2 mm以下の砂粒を少量と微細な石英を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (2.5YR6/6)	〃	
50	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文（浅）口縁部下に半月形の押圧	—	2 mm以下の金色の雲母、石英、灰色の砂粒を含む。5 mm以下の白色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい褐 (7.5YR5/3)	〃	
51	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻による連続刺突文	—	1.5 mm以下の石英を多く含む。1 mm以下の黒色、灰色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 7/6)	橙 (5YR 7/6) 灰白 (10YR 7/1)	〃	一部風化
52	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕	連続刺突文	—	1 mm以下の白色の砂粒、石英を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/3)	橙 (5YR 6/6)	〃	
53	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	連続刺突文	—	1 mm以下の砂粒、石英を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 一部黒斑	〃	
54	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	—	0.8 mm以下の石英を少し含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	内面一部剥離 内面、風化ざみ
55	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻による連続刺突文	—	2 mm以下の石英、0.5 mm以下の細砂を多く含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4)	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	
56	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	連続刺突文	—	1.5 mm以下の石英を多く含む。2 mm以内の灰色の砂粒を少量と5.5 mm×4 mm大の灰色の礫を含む。	橙 (2.5YR7/6) 褐灰 (10YR 4/1) 黒斑	橙 (2.5YR7/6)	〃	内面、やや風化
57	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英、白色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/3)	橙 (5YR 6/6)	〃	
58	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.2 mm程度の細かい石英を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	外面にススト付着
59	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	押引き状の連続刺突文	—	0.2 ～0.5 mmの石英を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	

第4表　縄文土器観察表(4)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
60	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下、凹線	—	0.2～2㎜の白色砂粒を多く含む。 0.3～1㎜の石英を少し含む。	にぶい黄 (2.5Y 6/4)	明黄褐 (10YR 7/6)	良好	B4+3-40
61	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文	—	0.3～0.8㎜の石英を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	
62	ナデ 貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部タテに2ケ所の貝殻腹縁刺突 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 (押し引き状)	—	1.5㎜以下の石英、黒色で光る砂粒、茶、白色の砂粒を含む。	にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4) 黒斑	〃	山形口縁 内面風化気味
63	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5～3㎜の白色の砂粒、0.1～1.5㎜の金色の雲母を多く含む。	褐 (7.5YR4/6) 黒褐 (10YR 2/2)	暗褐 (7.5YR3/4)	〃	
64	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文	—	1㎜以下の石英を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	橙 (7.5YR7/6)	〃	
65	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.3～1㎜の石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	外面にススが付着
66	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.3～1㎜の石英を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/3)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
67	ヨコナデ 貝殻条痕 一部あとナデ	ヨコナデ	連続刺突文	—	0.5～1㎜の褐色砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	外面にススが付着
68	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	—	3㎜大の褐色の砂粒、1～2㎜の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (7.5YR6/6)	〃	
69	貝殻条痕	貝殻条痕	貝殻によるタテ方向の連続刺突文	—	1㎜以下の微粒子、石英を多く含む。	にぶい橙 (7.5YR7/3)	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	
70	貝殻条痕	貝殻条痕	連続刺突文（1ケ所深い刺突）	—	0.5㎜以下の石英を少し含む。	にぶい橙 (5YR 7/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	
71	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.3～0.5㎜の石英を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
72	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	—	0.5～1㎜の石英を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
73	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.3～2㎜の白色砂粒を含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
74	ナデ 貝殻条痕	ヨコナデ	連続刺突文	—	0.5～1㎜の褐色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (2.5YR5/5) 黒斑	明赤褐 (2.5YR5/5)	〃	B12-80
75	ナデ	不明	連続刺突文	—	0.3～1㎜の石英、1～2.5㎜の褐、灰色の砂粒を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	内面風化
76	ナデ	ナデ	連続刺突文	—	0.2～1㎜の石英を多く含む。	灰褐 (7.5YR4/2) 黒斑	暗赤褐 (5YR 3/2)	〃	
77	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	1㎜以下の石英、2㎜以下の白、茶褐色の砂粒を多く含む。1㎜以下の黒色で光る微粒子を少し含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	灰褐 (7.5YR6/2)	〃	
78	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3～1㎜の石英、白色の砂粒を含む。 1～5㎜の褐色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4) 黒斑	〃	
79	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5㎜以下の石英を少し含む。	褐 (7.5YR4/3) 黒斑	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	B10 20～30

第5表　縄文土器観察表(5)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
80	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと ナデ	タテ方向連続刺突文	—	0.1～1mmの石英を少し含む。	橙　(5YR 6/6)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	良好	
81	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	連続刺突文	—	0.3～0.8mmの石英、0.8mm程度の白色軟質の砂粒、1～4mmの褐、灰、暗褐色の砂粒を含む。	橙　(5YR 6/6)	橙　(5YR 6/6)	〃	外面、部分的にススが付着
82	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	連続刺突文／口縁部下、細沈線	—	1mm以下の細粒子、石英を多く含む。	橙　(5YR 6/6)	にぶい橙　(7.5YR6/3)	〃	
83	ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻腹縁による連続押引き状刺突文	—	石英細片と1～2mmの褐色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	外面、部分的にススが付着
84	貝殻条痕のあと ナデ	ナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.2～1mmの石英を少し含む。	橙　(7.5YR6/5)	褐　(7.5YR4/3)	〃	A・T Ⅲ区Ⅲ層－60cm位 口縁部風化
85	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕	連続刺突文	—	1mm以下の石英、2mm以下の褐、灰色の砂粒を多く含む。	褐灰　(10YR 4/1) にぶい橙　(5YR 6/4)	にぶい褐　(7.5YR5/3)	〃	口縁部にススが付着
86	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	貝殻腹縁による連続刺突文	—	0.2～0.8mmの石英と白色の細砂を含む。	褐　(7.5YR4/4)	褐　(7.5YR4/4) にぶい黄褐(10YR 4/3) 黒斑	〃	
87	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	ヘラ状工具による連続刺突文	—	石英、角閃石の細片を少し含む。	橙　(7.5YR6/6)	橙　(7.5YR6/6)	〃	
88	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと 一部ナデ	連続刺突文	—	0.5mm程度の石英を少し含む。	橙　(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	
89	貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5～1mmの浅黄橙、褐灰の砂粒を多く含む。金色の雲母を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい褐　(7.5YR5/4)	〃	
90	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕	連続刺突文	—	0.3～1mmの石英、1～2mmの灰、褐色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	外面にススが付着
91	貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕	連続刺突文	—	0.5～1mmの石英を少し含む。	にぶい橙　(7.5YR7/4)	にぶい橙　(7.5YR7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
92	貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕	連続刺突文	—	0.5mm以下の石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	灰黄褐　(10YR 4/2)	〃	B4+3　81－90
93	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	タテ方向の連続刺突文	—	石英の細粒、0.8mm以下の灰色の砂粒を多く含む。	にぶい橙　(7.5YR7/4)	にぶい橙　(7.5YR7/4)	〃	
94	ヨコナデ	ヨコナデ	斜方向の連続刺突文	—	淡黄色の砂粒を多く含む。透明で光る砂粒も含む。	にぶい橙　(7.5YR6/4) 灰褐　(7.5YR5/2)	橙　(7.5YR6/6) 灰褐　(7.5YR4/2)	〃	
95	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	連続刺突文	—	0.3～1mmの金色の雲母を少量含む。	灰黄褐　(10YR 4/2)	褐　(7.5YR4/3)	〃	
96	〃	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文（途中で方向が変わる）	—	1mm以下の金色の雲母を多く含む。	橙　(5YR 6/6)	橙　(5YR 6/6)	〃	
97	貝殻条痕	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.5～1mmの石英と1～3mmの褐、白色の砂粒を含む。	橙　(7.5YR6/6)	橙　(7.5YR6/6)	〃	
98	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと ナデ	連続刺突文	—	2mm以下の石英、1mm程度の砂粒を多く含む。	褐灰　(5YR 4/1)	にぶい赤褐　(5YR 4/3)	〃	
99	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文	—	0.3～1.3mmの淡黄色の砂粒、1～1.5mmの白色で半透明の砂粒、0.3～1mmの金色の雲母を含む。	にぶい橙　(5YR 7/4)	橙　(5YR 6/6)	〃	

第6表　縄文土器観察表(6)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
100	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	連続刺突文	—	0.2 ～1.5 mmの白色の砂粒を少量含む。	灰黄褐 (10YR 5/2)	明赤褐 (5YR 5/6)	良好	
101	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.2 ～2 mmの雲母（金）を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6) にぶい褐 (7.5YR5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	外面にススが付着
102	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続貝殻文	—	白色の微細な砂粒、石英を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	
103	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下、凹線	—	0.2 ～2 mmの白色の砂粒と0.3 ～3 mmの雲母（金）を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
104	ヨコナデ	貝殻条痕のあとナデ	凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁文	—	2 mm以下の石英、褐色の砂粒を多く含む。2 mm以下の黒色で光る砂粒を少し含む。	橙 (2.5YR6/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	59.8？ B8 20～30 内面ススが付着
105	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁文	—	2 mm以下の雲母（金）と、白い軟質の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B80～90
106	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の貝殻腹縁連続刺突文	—	0.5 ～1.5 mmの白、無色透明、淡黄色の砂粒と、3.5 mm程度のにぶい黄橙の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
107	貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英と黒色で光る砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
108	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.2 ～1.2 mmの雲母（金）と2.5 mm程度の石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
109	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文（密）	—	0.3 ～3 mmの黄味がかった軟質の砂粒と0.3 ～1 mmの石英を含む。	黒褐 (10YR 3/2)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	～B0 B+0+2
110	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ヨコナデ	連続刺突文	—	0.5 ～1.5 mmの石英を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4)	橙 (7.5YR7/6)	〃	
111	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕	連続刺突文	—	0.5 ～1.5 mmの石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	内面風化
112	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文	—	0.5 ～1 mmの灰、白色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
113	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁によるタテ方向の連続刺突文	—	0.2 ～1 mmの石英を含む。	橙 (7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	
114	貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文	—	0.5 ～2 mmの褐色の砂粒を含む。	橙 (7.5YR6/6)	黄褐 (10YR 6/6)	〃	B9 50～80半端 全体的に風化
115	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの石英を少し含む。	橙 (7.5YR7/6) 黒斑	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	
116	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英を含む。	橙 (5YR 6/6) 褐灰 (5YR 4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	AT 重区～60
117	貝殻条痕のあと一部ナデ	ナデ 貝殻条痕	タテ方向の貝殻連続刺突文	—	1 mm程度の褐色の砂粒、石英を少し含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
118	貝殻条痕	貝殻条痕	ヘラ状工具による斜方向の連続刺突文	—	1 mm以下の白、灰色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6) にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (5YR 4/1)	橙 (5YR 6/6) にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
119	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻による斜方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの石英、半透明砂粒、1 ～2.5 mmの黒褐、褐色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	橙 (2.5YR6/6)	〃	
120	貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの白・灰・褐色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) 黒斑	橙 (5YR 6/6)	〃	

第7表　縄文土器観察表(7)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
121	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	貝殻連続刺突文	—	0.5～2㎜の白、灰色の砂粒を少し含む。	褐　(7.5YR4/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	良好	
122	ナデ ヨコナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文	—	0.1～3㎜の金色の雲母を多く含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4)	褐　(10YR 4/4)	〃	
123	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあと一部ナデ	タテ方向の連続刺突文	—	全体に粒子が細かい。	にぶい橙　(5YR 6/4) 黒斑	橙　(5YR 6/6)	〃	
124	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ 貝殻条痕	貝殻連続刺突文	—	0.5～2㎜の白、茶色の砂粒を含む。	灰黄褐　(10YR 4/2)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
125	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の貝殻連続刺突文	—	微細な石英を少し含む。	明褐　(7.5YR5/6)	明褐　(7.5YR5/6)	〃	
126	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の貝殻連続刺突文	—	0.5～1.5㎜の石英と2～3㎜の褐色の砂粒を少し含む。	にぶい橙　(7.5YR6/4)	橙　(7.5YR6/6)	〃	
127	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文	—	1㎜以下の灰褐色の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	外面にススが付着
128	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.5～2㎜の白色で半透明の砂粒、淡黄色の砂粒を多く含む。	明赤褐　(5YR 5/8)	にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	
129	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の貝殻連続刺突文	—	0.5㎜の石英を含む。	明褐　(7.5YR5/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B2 B7 20～30 B10 50～80cm
130	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の貝殻連続刺突文	—	0.5～2㎜の灰色の砂粒と石英を多く含む。	灰褐　(5YR 5/2)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
131	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の貝殻連続刺突文	—	0.3～0.8㎜の白い砂粒を少し含む。	黒褐　(7.5YR3/2)	明赤褐　(5YR 5/8)	〃	B-10 50～80cm
132	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の貝殻連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 波頂部、タテに2ケ所の刺突文	—	2㎜以下の雲母、半透明砂粒、黒色で光る砂粒、淡黄色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	山形口縁 外面にススが付着
133	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5～1.5㎜の淡黄色、にぶい橙の砂粒、石英を含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁
134	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文 波頂部、タテに深い刺突文	—	1㎜以下の石英と白色で軟質の砂粒と灰色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	山形口縁
135	ナデ	ナデ 工具によるヨコナデ	タテ方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文	—	0.5～8㎜の灰、褐色の砂粒や雲母を多く含む。 0.3～2㎜の石英を含む。	にぶい橙　(5YR 6/4)	にぶい褐　(7.5YR6/3)	〃	
136	ナデ ヨコナデ	ヨコナデ	貝殻腹縁によるクシ歯状のヨコ方向の連続刺突文／凹線曲線／貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線曲線／貝殻腹縁によるクシ歯状のヨコ方向の連続刺突文	—	0.5㎜以下の石英、0.5～2.5㎜の灰色の砂粒を含む。	褐灰　(5YR 4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
137	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	連続刺突文／凹線 連続刺突文／凹線 連続刺突文	—	きめ細かい。2×3㎜の褐色の礫が含まれる。	にぶい橙　(5YR 6/4)	灰褐　(5YR 6/2)	〃	
138	ヨコナデ	ヨコナデ	クシ歯状の貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／半截竹管状の工具で端部を止めた沈線文／沈線／クシ歯状の貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文	—	0.2～1㎜の石英と0.8㎜程度の灰褐色砂粒を含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	にぶい橙　(5YR 6/4)	〃	

第8表　縄文土器観察表(8)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
139	ナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	斜方向の連続刺突文 凹線（端部刺突） 貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文	——	1㎜以下の石英、白色砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい褐 (7.5YR6/3)	良好	
140	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5 ～1.5 ㎜の雲母と白色の砂粒を含む。0.5 ～1 ㎜の半透明砂粒と細かい石英を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	口縁端部やや風化。外面屈曲部スス付着
141	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	円形連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／円形連続刺突文	——	0.8 ～2.5 ㎜の灰色の砂粒、0.3 ～1 ㎜の石英を含む。	褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/4)	〃	山形口縁
142	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線 斜方向の連続刺突文 波頂部、タテに3ヶ所の円形刺突	——	微細な石英を含む。	褐 (7.5YR4/3)	赤褐 (5YR 4/8)	〃	
143	貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文／凹線／2条のタテ方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.3 ～1.3 ㎜の石英、淡黄色砂粒と微細な黒色で光る砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
144	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあと 一部ナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文／波頂部、稜線上に7ヶ所の刺突文	——	2㎜以下の石英と白色砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(2.5YR4/3)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	AVI-2 ③ B-2
145	ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 二条の凹線 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1㎜程度の淡黄色の砂粒と0.5 ㎜程度の石英を含む。	橙 (2.5YR6/6)	橙 (2.5YR6/6)	〃	B－2 内面剥離
146	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	連続刺突文／凹線／連続刺突文／波頂部、端部に円形刺突・稜線上屈曲部先端に円形刺突／左右対称に斜方向の連続刺突文と2条の平行凹線	波頂部下に円形刺突文／凹線（両端円形刺突）	石英細片を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	灰黄褐 (10YR 5/2)	〃	山形口縁
147	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の貝殻腹縁による間隔が密な連続刺突文	——	0.3 ～0.8 ㎜の白色の細かい粒子と0.5 ～1.3 ㎜の半透明砂粒と石英や雲母片も含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
148	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁連続刺突文／凹線／連続刺突文／波頂部、稜線上に円形刺突を中心に花びら状の連続刺突文／左右対称のタテ二本の平行凹線	——	微細～2㎜の石英を多く含む。 0.2 ～0.8 ㎜の白色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁 外面一部剥離
149	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあと 一部ナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線（端部に刺突） タテ方向の連続刺突文 波頂部、稜線上に8ヶ所の刺突	——	2㎜程度の黒色の砂粒と石英細片を少し含む。	赤褐 (5YR 4/8)	赤褐 (5YR 4/8)	〃	山形口縁
150	ナデ	ナデ	連続刺突文 浅い凹線（両端、浅い刺突） 連続刺突文	波頂部端部に円形の突起	3㎜以下の黄褐色で軟質な砂粒を少し含む。1㎜前後の灰色の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	にぶい赤褐(2.5YR5/3)	〃	外面一部磨耗 山形口縁
151	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	貝殻腹縁による連続刺突文 凹線／円形刺突文／タテ方向の連続刺突文	——	0.8 ㎜以下の白・褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
152	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突文）／タテ方向の連続刺突文	——	3～4㎜の灰白の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 7/6)	橙 (5YR 7/6)	〃	磨耗、欠損
153	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／連続刺突文	——	1.5 ～4㎜の褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 7/6)	橙 (5YR 7/6)	〃	口唇部やや磨耗
154	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 凹線（端部刺突） タテ方向の連続刺突文	——	0.5 ㎜以下の白い砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
155	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／タテ方向の連続刺突文	——	細かい石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	
156	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下斜方向の連続刺突文	——	1㎜以下の金色の雲母と白色の砂粒を多く含む。	褐 (7.5YR4/3)	灰褐 (7.5YR4/2)	〃	
157	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕のあと 一部ナデ	貝殻によるタテ方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1㎜以下の石英、白色の粒子を多く含む。	灰褐 (5YR 6/2) にぶい橙 (5YR 7/3) 黒斑	灰褐 (7.5YR6/2)	〃	
158	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	口唇部に貝殻腹縁による連続刺突文／凹線（端部刺突）／半月形刺突文／タテ方向の連続刺突文	口縁下に沈線	0.5 ㎜以下の石英を少し含む。	にぶい橙 (5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	オリーブ黒(5Y 3/1)	〃	

第9表　縄文土器観察表(9)

図版番号	図様 表	図様 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
159	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ 貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文／貝殻腹縁による連続刺突文／タテ方向の連続刺突文	——	0.5～2㎜の石英と淡黄色の砂粒を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4) 黒斑	橙 (7.5YR6/6) 黒斑	良好	
160	貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文	——	1㎜以下の石英を多く含む。 1.5㎜以下の赤褐色、2㎜以下の灰色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	口唇部風化ぎみ
161	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／半円形刺突／タテ方向の連続刺突文	——	1.5㎜程度の褐色の砂粒を極く少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
162	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文	——	2.5㎜程度の半透明で乳白色、茶色の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B4+2　60－70
163	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	口唇部に貝殻腹縁による斜方向の刺突文／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文	——	1.5㎜以下の石英と3㎜以下の褐、白色砂粒を多く含む。	褐灰 (5YR 4/1)	灰褐 (5YR 4/2)	〃	B1H $\frac{140}{507}$ P
164	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／刺突（深）／タテ方向の連続刺突文	——	0.5㎜以下の石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	内面一部欠損
165	ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／やや斜方向の連続刺突文	——	1.5㎜以下の金色の雲母、1㎜以下の白い砂粒を含む。	黒斑	黒斑	〃	B10　50～80cm 山形口縁
166	ナデ	ヨコナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文（間隔広）／斜方向の連続刺突文	——	1㎜程度の石英、褐色の砂粒を少し含む。	暗灰黄 (2.5Y 4/2)	黒褐 (2.5Y 3/1)	〃	B10　60～80
167	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	凹線（端部刺突）	——	0.5～2.5㎜の白色の砂粒を少し含む。	橙 (7.5YR6/6) にぶい黄褐(10YR 4/3)	灰黄褐 (10YR 4/2) にぶい黄褐(10YR 6/4)	〃	
168	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ 指おさえ	2条の凹線 斜方向の凹線	——	0.5～1㎜の灰白色の砂粒、0.5㎜程度の石英を含む。全体に粒子細。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
169	ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下に数条の沈線文	——	0.2～1.8㎜の黄味をおびた白色の砂粒、雲母を含む。	褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/4)	〃	B1+2 (?) 山形口縁 外面にススト付着
170	ヨコナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ヨコナデ 貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）の中に貝殻腹縁によるヨコ方向の刺突文／斜方向の連続刺突文	——	1㎜以下の金色の雲母を含む。 0.5～3㎜の赤茶、黄白色の砂粒を含む。	灰褐 (5YR 4/2)	にぶい赤褐(5YR 6/4) 黒斑	〃	172と同一個体 内外面一部ススト付着
171	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文／斜方向の凹線／ヨコ方向の半月形刺突文／斜方向の連続刺突文	——	.2㎜以下の金色の雲母を多く、3㎜以下の白色の砂粒を少し含む。	灰褐 (7.5YR5/2)	にぶい橙 (5YR 6/3)	〃	山形口縁
172	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）の中に貝殻腹縁によるヨコ方向の刺突文／斜方向の連続刺突文	——	0.5～3㎜の雲母を含む。 0.5～2.5㎜の灰白色の砂粒を多く含む。	褐 (7.5YR4/3)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B4+2　40－50 内外面とも一部ススト付着
173	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／2条の凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1～3㎜の灰色の砂粒、微細な石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	褐 (7.5YR4/4)	〃	山形口縁
174	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ ナデ	凹線／貝殻腹縁による横方向の連続刺突文	——	1㎜以下の石英、黒色で光る粒、0.5～3㎜の白色の砂粒含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
175	ヨコナデ	貝殻条痕	2条の凹線（端部刺突）／貝殻腹縁によるタテ方向の刺突文／波頂部付近、タテ方向の凹線（端部刺突）	——	微細な石英と0.5㎜程度の白色、灰色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
176	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下、タテ方向細沈線文／斜方向連続貝殻腹縁文／波頂部付近、瘤状の凹線	——	0.5～1㎜の白色の砂粒、2㎜程度の灰色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (10YR 4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (10YR 4/1)	〃	B4+2　50－60 山形口縁
177	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	2条の凹線（端部刺突）／口縁下、貝殻腹縁によるタテ方向の連続刺突文	——	石英を少し含む。	黒褐 (10YR 3/1) にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	山形口縁
178	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	2条の凹線（端部刺突）	——	1～3.5㎜の褐、灰色の砂粒、0.5㎜程度の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	〃	山形口縁

第10表　縄文土器観察表(10)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
179	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の平行凹線／口縁部下、貝殻腹縁によるタテ方向の連続刺突文	—	0.2 ～0.8 mmの石英、0.3 ～1 mmの白色の砂粒を含む。	褐灰 (10YR 4/2)	黒褐 (2.5Y 3/2)	良好	
180	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	沈線／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	細かい石英を少し含む。	橙 (2.5YR6/6)	橙 (2.5YR6/6)	〃	山形口縁
181	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線／竹管状工具による円形刺突／斜方向の連続刺突文	—	0.8 mm以下の白色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
182	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁文／凹線／貝殻連続刺突文	—	1 mm以下の褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
183	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文	—	1 mm程度の白・茶色の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	灰褐 (7.5YR5/2) 橙 (5YR 6/6)	〃	外面にススが付着
184	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／円形刺突文／連続刺突文	—	1.5 mm以下の白い軟質の砂粒と石英を含む。	橙 (5YR 7/6)	にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	外面口縁部下ススが付着 B1＋3　71～80
185	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の貝殻腹縁刺突文／凹線曲線／凹線間に連続刺突文／斜方向の貝殻腹縁刺突文	—	細かい石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
186	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による連続刺突文	—	2 mm大の褐色の砂粒と0.3 ～1.3 mmの石英を含む。	灰黄褐 (10YR 5/2)	灰黄褐 (10YR 5/2)	〃	
187	ヨコナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文／円形刺突文を中心に花びら状に連続刺突、円形に凹線を施し中に貝殻腹縁ヨコ刺突文／タテ方向の連続刺突文	—	1 mm以下の石英、白色砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	〃	B－2
188	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	凹線／連続刺突文／凹線／連続刺突文 円形刺突文／タテ方向の凹線／斜方向の貝殻腹縁刺突文	口唇部に連続刺突文	1 mm以下の石英、柱状で黒く光る砂粒と2 mm以下の軟質で白色の砂粒を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
189	ナデ 貝殻条痕	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の貝殻腹縁文／凹線／連続刺突文／波頂部、円形刺突文を中心に花びら状に連続刺突	—	1.5 mm以下の石英を多く含む。 2 mm以下の灰色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 7/6) にぶい橙 (5YR 6/3)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁 B－2
190	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	タテ方向の連続刺突文／円形刺突文を中心に花びら状に連続刺突／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文	—	1 mm以下の石英を含む。 2 mm以下の白色砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	B－2
191	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	口縁端部付近風化／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁文	—	1 mm程度の黒い柱状の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	表面やや風化
192	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	凹線／連続刺突文／凹線（端部刺突）／連続刺突文／凹線／連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英と2 mm以下の褐色の砂粒、4 mm以下の雲を含む。	にぶい橙 (2.5YR6/4)	橙 (2.5YR6/6)	〃	
193	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下、凹線	—	0.3 ～1 mmの淡黄色の砂粒、0.5 ～2 mmの長石、0.2 ～3 mmの雲母を多く含む。0.3 ～0.8 mmの石英を含む。	褐 (7.5YR4/6)	暗褐 (10YR 3/3)	〃	B7　20～50
194	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文	—	微細な石英を含む。	橙 (2.5YR6/6) 灰褐 (5YR 6/2)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	A・TⅢ区 面層－60cm 口縁部下にスス
195	ヨコナデ	ヨコナデ	連続刺突文／凹線／連続刺突文	—	2 mm以下の金色の雲母と白色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	口縁部下にスス付着
196	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／斜方向の凹線／凹線間に刺突／貝殻腹縁刺突／斜方向の連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英、黒く光る柱状の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 7/6)	橙 (5YR 7/6)	〃	
197	ヨコナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文	—	2.5 mmの灰色の砂粒、1 mm程度の褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	一部剥離

第11表　縄文土器観察表(11)

図版番号	器面調整 表	器面調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
198	貝殻条痕	貝殻条痕	連続刺突文（ヘラ状工具）／貝殻腹縁による斜方向の斜突文／連続刺突文（ヘラ状工具）	—	細片～2㎜程度までの石英、角閃石細片を含む。酸化鉄粒を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4)	にぶい橙 (7.5YR7/4) にぶい黄橙(10YR 7/4)	良好	
199	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 連続刺突文	—	石英を多く含む。灰色、白色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/8)	〃	全体的に風化気味
200	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／連続刺突文	—	0.5㎜以下の石英を含む。	にぶい黄橙(10YR 6/3)	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	
201	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 連続刺突文	—	1㎜以下の石英を多く含み、2㎜以下の褐色砂粒、3㎜以下の茶褐色砂粒を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR7/3) 褐灰 (5YR 4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B3 50～60
202	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	タテ方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 斜方向連続刺突文	—	2㎜以下の石英を多く含み、灰色、黒色で光る粒子を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	外面にススの若干残存
203	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／斜方向連続刺突文	—	0.5～0.8㎜の淡黄色の砂粒と2㎜以下の金色の雲母を多く含む。 1～2㎜の白色で半透明の砂粒も含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	外面屈曲部にススが付着
204	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	タテ方向の連続刺突文（押引き状） 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 タテ方向の連続刺突文（押引き状）	—	0.5㎜程度の石英、灰色の砂粒を少量含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	褐 (7.5YR4/4)	〃	B4 Ⅲ層60～80 B4 80～90 外面にススが付着
205	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／斜方向連続刺突文	—	白色、黒色の細砂を少し含む。	無斑 橙 (5YR 6/6) にぶい赤褐(5YR 5/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	
206	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 タテ方向の連続刺突文	—	1～2㎜の茶、褐、灰色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
207	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／連続刺突文	—	0.2～1.5㎜の黄味をおびた白色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (10YR 4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
208	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	浅い凹線／貝殻による縦方向の連続刺突文（押引き状）／浅い凹線2条／屈曲部先端、沈線／その下の凸部欠損	—	0.2～0.8㎜の石英を多く含む。 白、褐色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B7 20～50 山形口縁
209	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の貝殻連続刺突文	—	1.5㎜程度の褐、白色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/3)	にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	全体に風化
210	貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文	—	2㎜以下の赤褐色で軟質の砂粒をごく少し含む。	浅黄橙 (10YR 8/3) 灰黄褐 (10YR 6/2)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	外面屈曲部下にススうすく残存
211	貝殻条痕	貝殻条痕	連続刺突文／2条の凹線／連続刺突文／波頂部、半円弧状の連続刺突文と凹線を交互に施す／屈曲部先端刺突	—	0.3～1㎜の石英、0.5㎜程度の黒色で光る砂粒を多く含む。	橙 (5YR 7/6)	橙 (5YR 7/6)	〃	AT V-2 山形口縁 全体に磨耗甚だしい
212	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文 2条の凹線 タテ方向の連続刺突文	—	1㎜以下の石英、白、褐色、黒色で光る砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
213	ヨコナデ	ヨコナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／縦方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	1.5㎜以下の金色の雲母、白色の砂粒を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
214	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／刺突文／斜方向の連続刺突文	—	0.5㎜以下の石英を多く含む。 4㎜大の灰白色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/3)	橙 (2.5YR6/6)	〃	山形口縁
215	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	タテ方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 タテ方向の連続刺突文	—	全体に粒子細。石英、白、灰色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/8)	明赤褐 (5YR 5/8)	〃	
216	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 斜方向の刺突文	—	2㎜以下の白色の砂粒、3～6㎜のうす茶色の砂粒を少し含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) 黒斑	橙 (5YR 6/6)	〃	
217	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 斜方向の連続刺突文	—	0.3～0.5㎜の石英を多く含む。酸化鉄粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	

第12表　縄文土器観察表(12)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
218	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 斜方向の連続刺突文	——	2㎜以下の金色の雲母、淡黄の砂粒を多く含む。1㎜程度の白色透明の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	良好	B10　50～80
219	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	縦方向の連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 縦方向の連続刺突文	——	0.5 ㎜程度の石英、灰色の砂粒と、2～3㎜の褐色の砂粒を少し含む。	灰褐 (7.5YR4/2) 明褐 (7.5YR5/6)	明赤褐 (5YR 5/8) 黒斑	〃	外面、スス付着
220	ナデ 貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと 一部ナデ	波頂部に左右対称の斜方向2条の凹線（端部刺突）	——	全体に砂粒が少ない。1.5 ㎜程度までの灰色、褐色の砂粒を少し含む。石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
221	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ 貝殻条痕	波頂部、2条の平行凹線（両端刺突）	——	0.5 ～5㎜の石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
222	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	凹線／2段の貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線	——	0.3 ～1㎜の石英、黒色で光る砂粒などを含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
223	貝殻条痕のあと 一部ナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	2条の凹線（各々の凹線内に横に2個ずつの円形刺突を等間隔で施す）／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1～2.5 ㎜の褐色の砂粒、0.3 ～1㎜の石英などを含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
224	ヨコナデ	ナデ 貝殻条痕	2条の平行凹線／屈曲部上に貝殻によるタテ方向の連続刺突文	——	1㎜程度の灰色、褐色の砂粒、石英を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	〃	
225	ナデ	貝殻条痕	貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／2条の平行沈線／貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／数条の凹線／波頂部、左右対称2条の斜方向の平行凹線／貝殻による刺突	流線状の沈線	0.3 ～0.8 ㎜の黄味をおびた白色の砂粒を含む。 石英・金色の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	山形口縁 口唇部スス付着
226	ヨコナデ	ナデ	2条の凹線／横方向の貝殻腹縁刺突文／凹線／口縁部下、斜方向の貝殻腹縁刺突文／波頂部、横方向貝殻腹縁刺突文／3条の凹線	波頂部、縦に5ヶ所の刺突文	0.3～0.8㎜の黄味をおびた白色粒、0.2～1.3㎜の金色の雲母を含む。	にぶい橙 (5YR 7/4)	にぶい橙 (5YR 7/4)	〃	山形口縁 外面一部剥離 内面一部スス付着
227	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／2条の平行凹線（端部に刺突）／斜方向の連続刺突文（左下）／口縁部下曲線状の凹線／波頂部付近、だ円形刺突文／タテ方向の凹線	波頂部の下付近に円形刺突文	0.3 ～2.5 ㎜の黄味をおびた白色の砂粒を多く含む。 0.3 ～3㎜の雲母を含む。	褐 (7.5YR4/4) 黒褐 (7.5YR3/1)	にぶい赤褐(5YR 4/4) 黄灰 (2.5Y 4/1)	〃	B14　80～90 山形口縁
228	ナデ ヨコナデ	工具によるヨコナデ	2条の凹線／貝殻による斜方向の連続刺突文	——	1㎜以下の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁 外面一部スス付着
229	ナデ	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／3条の平行凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下、3条の凹線	——	0.3 ～1.5 ㎜の黄味をおびた白色の砂粒を多く含む。0.5 ～1.5 ㎜の半透明の砂粒、雲母を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4) 黒斑	黄褐 (2.5Y 5/3) 黒斑	〃	
230	ナデ	ナデ	2条の平行凹線（一部端部に刺突）／押引き状連続刺突文	——	0.3 ～0.8 ㎜の石英を含む。 1～2㎜の褐色の砂粒を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B4+2　40－50 山形口縁
231	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁による刺突文／2条の平行凹線（端部に刺突）／半月形の刺突文／凹線（中に斜方向の連続刺突文）	——	1㎜以下の金色の雲母、白色の砂粒、黒色の光る砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
232	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（中に三日月状の刺突文）／斜方向の連続刺突文	——	0.3 ～1.8 ㎜の黄味をおびた白色の砂粒を含む。 0.3 ～1㎜の石英を多く含む。	灰褐 (5YR 5/2)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	
233	ナデ ヨコナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／波頂部付近、2段のタテ方向刺突文	——	2㎜以下の白色の砂粒を多く含む。 1㎜以下の金色の雲母を少し含む。	橙 (7.5YR6/6)	橙 (7.5YR6/6)	〃	山形口縁
234	ナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	タテ方向連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／凹線／タテ方向連続刺突文	——	0.3 ～2㎜の黄味をおびた白色砂粒を多く含む。0.5 ～2㎜の半透明の砂粒、石英、雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	外面一部欠損 山形口縁
235	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続刺突文／波頂部、2対の半月形刺突（ヨコ方向、深）2段／口縁部下に突起（欠損）	波頂部口唇部に半月形刺突	0.5 ～2.5 ㎜の白、灰白色砂粒、石英、黒色で柱状の光る砂粒を含む。	灰黄褐 (5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4) にぶい黄褐(10YR 4/3)	〃	口縁部下突起部欠損。B-2 山形口縁
236	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと 一部ナデ	タテ方向連続刺突文／凹線（端部に刺突）／斜方向の連続刺突文／波頂部、タテに2つの半月形刺突／左右対称に半月形刺突	波頂部口唇部に半月形刺突	0.2 ～1.2 ㎜の石英を含む。1㎜程度の灰白色の砂粒を含む。	にぶい褐(7.5YR 5/4)	にぶい褐(7.5YR 5/4)	〃	口唇、外面一部磨耗 山形口縁

第13表　縄文土器観察表(13)

図版番号	器型 表	器型 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
237	ナデ	ナデ	タテ方向の連続刺突文／2条の凹線（端部刺突） ヨコ方向貝殻腹縁による刺突文／凹線（端部刺突）／波頂部、4本の凹線（両端部刺突）／左右対称にタテに連続ヨコ方向刺突文	波頂部口唇、横にタテ方向連続刺突文	0.3～1.5㎜の石英を多く含む。 2㎜程度の褐色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4) 明赤褐(2.5YR6/6) 黒斑	明赤褐(2.5YR5/6) 黒斑	良好	山形口縁 外面一部剥離
238	ナデ	ナデ 指押さえ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／波頂部、斜方向の連続刺突文／刺突文／貝殻腹縁による連続刺突文／刺突文	—	0.3～2㎜白色硬質でもろい砂粒、金色の雲母を含む。	明赤褐(2.5YR5/6)	明赤褐(2.5YR5/6) にぶい褐(7.5YR5/3)	〃	山形口縁
239	ナデ	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	斜方向連続刺突文／沈線文／斜方向連続刺突文／波頂部、斜方向連続刺突文／タテに3ヶ所楕円刺突／斜方向連続刺突文／口縁部下、数条の凹線文（直線・曲線）	波頂部、2段にタテ方向連続刺突文（やや放射状）	0.5～3㎜の白色で半透明の砂粒、0.5～2㎜の淡黄色の砂粒、0.5～～1.5㎜の金色の雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B5 20－50 山形口縁 外面スス付着
240	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	斜方向連続刺突文／2条の凹線（端部刺突）／斜方向連続刺突文（左下）／波頂部連続刺突文／タテに3ヶ所楕円刺突／口縁部下、凹線（端部刺突）	波頂部 3本のタテ方向凹線	微細なものから2㎜程度までの金色の雲母を多く含む。 0.3～1.5㎜の黄味をおびた白色の砂粒、半透明の砂粒、石英を含む。	にぶい橙(5YR 6/4) 黒斑	にぶい橙(5YR 6/4) 黒斑	〃	山形口縁
241	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ ナデ	タテ方向の連続刺突文 凹線（端部刺突）楕円刺突 タテ方向連続刺突文	—	2㎜以下の石英、白色砂粒、灰色砂粒を多く含む。	灰褐(5YR 5/2)	明赤褐(5YR 5/6)	〃	A11区 40－60
242	ナデ	粗いナデ	2条平行凹線	—	0.3～1.8㎜の石英を多く含む。 0.8～1.5㎜の白色砂粒を含む。	赤褐(5YR 4/6)	明赤褐(2.5YR5/6) にぶい褐(7.5YR5/4)	〃	B14＋0 50－65
243	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	凹線／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向連続刺突文	—	0.5～1㎜の淡黄、灰、褐灰色の砂粒を含む。	橙(5YR 6/6)	橙(5YR 6/8)	〃	
244	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	タテ方向連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 タテ方向連続刺突文	—	0.3～0.5㎜の石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	明赤褐(5YR 5/6)	〃	B4 Ⅲ層60－80
245	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	数条の斜方向の凹線（両端円形刺突）による文様	—	0.5㎜以下の石英と2㎜以下の褐、灰色の砂粒を多く含む。	橙(5YR 6/6)	にぶい橙(7.5YR6/4)	〃	B15＋0 70－80
246	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 斜方向連続刺突文	—	0.5～2㎜の白色、灰色の砂粒と、石英、角閃石を多く含む。	にぶい橙(7.5YR6/4) 橙(7.5YR6/6)	橙(7.5YR6/6)	〃	
247	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 タテ方向連続刺突文	—	0.5㎜程度の金色の雲母と、1.5㎜以下の軟質の白色砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4) にぶい褐(7.5YR5/3)	〃	
248	貝殻条痕 ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向連続刺突文 2条の斜方向平行凹線／斜突文／斜方向連続刺突文	—	微細な石英、黒色で光る砂粒を含む。	灰黄褐(10YR 4/2) にぶい褐(7.5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	
249	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕	斜方向連続刺突文 貝殻腹縁による斜方向連続刺突文 斜方向の連続刺突文（右下）	—	0.5～3㎜の黄味をおびた砂粒、0.5～2㎜の金色の雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4) 灰褐(5YR 4/2)	褐(10YR 4/6)	〃	
250	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文	—	0.5㎜以下の石英、白色砂粒を含む。	にぶい橙(2.5YR6/4) にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐(5YR 5/6)	〃	
251	ナデ	丁寧なナデ	斜方向連続刺突文／凹線（半月形凹線）貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／凹線（半月形凹線）／斜方向連続刺突文	—	0.3～2.5㎜の黄味をおびた白色で硬質の砂粒、0.5～1.5㎜の半透明の砂粒を含む。雲母も少し含む。	にぶい褐(7.5YR5/4)	にぶい褐(7.5YR5/4) 黄褐(2.5Y 5/3)	〃	B9 50－80
252	ナデ 貝殻条痕	ナデ	斜方向・タテ方向の連続刺突文／凹線文／斜方向の連続刺突文／波頂部、端部刺突／その下にタテに3ヶ所の刺突文／口縁部下、突起欠損部	—	2㎜以下の金色の雲母、白色、灰、茶色の砂粒を多く含む。	にぶい褐(7.5YR6/3)	にぶい橙(5YR 6/3)	〃	山形口縁 波頂口縁部下の突起欠損
253	ナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／3条の平行凹線（2条め凹線内に刺突）／タテ方向の連続刺突文／口縁部下、2条の平行凹線／タテ方向連続刺突文／斜方向凹線／これに沿って斜方向連続刺突文／屈曲部付近に貼付突起（上に凹線、側面に連続刺突文）	口縁端部下、斜方向連続刺突文	0.3～1.5㎜の白色砂粒を多く含む。石英、雲母を含む。	にぶい褐(7.5YR5/4) 黒斑	にぶい褐(7.5YR5/4) にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	B－2 山形口縁
254	ナデ	ナデ	斜方向連続刺突文 2条凹線（半月形刺突） 斜方向連続刺突文	—	0.5～2㎜の金色の雲母、0.5～1.5㎜の石英、0.5～2㎜の灰白の砂粒（硬質、軟質）を多く含む。	にぶい黄橙(10YR 5/4)	明褐(7.5YR5/6)	〃	全体磨耗

第14表　縄文土器観察表(14)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
255	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向の貝殻腹縁による斜突文／2条の凹線／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文／口縁部下粗雑な2条の凹線	——	0.3～3mmの黄味をおびた白色の砂粒、1～1.5mmの半透明の砂粒を含む。0.3～1mmの雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/6)	にぶい褐 (7.5YR5/6)	良好	
256	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	斜方向の貝殻による連続刺突文／3条の凹線／斜方向の貝殻による連続刺突文	——	1mm以下の石英、淡黄色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
257	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	2条の沈線／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文のあと沈線／沈線／波頂部付近タテ方向の3条の凹線	——	1～3mmの雲母、1mm程度の白色で半透明の砂粒、淡黄色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	山形口縁
258	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／斜方向の貝殻腹縁による刺突文／斜方向の連続刺突文／波頂部、刺突／左右対称にタテ方向の凹線	——	2mm以下の石英を多く、褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	山形口縁 口唇部、屈曲部）摩耗
259	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文／タテ方向の連続刺突文／波頂部縁上に連続刺突文	——	0.3～3mmの黄味をおびた灰白色の砂粒を含む。 0.3～1.3mmの石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	〃	山形口縁
260	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文／波頂部タテに2個の半月形の刺突／左右対称に半月形の刺突	——	0.5～2.5mmの淡黄色の砂粒を含む。 0.2～1mmの石英を少し含む。	灰褐 (5YR 4/2)	灰褐 (5YR 4/2)	〃	山形口縁 8－4＋5　1－30
261	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／3条の凹線／斜方向の連続刺突文／波頂部、畑部を囲むように半弧状の3本の沈線／タテに2ヶ所のヨコ方向の刺突文／口縁部下凹線	波頂部 タテに8ヶ所のヨコ方向刺突文	0.5～4mmの金色の雲母、2mm以下の淡黄色、茶色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
262	ナデ	ナデ	ヨコ方向の連続刺突文／数条の平行凹線文／間に一部短線押圧文／ヨコ方向の連続刺突文	波頂部 沈線による流線文	0.3～1.5mmの白色、半透明の砂粒、雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	山形口縁
263	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線(中に半月形の刺突)／斜方向の連続刺突文／波頂部、縁上タテに半月形の刺突	——	0.5～2mmの黄味をおびた白色の砂粒を多く含む。雲母を含む。 0.5～2mmの半透明の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
264	ナデ	ナデ	波頂部、斜方向の連続刺突文／タテにヨコ方向の3条の凹線（両端刺突）　左右対称の斜方向の凹線（端部刺突）／口縁部下、貝殻による斜方向の連続刺突文	——	0.5mm程度の石英を含む。 1mm以下の灰色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 灰褐 (7.5YR4/2) 黒斑	明褐 (7.5YR5/6)	〃	山形口縁
265	ナデ	ナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／2条の平行の凹線（両端刺突）／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.3～2mmの金色の雲母を多く含む。0.5mm程度の白色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6) 黒斑	橙 (5YR 6/6) 黒斑	〃	山形口縁
266	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	斜方向の貝殻腹縁連続刺突文／2条の沈線（端部刺突）／斜方向の貝殻腹縁連続刺突文／口縁部下、斜方向の貝殻腹縁連続刺突文	——	0.5～1mmの石英、1.5mm程度の褐色の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (5YR 5/4)	〃	外面スス付着
267	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文	——	微細な石英、黒色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒斑	橙 (5YR 6/6)	〃	
268	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	白、灰色の細砂を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6) にぶい褐 (7.5YR6/3)	〃	
269	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ 貝殻条痕	斜方向連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向連続刺突文（左下）／口縁部下、連続刺突文（右下）	——	微細な石英を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B8　20～30
270	ナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文	——	2.5mm以下の金色の雲母、1.5mm以下の茶、淡黄色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
271	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による刺突文／斜方向の凹線／斜方向の連続刺突文	——	0.3～1.2mmの淡黄色の砂粒 0.5～1.5mmの石英を含む。 2mm程度の半透明の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
272	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下沈線	——	2mm以下の白色、石英、黒く光る柱状の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
273	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線／沈線／凹線／半月形刺突／斜方向の連続刺突文／口縁部下、斜方向の連続貝殻腹縁文	——	0.3～1.5mmの灰色、淡黄色の砂粒を多く含む。石英と金色の雲母も含む。	褐 (7.5YR4/4) 黒斑	褐 (7.5YR4/4)	〃	－70

第15表　縄文土器観察表(15)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
274	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部付近、タテ方向2条の平行凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下斜方向の連続刺突文	—	0.3～1.3mmの淡黄色の砂粒を含む。半透明の砂粒、石英を含む。	橙 (7.5YR6/6) にぶい黄褐(10YR 5/3)	褐 (7.5Y 4/4)	良好	山形口縁、内面にスス付着、剥離
275	ナデ	ナデ	波頂部付近、斜方向連続刺突文／タテに2ヶ所の半月形刺突／タテ凹線／横凹線(端部刺突)／斜方向連続刺突文	—	0.5～2.5mmの灰白色で軽石状の砂粒を含む。0.5～0.8mmの黒色で光る砂粒、石英を含む。	明褐 (7.5YR5/8) 黒褐 (10YR 3/1)	明褐 (7.5YR5/8) 暗褐 (10YR 3/3)	〃	B4+2　40−50 山形口縁 外面スス付着
276	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	波頂部、斜方向の連続貝殻腹縁文／3条の横凹線(端部刺突)／3条のタテ凹線(左右対称であろう)／斜方向の連続貝殻腹縁文	—	微細な黒く光る砂粒、石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/3) 黒斑	褐 (10YR 4/4)	〃	山形口縁
277	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部2条の横凹線(端部刺突)／斜方向の貝殻連続刺突文／口縁部下斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文	—	微細な淡黄色、黒色で光る砂粒、石英を少し含む。	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
278	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	波頂部貝殻腹縁による刺突文／2条の横凹線(両端部刺突)／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文	—	0.3～1mmの石英、0.5～1.3mmの灰白色でもろい砂粒、1～2mmの灰色、褐色の砂粒、黒色で光る砂粒を含む。	褐 (7.5YR4/3)	褐 (7.5YR4/4)	〃	山形口縁
279	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の貝殻連続刺突文／凹線(端部刺突)／斜方向の貝殻連続刺突文(綾杉状)／波頂部、タテに3ヶ所の刺突／左右対称のタテ凹線	—	0.3～1mmの淡黄色の砂粒、半透明で白色の砂粒、雲母を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁、内・外面一部スス付着　B4+?−40
280	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	波頂部、斜方向の連続貝殻腹縁文／3条の横凹線(端部刺突)／斜方向の凹線(左右対称であろう)／凹線間に貝殻腹縁文／斜方向の連続貝殻腹縁文	—	1～4.5mmの灰白色、淡黄色の砂粒と0.5～1.5mmの石英などを含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
281	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 板状工具によるナデ	凹線(刺突)／斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文／波頂部、3条の沈線／左右対称に斜方向の平行沈線／円形刺突	—	1～2mmの灰白色の砂粒、0.5～1.2mm程度の石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6) にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	山形口縁 外面一部スス付着
282	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向の連続刺突文／凹線(端部刺突)／斜方向の連続刺突文／波頂部タテに2ヶ所の半月形刺突／左右対称に斜方向の凹線	—	1～4mmの灰白色の軟質で軽石のような性質の砂粒を多く含む。0.5mm程度の石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR6/3) 黒褐 (2.5YR3/1) 黒斑	明褐 (7.5YR5/8) 黒褐 (2.5YR3/1) 黒斑	〃	山形口縁 B4+2、40−50 50−60
283	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと粗いナデ	斜方向の連続刺突文／凹線(端部刺突)／横貝殻腹縁文／凹線曲線文／横貝殻腹縁文／斜方向の連続刺突文	—	0.3～1.8mmの白色で硬質の砂粒、金色の雲母を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁
284	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突／沈線／斜方向貝殻腹縁文／沈線／斜方向連続刺突／波頂部付近タテ方向凹線	—	0.3～1mmの石英を多く含む。黒色で柱状の光る砂粒を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	橙 (7.5YR6/6)	〃	A−T−1　Ⅲ層 山形口縁
285	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突／凹線／横方向の貝殻腹縁刺突／凹線／斜方向の連続刺突／波頂部斜方向連続刺突／綾線上に2ヶ所の刺突／綾を中心に左右対称タテ方向2本の凹線／斜方向の連続刺突	—	0.5～2.5mmの長石、0.2～1.5mmの黄色味をおびた白色の砂粒を多く含む。1mm内外の金色の雲母を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
286	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向の連続刺突／凹線(端部に半円形の刺突)／斜方向の貝殻腹縁文／凹線(中に円形の刺突)凹線／斜方向の連続刺突	—	0.3～1mmの白色の砂粒と0.3～2mmの半透明の砂粒を多く含む。0.3～1.8mmの金色の雲母を含む。	赤褐 (5YR 4/6)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	覆層
287	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	波頂部付近、横方向凹線(両端円形刺突)／斜方向凹線(左右対称であろう)／貝殻腹縁文(一部ナデ消し)／口縁部下、連続貝殻腹縁刺突	—	黒色、柱状で光る砂粒と0.3～0.8mmの石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	山形口縁
288	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部半月形・円形の刺突／2条の横方向平行凹線(両端に刺突)／左右対称斜方向平行凹線／貝殻腹縁による斜方向連続刺突の上に3ヶ所の楕円形刺突／口縁部下斜方向連続貝殻腹縁刺突	—	0.2～0.5mmの石英、灰色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	山形口縁
289	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 指ナデ	斜方向の連続刺突／2条平行凹線／斜方向の連続刺突／口縁部下に斜方向の貝殻腹縁刺突／波頂部は斜方向連続刺突／横方向2条凹線を中心に左右対称タテ方向2条凹線(横凹線上に筋状タテ方向の沈線2本)／斜方向連続刺突	—	1～2.3mmの黄褐色で軟質の砂粒を含む。0.5～2mmの灰色、褐色の砂粒を含む。	黒褐 (7.5YR2/2) にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4) にぶい褐 (7.5YR5/3)	〃	山形口縁
290	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	波頂部横方向凹線／斜方向の連続する貝殻腹縁刺突／その上から刺突と左右対称の凹線	—	0.5～3mmの黄色味をおびた白色軟質の砂粒と0.5～2.3mmの半透明の砂粒、雲母を含む。	褐 (7.5YR4/3)	褐 (7.5YR4/4)		−80、70−80か 70−50? 山形口縁
291	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	波頂部、斜方向連続刺突／横方向凹線(両端刺突)／横方向貝殻腹縁文／横凹線(両端刺突)／横貝殻腹縁文／横凹線(両端刺突)／左右対称斜方向凹線(両端刺突)／斜方向連続刺突／口縁部下、斜方向連続貝殻腹縁文(左下)	—	0.2～1mmの石英を含む。黒色で光る微細な砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 褐 (7.5YR4/3)	明赤褐 (5YR 5/6) にぶい黄橙(10YR 5/4)	〃	外面スス一部付着 山形口縁

第16表　縄文土器観察表(16)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
292	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向の連続刺突文／波頂部、タテに2個の深い刺突	——	0.2～1㎜の石英を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4)	にぶい橙 (7.5YR6/4)	良好	AT－Ⅲ層－60cm 山形口縁 外面一部剥離
293	ナデ	ナデ	〃	——	0.2～1.8㎜の石英、0.5㎜の黒色で光る柱状の砂粒、0.2～0.5㎜の白色の砂粒を含む。	褐 (7.5YR4/4) 黒 褐(10YR 3/1)	明 褐 (7.5YR5/6)	〃	B－2 山形口縁
294	ていねいなナデ ナデ	ていねいなナデ	斜方向の連続刺突文／口縁下、凹線／浅い凹線／屈曲線上、2個のコブ状突起、先端に円形刺突	——	1～2㎜の半透明の砂粒と黄味をおびた白色軟質の砂粒を含む。0.2～0.6㎜の雲母を含む。	褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/4)	〃	
295	ナデ	ナデ	波頂部、端部に刻み状の連続刺突／斜方向の連続刺突文／コブ状突起／口縁部下、凹線文	——	0.5～1㎜の黄味をおびた白色の砂粒、1～3.5㎜の灰、褐色の砂粒、雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B－2 山形口縁 外面にスス付着
296	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	凹線／斜方向の連続刺突文／口縁部下、数条の沈線文／波頂部、斜め下に向かって穿孔	——	0.3～1.2㎜の黄味をおびた白色の砂粒、1～1.8㎜の半透明、灰色の砂粒、雲母を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4) 黒 斑	にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	山形口縁 口縁付近一部に赤色顔料付着
297	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の刺突文／凹線／連続刺突文／波頂部、竹管状工具による2本の短凹線（端部刺突）／その左右、貝殻腹縁文を充填	——	0.5～1㎜の淡黄色の砂粒と石英細粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B－2 山形口縁
298	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／波頂部、斜方向の短凹線円形刺突(1)	——	0.3～1㎜の石英、黒色で光る柱状の砂粒を含む。0.2～2㎜の黄味をおびた白色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒 斑	〃	〃	B－2 山形口縁
299	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続貝殻腹縁文／凹線間に円形連続刺突文／斜方向の連続貝殻腹縁文／波頂部、円形の深い刺突を中心に左右対称タテに円形連続刺突文・タテ方向凹線・斜方向の連続貝殻腹縁文・タテ方向凹線	——	0.5～0.8㎜の石英を多く含む。0.5～2.5㎜の灰色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	B－2 山形口縁
300	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	凹線／斜方向の連続刺突文／凹線／斜方向の連続刺突文／波頂部、口縁下、円形刺突(1)	波頂部、円形の深い刺突を中心に周囲を竹管状工具による刺突	0.5～1㎜の石英、0.5㎜程度の黒色で光る砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	B4＋3－40 山形口縁
301	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続刺突文（左下）／波頂部、タテ方向に刺突(3)／口縁下、連続刺突文(2重の半円を描く)	——	1㎜以下の金色の雲母、0.3㎜程度の白い砂粒を含む。	灰黄褐 (10YR 5/2) にぶい褐 (7.5YR5/4)	褐 灰 (10YR 4/1) 灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	B－2 山形口縁
302	貝殻条痕のあと一部ナデ	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／沈線／円形連続刺突文／沈線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／波頂部円形刺突文、周囲に半円弧状沈線文／2条の半円弧状沈線／円形刺突	——	0.5～1㎜の石英、0.5～2㎜の黄味をおびた白、灰白色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	B－2 山形口縁
303	貝殻条痕	ナデ	波頂部、タテ方向の凹線／周囲に連続刺突文、その左右に、タテ方向の凹線	——	0.5～3.5㎜の褐色、灰色の砂粒を含む。	〃	〃	〃	B－2 山形口縁
304	ナデ	ナデ	タテ方向の連続刺突文／2条の沈線／タテ方向連続刺突文／波頂部、中央にタテ方向沈線、左右に各2本のタテ方向沈線／波頂部先端、屈曲部先端（深い）円形の刺突	波頂部下にタテ、斜方向沈線／連続刺突文	2㎜以下の無色透明、白色、黒色で光る砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	B－2 山形口縁 外面スス付着 風化
305	ナデ	ナデ	連続刺突文／2本の凹線（端部刺突）／凹線間に横方向貝殻刺突文／連続刺突文／波頂部、稜上に連続刺突文／左右にタテ方向の凹線	——	0.2～2㎜の雲母を多く含む。0.3～0.8㎜の白色の砂粒、0.5～1.3㎜の灰、黒色の砂粒、石英を含む。	明 褐 (7.5YR5/6)	明 褐 (7.5YR5/6)	〃	B－2 山形口縁
306	ナデ	ナデ	口縁端部こぶ状突起、突起間に貝殻腹縁による連続刺突文/2番目の突起先端部に刺突（浅い）／3番目の突起下にタテ方向の3条の刺突	斜方向の連続刺突文	微細～1㎜の黒色透明、灰白色透明、黒色、淡黄色の砂粒、微細～3㎜の白色、褐色の砂粒を含む。	赤 褐 (5YR 4/6)	赤 褐 (5YR 4/6)	〃	B4＋2 40－50
307	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	口縁端部こぶ状突起、先端部押圧(2)／全面に貝殻腹縁刺突文／突起部下に凹線文	こぶ状突起全面にタテ方向貝殻腹縁刺突文	1.3㎜以下の淡黄色の砂粒、1㎜以下の金色の雲母を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黄 褐 (10YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
308	ナデ	ナデ	口縁端部こぶ状突起、内1つは山形状／先端部押圧(1)／全面に貝殻刺突文／凹線文	——	0.5㎜以下の淡黄色の砂粒、1㎜以下の金色の雲母を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4)	褐 (10YR 4/4)	〃	
309	ナデ 貝殻条痕 ナデ	貝殻条痕のあとナデ	口唇部斜方向の連続刺突文／口縁端部こぶ状突起、先端部円形の深い刺突(3)／タテ方向の刺突	——	1.5㎜以下の淡黄色の砂粒、金色の雲母を含む。	明 褐 (7.5YR5/6)	明 褐 (7.5YR5/6)	〃	
310	ナデ	ナデ	口縁端部こぶ状突起、先端部沈線(1)／こぶ状突起上にタテ方向沈線	ヨコ方向の3条の凹線	微細～1㎜の無色透明、灰色透明、白色、褐色で半透明、淡黄色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	SMT 134

第17表　縄文土器観察表(17)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
311	ナデ	ナデ 貝殻条痕	口縁端部こぶ状突起、先端部沈線(1)／こぶ状突起上にタテ方向の沈線	ヨコ方向の凹線	微細～1mmの無色透明、白色半透明、黒色の砂粒を含む。1mm以下の淡黄、白色の砂粒を含む。金色の雲母を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/8)	良好	B10 60～80
312	指押さえ 貝殻条痕	ナデ	斜方向の連続刺突文／波頂部から斜め下に斜方向の連続刺突文（細線状）	口唇部内面に沈線／斜方向の連続刺突文（細線状）／波頂部に斜方向刺突	4mm以下の石英を多く、2mm以下の褐色、黒色で光る砂粒を少し含む。	にぶい橙 (7.5YR7/4) 褐灰 (10YR 6/1) 黒斑	にぶい橙 (7.5YR7/4)	〃	山形LI縁
313	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	口縁端部にこぶ状突起、先端部楕円形の深い刺突(2)／突起間、突起下に斜方向の貝殻文／突起下、両側に半円弧状凹線／数条の平行凹線	こぶ状突起に斜方向の貝殻刺突文	2mm以下の淡黄色の砂粒、0.5mm以下の金色の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
314	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	橋状取手上、タテ方向の2本の押圧・先端部にヨコ方向押圧／貼付部に斜方向の連続刺突文	—	0.3～3mmの淡黄色・褐色の砂粒、石英、1mm程度の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黄灰 (2.5YR4/1)	褐 (7.5YR4/3)	〃	B－2
315	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	橋状取手上にタテに横方向の連続刺突（5個）取手下屈曲部に斜方向連続刺突文	—	0.5～2mmの灰白色の砂粒、0.5～4mmの半透明の砂粒を含む。雲母、石英を含む。	灰黄褐 (10YR 4/2)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
316	ナデ	丁寧なナデ ナデ	橋状取手中央に丁字形の透かしを兼し、その周囲に凹線／取手凹線内右上部に穿孔（左上部も穿孔？）／端部にヨコ方向の沈線	—	0.3～1.5mmの白色、褐色の砂粒、黒色で光る柱状の砂粒、石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
317	ナデ 底面粗いナデ	丁寧なナデ	ヨコ方向の平行沈線のあと斜方向の沈線	—	1mm以下の石英を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/8)	橙 (5YR 6/6)	〃	器台？
318	ナデ 底面ナデ	ナデ	口唇部、沈線と円形の連続刺突文／2本の沈線文間に円形の連続刺突文	—	微細な褐色の砂粒を少し含む。	にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	A－T－1? 3T 馬蹄形の器台
319	ナデ 底面貝殻条痕のあとナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続刺突文／2条の凹線／斜方向の連続斜突文／楕円形の透かし2対／円形の透かし2対	—	微細な石英、黒色で光る柱状の砂粒を含む。0.2～0.5mmの石英、灰色の砂粒を含む。	にぶい黄橙(10YR 6/4) にぶい黄褐(10YR 5/4)	にぶい黄橙(10YR 6/3) にぶい黄 (2.5Y 6/3)	〃	器台
320	ナデ	ナデ	凹線（浅い）	—	0.3～0.8mmの石英を多く含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	器台？
321	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	体部側面3本の平行沈線文が4ヶ所／2ヶ所の透かし／透かし部を除いてタテ方向の連続刺突文をくびれ部に巡らす	—	1mm以下の石英、黒色で光る柱状の砂粒、1.5mm以下の淡黄色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	黄灰(2.5YR 4/1)	〃	器台？
322	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	口唇部、斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文／口唇部直下斜方向の貝殻腹縁による連続刺突文（右下）	端部に斜方向の貝殻連続刺突文／(3)の字状凹線文　角に円形刺突／内側に段あり段の上下に貝殻腹縁による連続刺突文(左下)	0.3～0.8mmの石英、灰色の砂粒、黒色で光る砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
323	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向連続刺突文	—	2mm程度の褐色の砂粒を少し含む。石英も含む。	にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	山形口縁
324	貝殻条痕 ナデ	ナデ 貝殻条痕	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.2～2mmの石英、灰色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁 B10 50－80
325	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5mm以下の石英を含む。	褐 (7.5YR 4/3)	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	B4 20～30
326	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	1mm以下の石英を多く含む。 0.3～1mmの淡黄色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(10YR 5/4) 橙 (7.5YR6/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁 B3 50～60
327	貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5mm以下の石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	〃	

第18表　縄文土器観察表(18)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
328	ナデ 貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	良好	山形口縁
329	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕一部あとナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	山形口縁
330	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	2mm程度の石英を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
331	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の金色の雲母を多く含む。0.3 ～1mmの淡黄色、灰色の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	暗褐 (5YR 3/2) にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
332	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	波頂部、凹線（両端に刺突文）／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の石英、3mm程度の茶色の砂粒を含む。	橙 (2.5YR6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
333	ナデ	ナデ	波頂部、凹線（両端に刺突文）／円形刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1～3mmの褐、灰色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
334	ナデ	ナデ	波頂部、貝殻腹縁によるヨコ方向の連続刺突文（不規則）／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.3 ～0.5mmの石英と2.5 ～4mmの褐色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4) 黒斑	〃	山形口縁
335	貝殻条痕	貝殻条痕	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	2mm以下の淡黄色、白色砂粒と、1mm以下の石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
336	ナデ	ナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5 ～1.3mmの石英、褐、灰色の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	山形口縁 一部ススうすく残存
337	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	波頂部、貝殻による斜方向の連続刺突文	——	0.2 ～0.8mmの石英と白色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
338	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	波頂部、凹線（端部刺突文）／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	微細な石英を少し含む。	赤褐 (5YR 4/6)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	山形口縁
339	ナデ	ナデ	波頂部、凹線（端部刺突文）／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	微細な石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい黄褐(10YR 4/3)	〃	山形口縁 B6　40－50
340	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の石英、灰白色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
341	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.3 ～1mmの石英を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
342	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5mm以下の石英と1mm程度の黒色で光る柱状の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
343	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕	口縁端部直下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5 ～1.5mmの褐色の砂粒を含む。1～2.5mmの灰色の砂粒を含む。	にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	
344	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1mm以下の石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁 外面ススト付着
345	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5mm以下の石英を少し含む。	褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/6)	〃	山形口縁 一部ススト付着
346	ヨコナデ	ヨコナデ	2条の平行凹線／屈曲部上に斜方向の刺突文	——	4～6mmの褐色の砂粒、0.5 ～2mmの灰、黒、褐色の砂粒と石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい黄褐(10YR 4/3) 明黄褐 (10YR 6/6)	〃	
347	ナデ	ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5 ～2mmの白色の砂粒を含む。0.5～2mmの金色の雲母を多く含む。	にぶい黄褐(10YR 4/3)	褐 (7.5YR4/4)	〃	内面一部剥離

第19表　縄文土器観察表(19)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
348	貝殻条痕 ナデ	貝殻条痕 ナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 屈曲部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5 mm以下の石英を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	橙 (5YR 6/6)	良好	山形口縁 ススー部付着
349	貝殻条痕のあと ナデ	ヨコナデ	波頂部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文 屈曲部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	2 mm程度の褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁 一部ススー付着 一部欠損
350	貝殻条痕のあと ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5 ～2.5 mmの白色砂粒と、0.2 ～1.5 mmの金色の雲母を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
351	ナデ	ナデ	屈曲部上下に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	1 mm以下の金色の雲母と、1.5 mm以下の白色の砂粒を多く含む。	褐 (7.5Y 4/3)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
352	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと 一部ナデ	波頂部、2条の横隆線（両端部刺突）／横にタテ方向の連続刺突文／凹線	—	0.5 ～2 mmの金色の雲母と、0.3 ～1 mmの白、褐、半透明の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	山形口縁
353	ナデ	ナデ	貝殻によるタテ方向の連続刺突文	—	0.3 ～2 mmの金色の雲母と灰色の砂粒を含む。0.3 ～2 mmの淡黄色、白色、灰色の砂粒と雲母、石英を含む。	明赤褐 (2.5YR5/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	B 80－90 外面一部ススー
354	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	屈曲部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.3 ～2.5 mmの淡黄色、灰色の砂粒を多く含む。雲母も含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黒斑	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
355	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの石英を含む。 灰色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	口唇部ススー付着 外面ところどころ円形に剥離
356	貝殻条痕のあと ナデ 貝殻条痕	ナデ	屈曲部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5 ～1 mmの石英を含む。	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	山形口縁 B15＋0 70－80
357	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文	—	細かいものから2.5 mm程度までの雲母を多く含む。0.5 ～2 mmの灰色の砂粒や灰白軟質の砂粒など含む。	橙 (7.5YR7/6)	橙 (7.5YR7/6)	〃	外面一部ススー付着
358	貝殻条痕のあと 一部ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	全体に粒子細。 石英細粒など少し含む。	橙 (2.5YR7/6)	橙 (2.5YR7/6)	〃	
359	ナデ 貝殻条痕のあと ナデ	ナデ 貝殻条痕	〃	—	0.3 ～1 mmの石英を含む。 2.5 mmの灰色の砂粒を含む。	橙 (2.5YR7/6)	橙 (2.5YR7/6)	〃	
360	ナデ	ナデ	斜方向の連続刺突文	—	石英細粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	外面、内面とも一部ススー付着
361	貝殻条痕のあと 一部ナデ	貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.3～1 mm程度の白色、黒色の砂粒、石英を少し含む。	明褐 (7.5YR5/8) 黒斑	褐 (7.5YR4/6) 黒斑	〃	
362	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の押し引き状の連続貝殻腹縁文	—	全体に粒子が細かい。石英などの細粒を少し含む。	にぶい橙 (5YR 7/4)	にぶい橙 (5YR 7/4)	〃	
363	貝殻条痕	貝殻条痕 貝殻条痕のあと ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.3 ～1 mmの淡黄色で軟質の砂粒、灰色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	〃	
364	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	斜方向の連続刺突文	—	0.5 mm程度までの細かい石英を含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	灰褐 (7.5YR4/2)	〃	B4＋2 50－60
365	貝殻条痕	貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	1 mm程度の褐色、灰色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	橙 (5YR 6/6)	〃	B1 2層 30－50
366	貝殻条痕のあと ナデ	貝殻条痕のあと ナデ	〃	—	0.3 ～1.2 mmの灰白色でもろい砂粒を多く含む。 雲母を少し含む。	赤褐 (2.5YR4/6)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	
367	貝殻条痕	貝殻条痕のあと ナデ	〃	—	1 mm以下の石英を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) 灰褐 (7.5YR5/2)	橙 (5YR 6/6)	〃	

第20表　縄文土器観察表(20)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
368	貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.3 ～0.7 の石英を含む。	橙 (2.5YR6/6)	橙 (2.5YR6/6) 黒斑	良好	外面スス付着
369	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	〃	——	0.3 ～1.2 mmの黄味をおびた白色、灰白の砂粒を多く含む。金色の雲母を含む。	橙 (2.5YR6/6) 黒斑	橙 (2.5YR6/6) 黒斑	〃	
370	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	〃	——	0.3 ～0.7 mmの黄味をおびた白色の砂粒を少し含む。	暗褐 (10YR 3/4)	暗褐 (10YR 3/4)	〃	
371	やや粗いナデ	やや粗いナデ	口唇部、貼り付け突起（王冠状）／沈線文	——	0.3 ～3 mmの黄味をおびた白色の砂粒、0.5 ～1 mmの半透明の砂粒、0.3 ～1.5 mmの金色の雲母を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	B10 50 ～80cm
372	ナデ	ナデ	口唇部、貼り付け突起（王冠状）	——	0.3 ～1 mmの石英と0.3 ～2 mmの灰色の砂粒を含む。	暗褐 (10YR 3/3)	褐 (10YR 4/4)	〃	
373	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	口唇部、押圧文／曲線状の突帯	——	全体に粒子細、微細な石英を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
374	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ	口唇部、貝殻腹縁による刺突文を施している。／コブ状突起	——	1.5 ～3.5 mmの褐色の砂粒を少量含む。	にぶい黄橙(10YR 6/3) 灰黄褐 (10YR 4/2)	灰黄褐 (10YR 4/2) にぶい橙 (7.5YR6/4)	〃	B9 50～80 B10－9 セク9
375	貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部、連続刺突文	——	1 ～4 mmの赤褐の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (5YR 5/3)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
376	ヨコミガキ	ヨコミガキ	口唇部、連続刺突文	——	全体に粒子細。灰色の砂粒、石英を少し含む。	灰黄褐 (10YR 6/2)	褐灰 (10YR 5/1)	〃	磨研土器
377	ヨコナデ	ヨコナデ	口唇部、沈線・円形刺突／口縁部、端部に平行する横方向沈線・タテ方向沈線（これに沿って円形刺突）	——	2 mm以下の灰色で半透明の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	B－6 III層 50－80
378	ナデ	ナデ	口唇部、沈線／浅い沈線上に連続する円形の押圧文／口縁部と平行に横一列に楕円形の連続刺突文（口縁下約10cmの部位）	——	1 ～3.5 mmの灰白色で軟質の砂粒、1 ～1.5 mmの灰、黒色の砂粒、0.5 ～1 mmの石英を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	
379	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	――――	——	0.5 ～1 mmの浅黄橙、橙、褐灰、無色で透明の微粒子を含む。	褐 (7.5YR4/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	内外面にスス付着
380	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	――――	——	0.5 ～2 mmの白色、淡黄色で粗い砂粒、石英、半透明の砂粒を含む。金色の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	外面一部スス付着
381	ナデ	ナデ	――――	——	微細な石英と0.5 ～2 mmの淡黄色の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	B4+2 40－50 外面一部スス付着
382	貝殻条痕のあとナデ	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	口縁部下、斜方向の貝殻腹縁文	——	微細な石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	灰褐 (7.5YR5/2)	〃	内面一部スス付着
383	ナデ	貝殻条痕	――――	——	1 ～3 mmの褐色、灰色の砂粒と石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
384	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	――――	——	角閃石、石英の細かい砂粒を含む。1 ～2 mmの灰褐色の砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
385	ナデ	ナデ	――――	——	0.3 ～1.2 mmの黒色で、柱状の光る砂粒を多く含む。0.5 ～1.5 mmの淡黄色砂粒と石英を含む。	黄褐 (2.5Y 5/3)	黄灰 (2.5Y 4/1)	〃	
386	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕	――――	口縁に平行する凹線（1cm幅）	0.5 ～2 mmの半透明の砂粒、石英を含む。金色の雲母を含む。淡黄色軟質砂粒、灰色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
387	ヨコナデ	ヨコナデ	――――	——	1.5 mm以下の金色の雲母を含む。0.5 mm以下の白色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	B9 50－80

第21表　縄文土器観察表(21)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
388	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	――	――	0.3～2㎜の白色半透明の砂粒、金色の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	良好	B10　20～30
389	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	――	――	全体に粒子細 0.5㎜程度の灰色、褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	B15+0 65－70
390	ヨコナデ	ヨコナデ	――	――	1㎜以下の金色の雲母と石英、2㎜以下の淡黄色・灰色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	B12　40－50
391	〃	〃	――	――	1㎜以下の石英と褐色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	黒褐 (7.5YR3/1)	〃	B7　20－30
392	ナデ	ナデ	――	――	0.5～4㎜の褐色の砂粒を多く含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	B12層　30－50
393	ヨコナデ	貝殻条痕	――	――	全体に粒子細 1㎜程度の褐色の砂粒を少し含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	B12－80
394	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	――	――	0.3～1㎜の石英、灰色、淡黄色の砂粒を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4) 灰黄褐 (10YR 4/2)	にぶい黄褐(10YR 5/4) 黒斑	〃	山形口縁
395	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	――	――	0.3～1.3㎜の淡黄色の砂粒と、0.5～1㎜の半透明の砂粒を含む。 雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黒斑	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黒斑	〃	山形口縁
396	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	――	――	2㎜以下の金色の雲母、黒色で光る砂粒、石英、淡黄色、白色の砂粒を含む。	にぶい橙 (7.5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	外面スス付着
397	ナデ	ナデ	――	――	1～5㎜の赤茶、淡黄色の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	
398	ナデ	ナデ	――	――	0.3～1㎜の白色砂粒、0.3～1.8㎜の金色の雲母、0.5～2㎜の石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	暗褐 (10YR 3/3)	〃	
399	ヨコナデ	ナデ	2条の極く浅い凹線（端部刺突）	――	0.5～4㎜の黄白色、灰色の砂粒を含む。0.5～1.5㎜の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい橙 (7.5YR6/4) 黒斑	〃	外面スス付着
400	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	2条の平行凹線（端部刺突）／口縁部下、斜方向の貝殻腹縁文	――	0.3～2㎜の黄味をおびた白色の砂粒、0.5～1㎜の半透明の砂粒、0.3～1㎜の金色の雲母を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁
401	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	波頂部、凹線（端部刺突）／円形刺突	――	0.5㎜程度の白色の砂粒、石英を含む。	褐 (7.5YR4/3)	褐 (7.5YR4/3)	〃	山形口縁
402	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	2条の凹線（端部刺突）	――	0.5㎜大の淡黄色の砂粒、0.5～2.5㎜の半透明の砂粒、0.5～1㎜の石英、雲母を含む。	褐 (7.5YR4/6)	褐 (7.5YR4/6)	〃	山形口縁
403	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	――	――	2～5㎜の明褐色の砂粒と、黒色柱状で光る砂粒を含む。	にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	山形口縁
404	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	――	――	0.5～1.8㎜の石英を多く含む。1～3㎜の灰、褐、白、黒色の砂粒を含む。	灰黄褐 (10YR 4/2)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	内面磨耗
405	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	――	――	0.3～1.5㎜の白色硬質の砂粒、1～5㎜の灰色の砂粒を含む。金色の雲母を含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	
406	ナデ 貝殻条痕のあとナデ 底面ナデ	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	――	――	微細な石英、0.8㎜程度の灰色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/4)	〃	B4　60～80
407	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	タテ方向連続刺突文（2段）	――	0.5～2.5㎜の灰、淡黄色の砂粒を含む。0.5㎜程度の石英、黒色柱状で光る砂粒を含む。	明褐 (7.5YR5/6) 黒斑	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	

第22表　縄文土器観察表(22)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
408	調整不明	調整不明	凹線／連続刺突文／2条の凹線	——	1.5㎜以下の石英、白色砂粒を多く含む。黒色で光る砂粒を少し含む。	にぶい橙 (5YR 7/3)	橙 (2.5YR6/8)	良好	A-V-3 表下65cm 全体に風化顕著
409	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文／3条の凹線	——	1～1.8㎜の褐、灰色の砂粒を含む。0.5㎜程度の石英を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	
410	ナデ	ていねいなナデ	斜方向連続刺突文／凹線による曲線文／斜方向連続刺突文／凹線／斜方向連続刺突文／口縁端部、コブ状突起	突起部の内面に半円弧状の連続刺突文	0.3～1.8㎜のやや黄味をおびた白色で軟質の砂粒、0.3～2㎜の金色の雲母を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/3)	にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	
411	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	口唇部、連続刺突文／口縁部、斜方向凹線内に斜方向連続刺突文／口縁部下、口縁に平行する凹線内に斜方向連続刺突文／斜方向連続刺突文／斜方向貝殻腹縁文	——	1～3㎜の褐色砂粒、0.5～1.2㎜の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	風化 外面にススが付着
412	ナデ	ナデ	貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／4条平行沈線	——	0.3～2.5㎜の白色でもろい砂粒を多く含む。1㎜程度の雲母、石英を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	
413	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／二本平行凹線（ヨコ方向、端部刺突）／凹線（斜方向）	端部下凹線	0.3～1㎜の淡黄、灰白、赤褐、無色透明で光る砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
414	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	4条平行凹線	——	0.3～1㎜の石英、0.5～1.2㎜の灰色砂粒を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6) 黒斑	〃	
415	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	数条の沈線文／沈線文間に貝殻腹縁によるヨコ方向連続刺突文	——	1～3㎜の金色の雲母、0.5～1㎜の石英、長石、灰白色軟質砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
416	ナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向連続刺突文／5条の凹線（ヨコ方向）／凹線（斜方向）／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文	——	微細な石英、黒色で光る砂粒を含む。	褐 (7.5YR4/4)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
417	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	口縁端部から3条の沈線	——	1㎜程度の褐色砂粒、微細な石英を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6) にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	山形口縁
418	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	山形を成す二条平行凹線	口唇部沈線	微細な白色砂粒、石英を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
419	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	2条平行凹線／口縁部貼り付けコブ状突起／口縁部下に楕円形の曲線文	——	0.5～1㎜の石英、1～2㎜の褐灰色の砂粒を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6)	〃	
420	ナデ	ナデ	3条の平行凹線（極く浅い）	——	0.3～1.5㎜の半透明、灰色の砂粒、金色の雲母を含む。	にぶい黄褐(10YR 5/4)	にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	B1+3 0～20 内面ススが付着
421	貝殻条痕のあとナデ	ナデ	凹線による曲線文	口唇部押圧文	1㎜以下の黒色で光る柱状の砂粒、0.5㎜程度の石英、1.5㎜以下の白色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
422	ヨコナデ	ヨコナデ	凹線	口唇部押圧文	1～2.5㎜の黒褐の砂粒を少量含む。	赤褐 (5YR 4/6)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	(A-V-3 表下65cm)
423	貝殻条痕	貝殻条痕	凹線による幅広の曲線文	——	1.5㎜以下の石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒褐 (10YR 3/1)	にぶい赤褐(5YR 4/4)	〃	
424	ヨコ方向のヘラミガキ（光沢がない）	丁寧なヨコナデ又はヨコミガキ	3条の平行沈線	——	1㎜以下の砂粒を多く含む。白色の微細な砂粒を含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) にぶい橙 (5YR 6/3)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
425	ヨコ方向のミガキ（光沢がある）	ヨコミガキ（光沢がある）	縄文か／沈線／縄文か／二条の沈線（端部に刺突文）	凹線（浅い）	透明な微粒子と黒色で光る砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 4/3)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
426	ナデ ヘラミガキ	ヘラミガキ	口唇部、2条の沈線・一方に連続刺突文／凹線（幅広）／縄文／沈線／口縁端部、突起（突起上3ヶ所の穿孔）	——	全体に粒子細、2㎜前後のもろい白色、茶色の砂粒を少し含む。	暗褐 黒褐	暗褐	〃	
427	ナデ	ミガキ	口唇部、2条の沈線・一方に連続刺突文／凹線（幅広）／縄文／沈線／突起上に円形刺突文	——	全体に粒子細、1.8㎜程度の灰白色の砂粒を含む。	橙 (7.5YR6/6) 灰黄褐 (10YR 4/2)	褐灰 (10YR 4/1)	〃	428と同一個体

第23表　縄文土器観察表(23)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
428	ヨコミガキ	ヨコミガキ	口唇部、2条の沈線／凹線(幅広)／縄文／沈線	—	全体に粒子細、2mm程度の白色で軟質の砂粒を少し含む。	橙 (7.5YR6/6) 黒斑	褐灰 (10YR 4/1)	良好	427と同一個体
429	ヨコナデ	ヨコナデ	凹線／疑似縄文／凹線／波頂部付近疑似縄文／凹線／疑似縄文／凹線	—	3mm以下の灰、黄褐色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	山形口縁
430	ヨコナデ	貝殻条痕	押し引き文	—	1mm以下の石英を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR6/3)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
431	ヨコナデ	ヨコナデ	凹線による曲線文の内側に貝殻腹縁刺突文	—	2mm以下の灰白の砂粒と透明で光る砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	疑似磨消縄文土器
432	ヨコナデ	ヨコナデ 削り	二条単位の沈線／2条単位の刺突文／2条単位の沈線／2条単位の刺突文	—	1mm以下の白色の砂粒と無色で光る砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	外面にススの付着
433	ヨコミガキ	ヨコミガキ	二条の沈線	—	多孔質、1mm以下の淡黄褐、暗褐、白色の砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/3)	灰褐 (5YR 5/2)	〃	20～50cmの層 1A－10
434	丁寧なヨコミガキ ヨコミガキ	ヨコミガキ	3条の浅い沈線	—	多孔質、白、淡黄褐の細かい砂粒を多く含む。	灰黄褐 (10YR 4/2)	灰黄褐 (10YR 4/2)	〃	
435	丁寧なヨコミガキ	ヨコミガキ	二条の凹線（浅い）	—	白色の細粒と金色の雲母を多く含む。	灰褐 (5YR 4/2)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
436	ヨコミガキ（光沢がない）	丁寧なヨコナデ	3条の凹線（押圧文）	—	1mm以下の白色の砂粒と黒色の雲母を含む。	灰褐 (5YR 5/2)	にぶい黄橙(10YR 6/3)	〃	
437	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	2条の凹線	—	白色、灰色、石英の細粒を少し含む。砂粒が少なく、胎土は密	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
438	ナデ	ナデ	ヘラ状工具による斜方向の連続刺突文／口縁部下貝殻腹縁による斜方向刺突文／連続刺突文／波頂端部コブ状突起（先端部押圧）／端部下、コブ状突起（先端部円形押圧）	—	0.5～1.5mmの黄味をおびた白色、灰色、褐色の砂粒を多く含む。雲母を含む。	明褐 (7.5YR 5/6)	明褐 (7.5YR 5/6)	〃	山形口縁 外面一部ススの付着
439	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による横方向の刺突文	—	0.3～0.8mmの石英を多く含む。白色の細砂粒を含む。	明褐 (10YR 3/3、3/4)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	
440	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	沈線／連続刺突文／沈線／連続刺突文／波頂部付近斜方向の連続刺突文	—	0.5～2.3mmの褐色の砂粒を含む。0.3～1mmの石英を含む。	褐 (7.5YR4/4)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	山形口縁 外面一部ススの付着 B－2
441	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／2条の凹線内に連続刺突文／凹線（端部刺突）／斜方向の連続刺突文／半円弧状の凹線／半円弧状の凹線内に連続刺突文／半円弧状の凹線	口唇部刻み状の連続刺突文	1mm程度までの石英、灰色、褐色の砂粒を含む。	橙 (7.5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	
442	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／ヘラ状工具による縦方向の連続刺突文	—	0.3～2mm程度の黄味をおびた白色の砂粒を多く含む。1mm程度の石英、灰色の砂粒を含む。金色の雲母を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 褐 (7.5YR4/3)	褐 (10YR 4/4) 黒褐 (10YR 3/2)	〃	外面一部ススの付着 444、445と同一個体
443	貝殻条痕のあとナデ	丁寧なナデ	凹線垂線間に貝殻腹縁刺突文	—	石英と、白色、黒色の砂粒を少し含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
444	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／縦方向のヘラ状工具による連続刺突文	—	0.3～1.5mmの黄味をおびた白色の砂粒を含む。0.3～1mmの雲母を多く含む。	褐 (7.5YR4/4)	褐 (7.5YR4/4) 明赤褐 (5YR 5/6)	〃	442、445と同一個体
445	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／縦方向のヘラ状工具による連続刺突文	—	0.3～2mmの黄味をおびた白色の砂粒を含む。0.3～0.8mmの石英、雲母を含む。	褐 (7.5YR4/3)	黒褐 (10YR 3/2)	〃	外面にススの付着 442、444と同一個体
446	ナデ 貝殻条痕	貝殻条痕あと一部ナデ	貝殻によるタテ方向の押し引き状の連続刺突文	—	1mm程度の灰色の砂粒、石英細粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	

第24表　縄文土器観察表(24)

図版番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
447	貝殻条痕 一部あとナデ	ナデ 貝殻条痕	連続刺突文（途中で施文具を替える）	——	白色で軟質の砂粒、灰色の砂粒、石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/3)	明赤褐 (5YR 5/6)	良好	
448	ヨコナデ	ヨコナデ	ヘラ状工具によるタテ方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／半月形刺突／ヘラ状工具によるタテ方向の連続刺突文	——	0.5～1㎜の石英、黒色で光る砂粒を多く含む。	灰黄褐 (10YR 4/2)	にぶい褐 (7.5YR5/4)	〃	内面風化
449	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／斜方向の連続刺突文	波頂部口唇に7本の刻み	0.5～2㎜の褐、灰、淡黄色の砂粒金色の雲母を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (7.5YR4/1)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 褐灰 (7.5YR4/1)	〃	B－2 山形口縁 内外面スス付着
450	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文（途中で斜めの向きが変わる）／貝殻腹縁による斜方向の刺突文	——	1㎜程度の石英、灰、褐色の砂粒、淡黄色で軟質の砂粒を含む。黒色で光る砂粒も含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
451	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線／タテ方向の連続刺突文／凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／円形刺突文を中心に花弁状に連続刺突文	——	1～3.5㎜の灰、褐色の砂粒を多く含む。石英も含む。	橙 (7.5YR6/6)	橙 (7.5YR6/6)	〃	B－2
452	〃	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文(途中で斜めの向き変わる)／凹線／半月形刺突／斜方向の連続刺突文	——	0.3～1.3㎜の石英、黒色で光る砂粒を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
453	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	ヘラ状工具による連続刺突文	——	1～2.5㎜の白、灰色の砂粒、1㎜以下の石英を多く含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	内面磨耗
454	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／斜方向の連続刺突文	——	0.5～1㎜の灰白色、半透明の砂粒を少し含む。	明褐 (7.5YR5/8)	明褐 (7.5YR5/8)	〃	外面一部スス付着
455	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	縦方向の連続刺突文／凹線（深い）／縦方向の連続刺突文	——	1～2㎜の灰白色、灰色の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 褐灰 (5YR 4/1)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
456	貝殻条痕のあとナデ	ヨコナデ 貝殻条痕	2条の縦方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／縦方向の連続刺突文	——	細粒～1.2㎜の灰白色、半透明の砂粒を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/8) 褐 (10YR 4/4)	赤褐 (5YR 4/6) 黒斑	〃	
457	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	縦方向の連続刺突文／凹線／凹線（端部刺突）／縦方向の連続刺突文／波頂部付近斜方向の凹線の中に連続刺突文／円形の刺突文	——	1～2㎜の灰色、褐色、橙、黒色の砂粒を含む。石英を含む。	橙 (5YR 6/6)	明黄褐 (10YR 6/6)	〃	山形口縁
458	ヨコナデ 貝殻条痕	ヨコナデ 貝殻条痕	2条の貝殻連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／貝殻連続刺突文	——	1㎜以下の石英を多く含む。 全体に粒子細	明赤褐 (2.5YR5/6)	明赤褐 (2.5YR5/6)	〃	
459	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	タテ方向の連続刺突文／凹線（端部刺突）／タテ方向の連続刺突文／波頂部縁に4個の横三日月形の刺突文／左右に竹管による刺突文	——	石英や灰色、黒色の細砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
460	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕	口唇部、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／3条の斜方向の連続刺突文	——	細粒～1.5㎜の石英を含む。1～2㎜の白色、灰色、褐色の砂粒を含む。角閃石を含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
461	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／2条の平行凹線／斜方向の連続刺突文	——	0.5～4㎜の白色半透明、灰色、褐色の砂粒を多く含む。 金色の雲母を含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
462	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	連続刺突文／2本の凹線／連続刺突文	——	1㎜前後の石英、0.3～1.5㎜の灰色、褐色の砂粒を含む。	橙 (2.5YR6/6) 黒斑	橙 (5YR 6/6)	〃	
463	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	〃	タテ方向連続刺突文／2条の凹線（端部刺突）／タテ方向連続刺突文／波頂部タテ方向連続刺突／タテに横方向連続刺突／タテ凹線と半月形刺突〔左右対称〕／タテ方向連続刺突文	——	0.3～1㎜の白色、灰色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁
464	ナデ 貝殻条痕のあとていねいなナデ	〃	3段にヘラ状工具による連続刺突文	——	0.5～1.5㎜の石英と灰色の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3) にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	層
465	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	間隔の広い斜方向の連続貝殻腹縁文／斜方向の連続刺突文	——	0.3～1㎜の石英を含む。	明褐 (7.5YR5/6)	明褐 (7.5YR5/6) 暗褐 (7.5YR4/4)	〃	
466	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ 指押さえ	2条の凹線（端部刺突） 斜方向凹線	——	微細な石英、黒色の砂粒を少し含む。	明赤褐 (5YR 5/6)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	

第25表　縄文土器観察表(25)

図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
467	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	間隔の広い斜方向の連続貝殻腹縁文／斜方向の連続刺突文（右下）	——	0.5～1.5mmの褐色、灰色の砂粒を少し含む。微細な淡黄色砂粒、石英を含む。	明　褐　(7.5YR5/6)	明赤褐　(5YR　5/6) にぶい黄橙(10YR 6/4)	良好	
468	ナ　デ	貝殻条痕のあとナデ	2条の凹線 斜方向の連続刺突文	——	1mm以内の石英、灰色の砂粒を少し含む。	橙　(5YR　6/8)	にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	
469	ナ　デ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／弧状の凹線文／半月形刺突文／凹線内に斜方向の連続刺突文（左下）	——	1.5 mm以下の金色の雲母、2 mm以下の白色で軟質の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR　4/3)	にぶい赤褐(5YR　5/4)	〃	
470	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあと一部ナデ	斜方向連続刺突文／ヨコ方向貝殻腹縁刺突／斜方向連続刺突文／波頂部に刺突（タテ方向、深）／凹線（左右対称、タテ方向、両端部刺突）	——	全体に粒子細、微細な石英、灰色砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR　5/4) 灰黄褐　(10YR 4/2) 黒　斑	赤　褐　(5YR　4/6) 黒　褐　(10YR 3/1)	〃	昭和二八、四一三口、鉱塚字 山形口縁、外面スス付着、内面淡黄色付着物
471	ナ　デ	ヨコナデ	斜方向連続刺突文／2条の凹線／斜方向連続刺突文／波頂部斜方向連続刺突文／円弧状凹線（両端刺突）／円弧状刺突／左右対称にタテに2ヶ所刺突／斜方向連続刺突文	——	1mm程度の石英と、1～3mmの灰白色軟質砂粒、灰、黒色砂粒を含む。	橙　(7.5YR6/6)	橙　(7.5YR6/6)	〃	山形口縁 口縁部、屈曲先端部欠損
472	ナ　デ	ナ　デ	斜方向貝殻連続刺突文／凹線（端部刺突）／沈線／凹線（端部刺突、1.5 cmの横短沈線／半月形刺突／斜方向貝殻連続刺突文	——	1～2.5 mmの灰色、灰白で軟質の砂粒、1 mm程度の石英を含む。	にぶい橙　(5YR　6/4)	にぶい橙　(5YR　6/4)	〃	山形口縁
473	ナ　デ	不　明	斜方向連続刺突文／凹線／沈線／凹線／斜方向連続刺突文／波頂部タテに上下2ヶ所ずつの半月形刺突／左右対称2段のタテ方向半月形刺突	——	0.5 ～2.3 mm程度の白、淡黄、灰、褐色の砂粒、石英を多く含む。金色の雲母を多く含む。	赤　褐　(5YR　4/6)	赤　褐　(5YR　4/6)	〃	内外面磨耗
474	ナ　デ 貝殻条痕	ナ　デ 貝殻条痕	タテ方向連続刺突文／二条の凹線／タテ方向連続刺突文／波頂部、波頂端部円形刺突（深）半円弧状の連続刺突文／斜方向凹線、連続刺突文（左右対称）／半円弧状の連続刺突文／屈曲部先端に円形刺突（深）	（波頂部下） ヨコにタテ方向連続刺突文／円形刺突／凹線（両端刺突）／ヨコにタテ方向連続刺突文	1～2.3 mmの灰、褐色の砂粒を含む。石英、酸化鉄粒を含む。	にぶい赤褐(5YR　5/3) 橙　(2.5YR6/6)	橙　(2.5YR6/6)	〃	山形口縁 外面スス付着
475	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向連続刺突／2条平行凹線／斜方向連続刺突（右下）／口縁部下、斜方向連続貝殻腹縁文／3条平行凹線／斜方向連続貝殻腹縁文	——	0.5 ～1.8 mmの白色の砂粒、0.3 ～2.5 mmの金色の雲母を含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4)	にぶい褐　(7.5YR5/4) にぶい黄褐(10YR 5/4)	〃	山形口縁
476	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／斜方向連続貝殻腹縁文（間隔広）／斜方向の連続刺突文	——	0.1 ～1 mmの淡黄色の砂粒、0.5 ～3 mmの白色で半透明の砂粒、0.2 ～1.3 mmの金色の雲母などを多く含む。	にぶい赤褐(5YR　4/4) 黒　斑	にぶい赤褐(5YR　4/4)	〃	
477	ナ　デ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 あと一部ナデ	タテ方向の連続刺突文	——	1 mm程度の白色軟質の砂粒と石英を多く含む。	にぶい橙　(7.5YR6/4)	にぶい橙　(7.5YR6/4)	〃	外面にスス付着
478	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナ　デ 貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／二条の凹線（端部刺突）／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	白色半透明の砂粒と白色軟質の砂粒を少し含む。	明　赤　褐(5YR　5/6)	明　赤　褐(5YR　5/6)	〃	
479	貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／斜方向の連続刺突文	——	石英細粒と0.8 mm程度の灰、白色の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(5YR　5/3)	にぶい赤褐(5YR　5/3)	〃	
480	ナ　デ	ナ　デ	口縁部、斜方向連続刺突文／口縁下部、斜方向連続刺突文／スカシ4ヶ所／スカシの左右に斜方向凹線文と貝殻腹縁文／底部上部、斜方向連続刺突文、底部端部、斜方向の連続刺突文	——	0.5 ～1 mmの石英、灰色、白色の砂粒を含む。3.8 mm大の暗赤褐色の砂粒、灰白色の砂粒を各1個含む。	明赤褐　(5YR　5/6)	明赤褐　(5YR　5/6)	〃	器台 一部剥離、磨耗
481	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／凹線（半月形の刺突）／斜方向の連続刺突文／波頂部端部に半月形刺突／稜線上に3ヶ所の半月形刺突／斜方向の連続刺突文／口縁下横状取手	波頂部にタテに2ヶ所の刺突文	0.3 ～2.5 mmの白色で半透明の砂粒0.3 ～3 mmの褐色で半透明の砂粒、0.3 ～1 mmの淡黄色の砂粒、0.3 ～1.8 mmの雲母などを多く含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4) 黒　斑	にぶい褐　(7.5YR5/4) にぶい黄褐(10YR 5/3) 黒　斑	〃	山形口縁
482	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／2条の横凹線／凹線間に貝殻腹縁文／3条のタテ凹線／横方向の貝殻腹縁による刺突文	——	0.3 ～1.3 mmの灰色の砂粒や石英を少し含む。	明赤褐　(2.5YR5/6)	明赤褐　(2.5YR5/6)	〃	
483	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	斜方向の貝殻連続刺突文／3条の平行凹線（凹線間に2ヶ所の楕円形刺突）／斜方向の貝殻連続刺突文	——	2 mm程度の灰色の砂粒、0.3 ～1 mmの石英を含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4) 褐　(7.5YR4/3)	にぶい赤褐(2.5YR5/4) 褐　(7.5YR4/3)	〃	—70

第26表　縄文土器観察表(26)

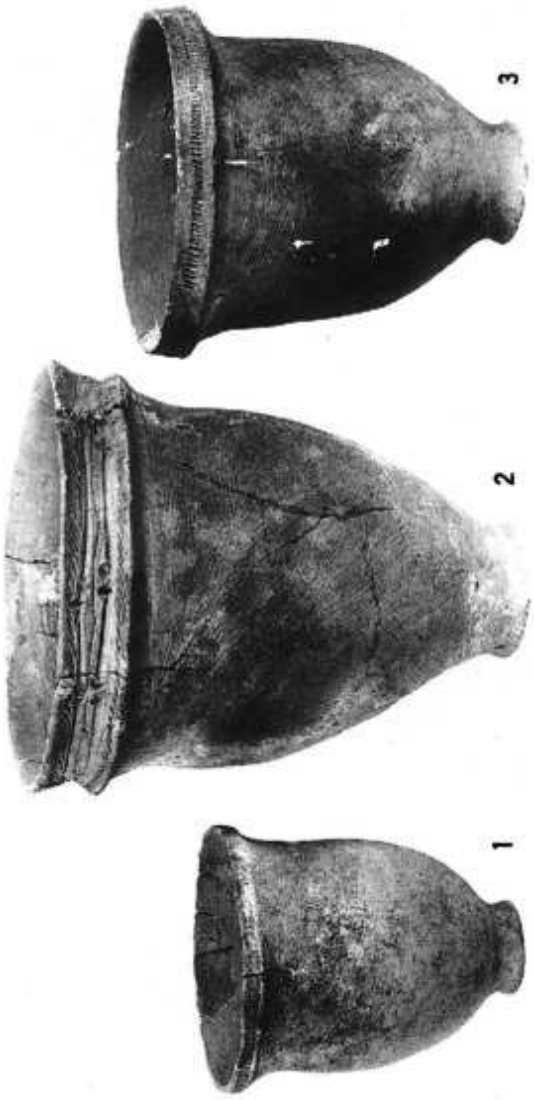
図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
484	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／2条の平行凹線（端部・凹線上に円形刺突）／斜方向3条の平行凹線／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下、貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	1.5～4㎜の褐色の砂粒を含む。1～3㎜の淡黄色、灰白色の砂粒を少し含む。	黒斑 橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	良好	山形口縁
485	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の貝殻連続刺突文／横方向凹線・斜方向凹線・弧状凹線（タテに2ヶ所の刺突）／凹線間に貝殻腹縁文／斜方向の貝殻連続刺突文	——	3㎜以下の白色の砂粒や0.5～2㎜の褐、灰色の砂粒を含む。金色の雲母、石英を少し含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
486	貝殻条痕のあとナデ	ナデ 貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文／斜方向凹線・横方向凹線・曲線凹線／凹線間に貝殻腹縁文・貝殻連続刺突文・半月形刺突／斜方向の連続刺突文(左下)	——	0.3～2㎜の褐、淡黄、半透明の砂粒を多く含む。金色の雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
487	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向の連続刺突文／2条の平行凹線／凹線間に連続貝殻腹縁文・タテ方向長方形の刺突2ヶ所／斜方向の連続刺突文	——	0.5～1.5㎜の白、灰、褐色、半透明の砂粒を含む。金色の雲母を含む。	赤褐 (5YR 4/6)	赤褐 (5YR 4/6)	〃	屈曲部スス付着
488	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	斜方向の連続刺突文／貝殻腹縁文／凹線（端部刺突）／貝殻腹縁文／斜方向の連続刺突文／波頂部、稜線左右タテに異なる工具による（？）連続刺突文	——	1～2.8㎜の白、褐、半透明、灰色の砂粒、金色の雲母を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁 一部剥離
489	ナデ	ナデ	波頂部、斜方向の連続刺突文／タテに3ヶ所半月状の刺突／2条幅広ヨコ凹線（端部左右対称半月状の刺突）／凹線／間に斜方向の貝殻腹縁文／斜方向の連続刺突文	——	0.3～1.2㎜の淺黄橙色の砂粒を多く含む。0.3～2㎜の灰、褐、半透明の砂粒、金色の雲母を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁
490	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	ナデ 貝殻条痕	斜方向の連続刺突文／2条凹線／凹線間に円形刺突文・貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／斜方向の連続刺突文／波頂部、稜線上に3ヶ所楕円形状刺突文／左右対称タテ凹線	——	0.3～1.5㎜の褐、灰色砂粒と石英細粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/3) 黒斑	にぶい褐 (7.5YR6/3) 黒斑	〃	山形口縁
491	ナデ	ナデ	斜方向の貝殻連続刺突文／凹線（一部端部刺突）／波頂部、稜線上に2ヶ所の半月形の刺突文／左右対称、2条の斜方向凹線（端部刺突）／斜方向の貝殻連続刺突文	——	0.5～2㎜の石英と0.5～3㎜の白色、軽石状砂粒、黒色で光る砂粒を含む。	橙 (7.5YR6/6)	橙 (7.5YR6/6)	〃	山形口縁 B－2 外面一部ススが付着 波頂部稜線上の下に横状取手が接合していたと思われる。
492	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の貝殻連続刺突文／二条の凹線（端部刺突）／凹線間に貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／斜方向の貝殻連続刺突文／波頂部、タテに2ヶ所の刺突文	——	0.2～2㎜の金色の雲母と、0.3～2㎜の灰白、白、褐色の砂粒を多く含む。0.3～2㎜の石英も含む。	明赤褐 (5YR 5/8)	明赤褐 (5YR 5/8)	〃	山形口縁
493	ナデ	ナデ	タテ方向連続刺突文／3条の凹線（一部端部刺突）／タテ方向連続刺突文／波頂部稜線上に連続刺突文／波頂部稜線下に、2列の連続刺突文	——	0.5～2㎜の金色の雲母、褐、白色硬質の砂粒を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	山形口縁
494	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向の連続貝殻腹縁文／3条の凹線（端部刺突）／斜方向の連続貝殻腹縁文／口縁部下、斜方向の連続貝殻腹縁文／波頂部、斜方向の連続貝殻腹縁文／横方向3本の凹線・弧状2本の凹線（両端刺突）／左右対称の4本の斜方向凹線（両端刺突）／斜方向の連続貝殻腹縁文	——	0.3～2.5㎜の金色の雲母、0.3～3㎜の褐色砂粒を多く含む。白色、灰色、半透明の砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/8.5/6)	明赤褐 (5YR 5/8.5/6)	〃	山形口縁
495	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 貝殻条痕のあと一部ナデ	貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／3条の凹線（端部刺突）／貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／波頂部付近貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／三本凹線（ヨコ方向、端部刺突）5本凹線（斜方向曲線）貝殻腹縁による斜方向連続刺突文／（波頂部付近文様は左右対称と思われる。）	——	0.5～2㎜の灰、黄味をおびた白、褐色半透明の砂粒を含む。石英を多く含む。	にぶい赤褐(5YR 4/4)	にぶい赤褐(5YR 4/4) 赤褐 (5YR 4/6)	〃	山形口縁
496	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 一部あとナデ	波頂部貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／2条の横方向平行凹線（両端刺突）／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／口縁部下貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	——	0.5～1.5㎜の石英、0.5～2㎜の灰白色の砂粒、0.5～1㎜の黒色砂粒を含む。	明赤褐 (5YR 5/6) 黒斑	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	山形口縁
497	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕 一部あとナデ	斜方向連続貝殻腹縁文／横凹線（端部刺突）／斜方向連続貝殻腹縁文／波頂部斜方向連続貝殻腹縁文／2条横凹線（内各2個円形刺突・両端刺突）／左右対称斜方向2条凹線／斜方向連続貝殻腹縁文	——	0.3～0.8㎜の石英、2㎜程度の褐色の砂粒を含む。	橙 (5YR 6/6)	橙 (5YR 6/6)	〃	山形口縁

第27表　縄文土器観察表(27)

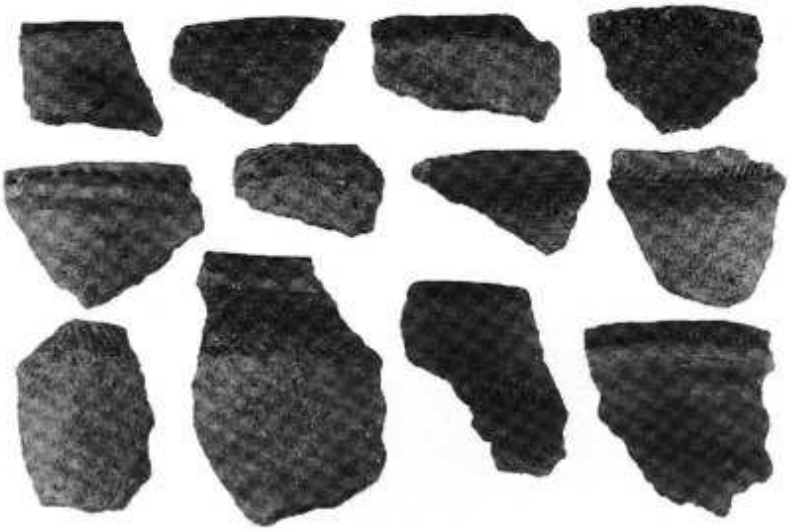
図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
498	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	斜方向連続刺突文（ヘラ）／凹線文／凹線間に貝殻腹縁文／斜方向連続刺突文（ヘラ）／波頂部タテに3個の刺突／波頂屈曲部先端刺突	—	0.5 ～2㎜の灰色、褐色、半透明の砂粒と白色の細砂粒を含む。石英、雲母を含む。	橙　(5YR 6/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	良好	山形口縁
499	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文／斜方向の平行凹線（端部刺突）／貝殻腹縁による斜方向の連続刺突文	—	0.5 ～2㎜の灰色、褐色の砂粒を含む。0.5 ～1.5 ㎜の石英を含む。	にぶい橙　(7.5YR6/4) にぶい黄橙(10YR 6/4) 黒　斑	にぶい橙　(7.5YR6/4) にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	〃
500	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕	斜貝殻連続刺突／凹線曲線文／凹線閉腹縁文 斜貝殻連続刺突（左下）／波頂部斜貝殻連続刺突／2条横凹線・斜凹線・横凹線／左右対称2条斜凹線／凹線間腹縁文／斜貝殻連続刺突	—	0.2 ～1.5 ㎜の白色、灰色、黒色、褐色の砂粒を含む。 石英細粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/8)	明赤褐　(5YR 5/8)	〃	〃
501	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあと一部ナデ	口縁部下斜方向貝殻腹縁連続刺突文／波頂部斜方向貝殻腹縁連続刺突／口縁下斜方向貝殻腹縁連続刺突	—	0.5 ～1㎜の石英と灰色、白色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/4)	明赤褐　(5YR 5/4)	〃	〃
502	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	変曲部付近、斜方向の連続する貝殻腹縁刺突文 口縁部下、斜方向の連続する貝殻腹縁刺突文	—	0.5 ㎜前後の石英、1.5 ～3.5 ㎜の淡黄色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	橙　(5YR 6/6)	〃	〃
503	〃	〃	2段の斜方向連続貝殻腹縁文／逆方向1段の斜方向連続貝殻腹縁文（左下）	—	1～2㎜の褐色、灰色の砂粒を含む。石英、角閃石細片も含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	〃
504	〃	〃	波頂部横凹線（両端円形刺突）／口縁部下斜方向の連続貝殻腹縁文／横凹線	—	0.3 ～1㎜の石英と灰色、黒色の微細な砂粒を少し含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	〃
505	〃	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	波頂部斜方向の連続する貝殻腹縁刺突文／口縁部下斜方向の連続する貝殻腹縁刺突文	—	白色で軟質の砂粒と0.5 ㎜程度の石英を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	〃
506	〃	貝殻条痕のあと粗いナデ	波頂部一条の沈線（両端刺突）	—	0.5 ～1.5 ㎜の淡黄色、褐色、灰色の砂粒を多く含む。金色の雲母を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	〃
507	〃	貝殻条痕のあと一部ナデ	波頂部付近斜方向の連続貝殻腹縁文／口縁部下斜方向の連続貝殻腹縁文	—	全体的に砂粒が少ない。灰色、白色の細砂と1㎜内外の石英を若干含む。	橙　(5YR 6/6)	橙　(5YR 6/6) にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	〃
508	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	波頂部、斜方向連続刺突文／沈線によるタテ曲線文を中心に左右に横沈線文／斜方向連続刺突文（右下）／口縁部下斜方向刺突文（不規則）	—	0.5 ～4㎜の淡黄色の砂粒を多く含む。1.5 ～3㎜の白色で半透明の砂粒と2㎜以下の金色の雲母を含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	〃
509	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	頸部に連続する斜方向貝殻腹縁刺突文	—	0.3 ～1㎜の石英、灰色の砂粒を含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	橙　(5YR 6/6)	〃	
510	貝殻条痕のあとナデ ていねいなナデ	貝殻条痕のあとナデ	頸部、連続斜方向貝殻腹縁文／凹線（端部円形刺突）／横貝殻腹縁文／凹線（端部円形刺突）／横貝殻腹縁文／凹線（端部刺突）／横貝殻腹縁文／2条の凹線（端部円形刺突）／口縁端部にコブ状突起（上に3本の凹線）	コブ状突起の内面にタテに2ヶ所の三日月状の押圧	0.3 ～1.5 ㎜の黄色味をおびた白色の砂粒を多く含む。石英、雲母などを含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	口縁部スス付着
511	ナデ 指押さえ	貝殻条痕のあと板状工具によるナデ	貝殻腹縁による斜方向の連続する刺突（間隔広い）	—	1～4㎜の褐色、灰色の砂粒と石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい褐　(7.5YR5/4) にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
512	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	口縁下横方向平行凹線文（端部刺突）／凹線による曲線文／凹線間に横方向貝殻腹縁文／口縁端部にコブ状突起（上に4本の凹線）	コブ状突起内面に4本の貝殻腹縁刺突文	0.5 ～2㎜の半透明、褐色の砂粒、石英を含む。 金色の雲母を多く含む。	明赤褐　(5YR 5/6)	明赤褐　(5YR 5/6)	〃	
513	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	頸部に斜方向の貝殻腹縁連続刺突文	—	0.3 ～1.5 ㎜の白色の砂粒、0.5 ～1.8 ㎜の半透明の砂粒、0.3 ～1㎜の雲母、石英を含む。	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい褐　(7.5YR5/4)	〃	
514	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	口縁下6条の横凹線（直線・曲線） 凹線間に横方向貝殻腹縁刺突文	—	0.3 ～2㎜の白色、灰色、褐色の砂粒を多く含む。 金色の雲母を多く含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4) 黒　斑	明　褐　(7.5YR5/6)	〃	
515	〃	〃	口唇部に貼付け突起（長方形刺突、左右に半月形刺突）／斜方向連続刺突／タテに貼付け突起（長方形の刺突、上下に半月形刺突）／突起を中心に左右対称2条の凹線（2個の半月形刺突）と斜方向連続刺突を交互に2回繰す	—	0.5 ～1.5 ㎜の白色の砂粒、半透明の砂粒、0.5 ～2.5 ㎜の褐色で半透明の砂粒、0.3 ～1.5 ㎜の雲母などを多く含む。	にぶい褐　(7.5YR5/4) 灰黄褐　(10YR 4/2) にぶい黄褐(10YR 5/3)	にぶい褐　(7.5YR5/4) 黒　斑	〃	

第28表　縄文土器観察表(28)

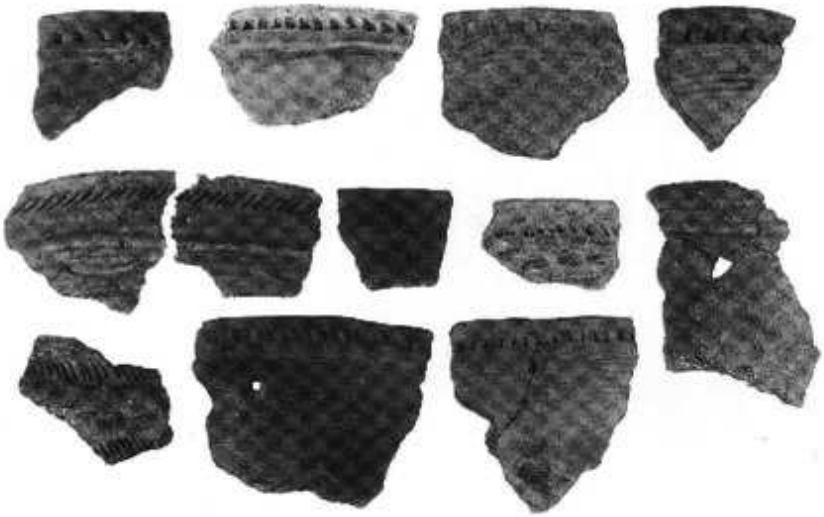
図面番号	調整 表	調整 裏	文様 表	文様 裏	胎土	色調 表	色調 裏	焼成	備考
516	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	幅広の凹線による曲線文	—	1.5 mm以下の石英、白色の砂粒を多く含む。	灰褐 (5YR 5/2) にぶい赤褐(2.5YR5/4)	灰褐 (7.5YR6/2) にぶい橙 (7.5YR6/4)	良好	
517	貝殻条痕 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕 工具によるナデ	幅広の凹線による曲線文	—	2 mm以下の石英を多く含む。黒く光る砂粒、半透明の砂粒を少し含む。	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	明褐 (7.5YR5/6) 褐灰 (10YR 4/1) 黒斑	〃	
518	ヨコナデ 貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	凹線による曲線文	—	2 mm以下の石英、黒色で光る砂粒、淡黄色で軟質の砂粒を多く含む。	灰黄褐 (10YR 5/2)	灰褐 (5YR 4/2)	〃	内面やや風化
519	ナデ	貝殻条痕のあとナデ	横方向凹線文	—	0.3 ～1 mmの石英、0.5 ～1.5 mmの褐色、黒色、灰色などの砂粒を多く含む。	にぶい橙 (5YR 6/4)	にぶい橙 (5YR 6/4)	〃	
520	貝殻条痕のあとナデ	貝殻条痕のあとナデ	凹線による曲線文	—	0.5 ～3 mmの灰色で軟質の砂粒、灰色、黒色の砂粒、石英などを含む。	にぶい橙 (5YR 6/4) 黒斑	にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	
521	ナデ 貝殻条痕のあとナデ	ナデ	凹線（幅狭・浅）によって区画された中に貝殻腹縁による刺突文を施す	—	0.5 ～1.3 mmの石英、白色、灰色の砂粒を含む。	灰褐 (7.5YR4/2)	褐 (7.5YR4/6)	〃	
522	ナデ	ナデ	ヨコ方向、斜方向の沈線文	—	0.5 ～1.5 mmの淡黄色、半透明、灰色の砂粒を多く含む。金色の雲母、石英なども含む。	褐 (7.5YR4/3)	明赤褐 (5YR 5/6)	〃	
523	貝殻条痕のあとナデ 貝殻条痕	貝殻条痕のあとナデ	3条の平行凹線文 端部に円形の刺突	—	0.5 mm程度の石英、2～4.5 mmの褐色の砂粒を含む。	にぶい褐 (7.5YR5/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	


1
2
3

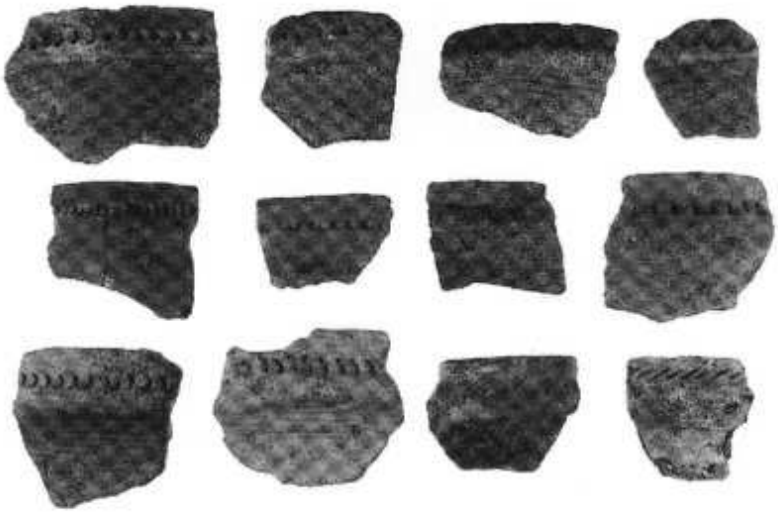
図版２・縄文土器（２）



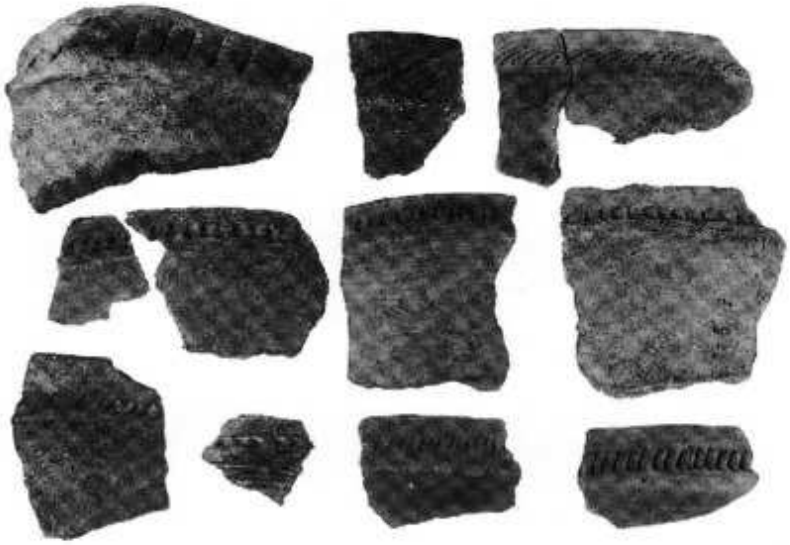
4. 8. 10. 13.
15. 16. 17. 18.
19. 20. 22. 23.



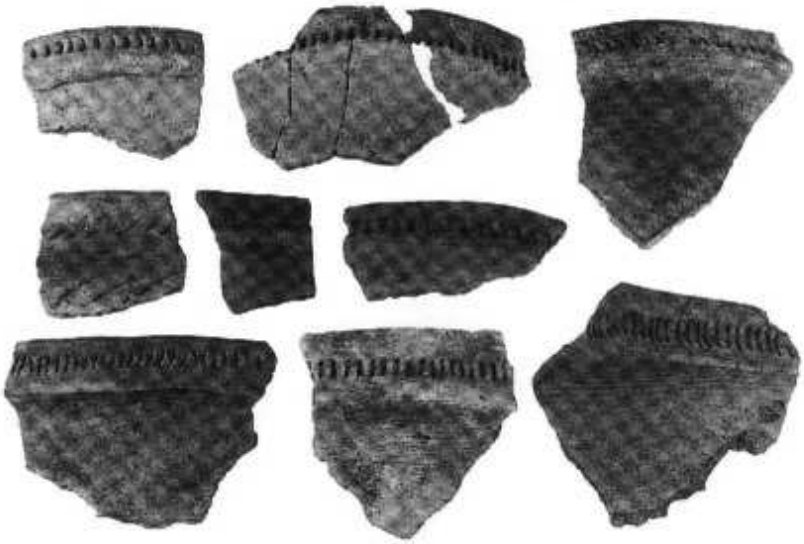
28. 29. 30. 31.
32. 33. 35. 34.
36. 40. 41.



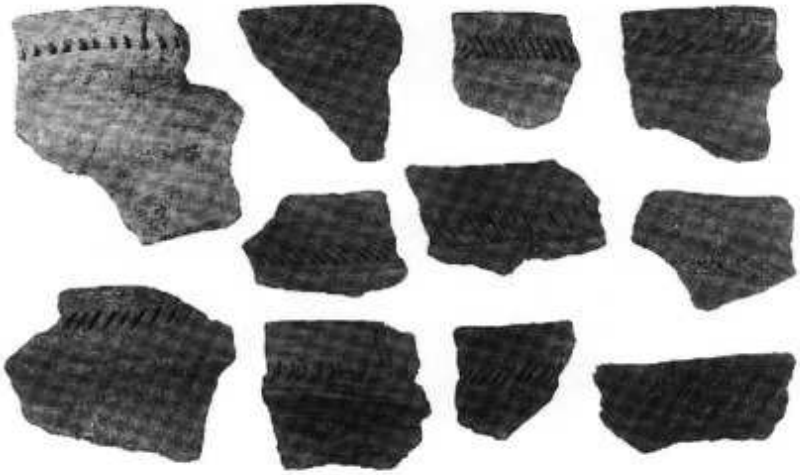
43. 44. 46. 47.
48. 49. 50. 53.
51. 52. 58. 60.



62. 63. 65.
66. 68. 75.
64. 74. 71. 72.

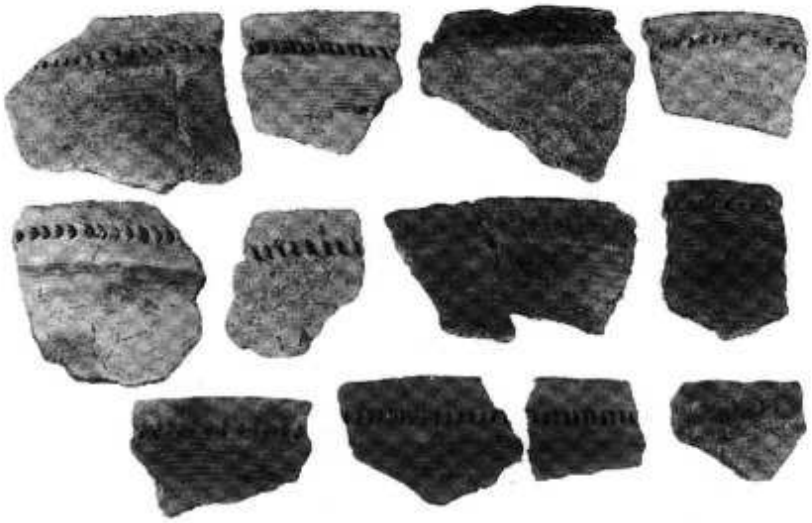


77. 90. 81.
89. 79. 92.
83. 88. 86.



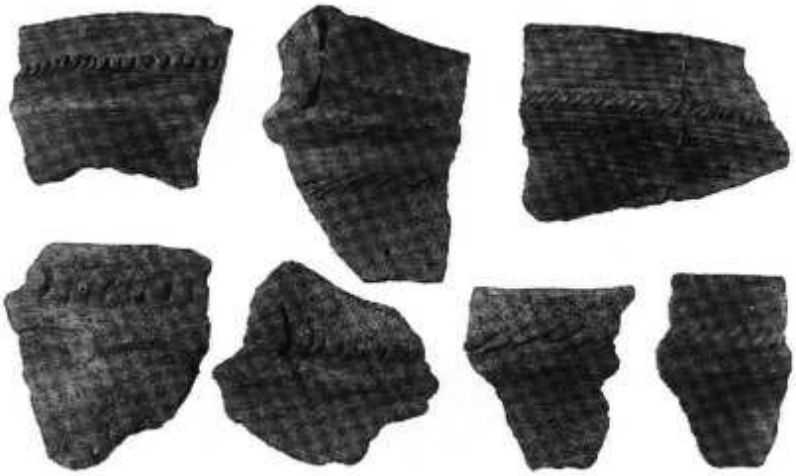
93. 94. 96. 102.
104. 105. 106.
103. 107. 101. 109.

図版４・縄文土器（４）



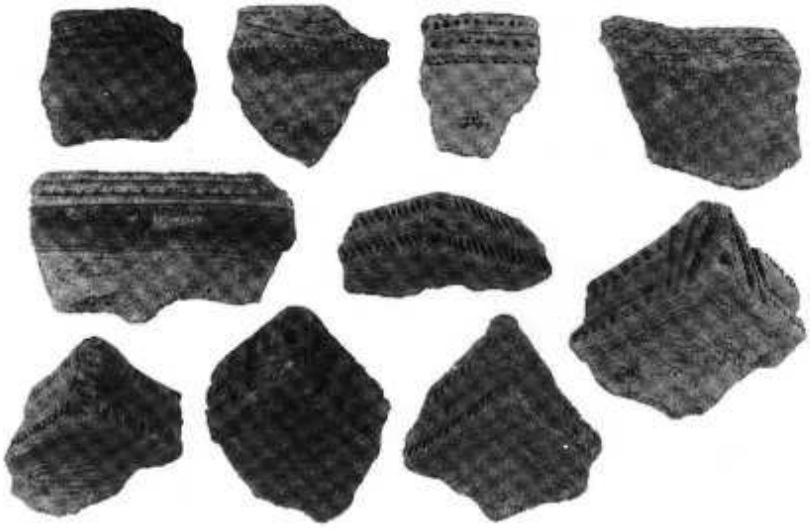
111. 110. 112. 113.
115. 114. 116. 124.
119. 121. 122.

118.

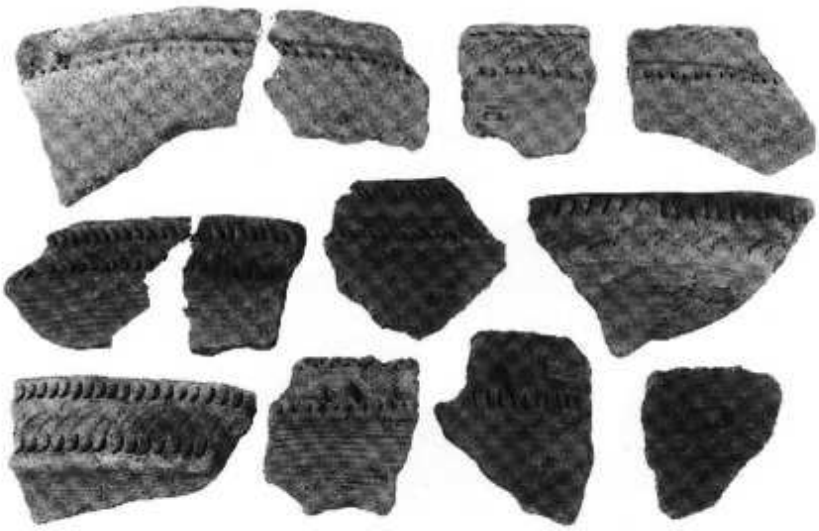


127. 132. 130.
132. 134. 133. 131.

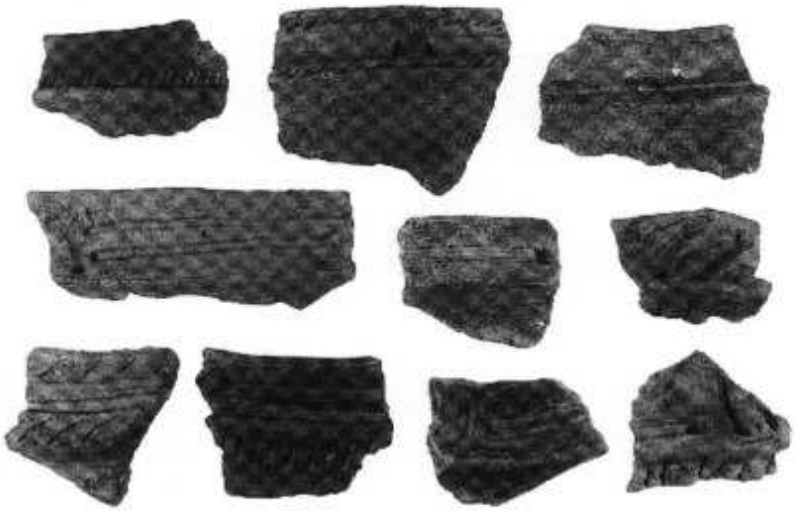
129.



136. 138. 137. 141.
140. 142. 143.
149. 148. 150.

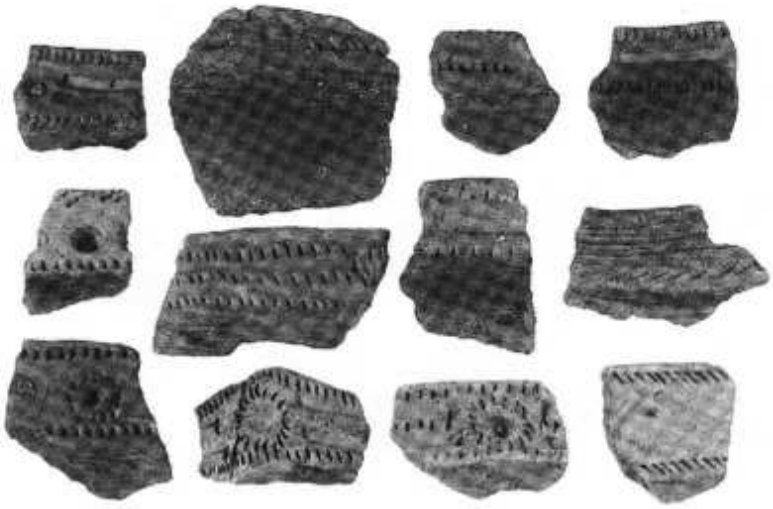


151. 153. 154.
155. 156. 157.
159. 161. 164. 160.

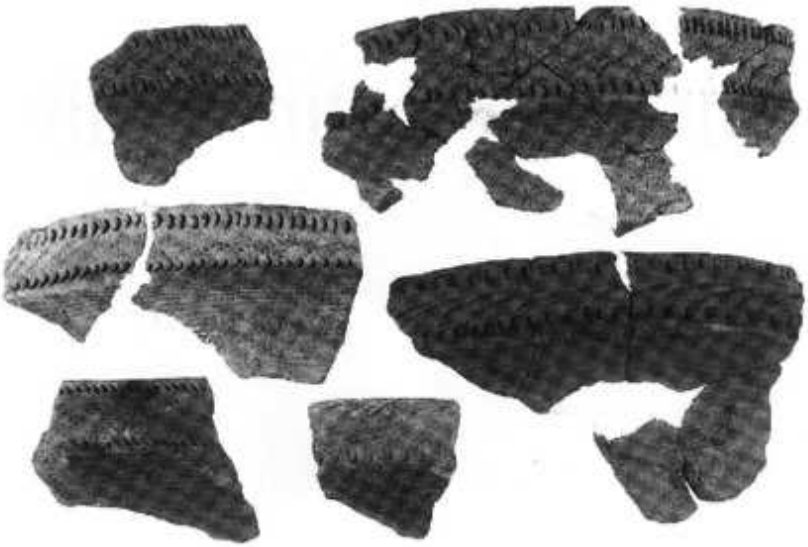


165. 172. 171.
178. 167. 179.
173. 177. 176. 175.

図版6・縄文土器(6)

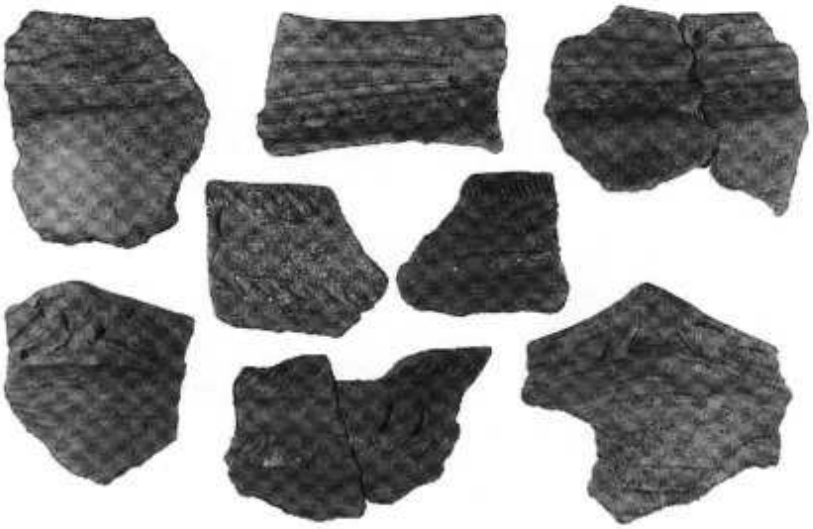


181. 188. 185. 194.
184. 192. 195. 193.
196. 189. 190. 196.



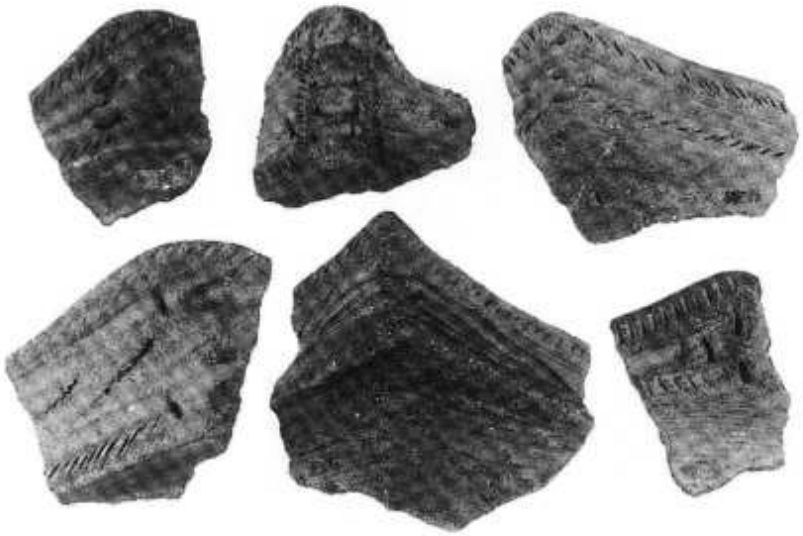
203. 199.
198.
205. 210. 204.

207. 208. 210. 212.
214. 211. 215.
216. 217. 218.



222. 230. 228.
233. 231.
220. 232. 225.

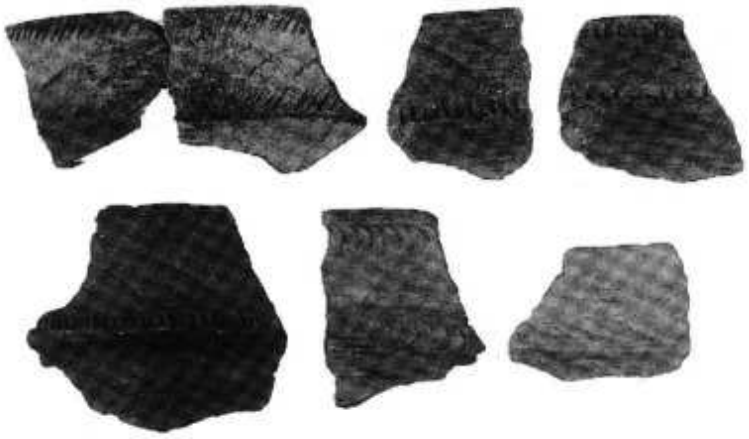
223.



235. 237. 240.
238. 239. 236.

261. 262.
(裏) (裏)

図版８・縄文土器(８)

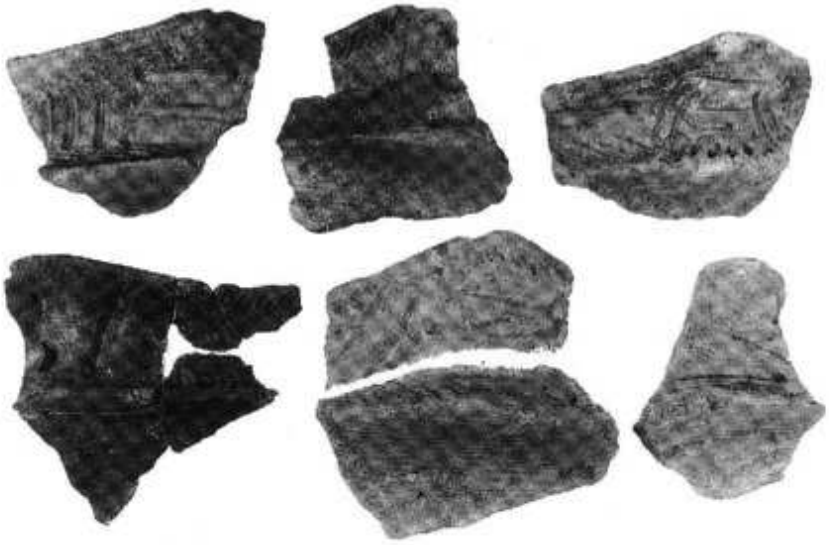


246. 247. 244.
249. 250. 243.

254. 241. 251.
242. 245. 248.
252. 253.

256. 257.
258. 259. 263.

264. 265. 274. 275.
269. 271. 270. 273.



276. 279. 281.
282. 280. 279.

284. 291. 286.
288. 289.
283. 285.

図版10・縄文土器(10)

293. 294. 301. 295.
292. 303. 304. 302.

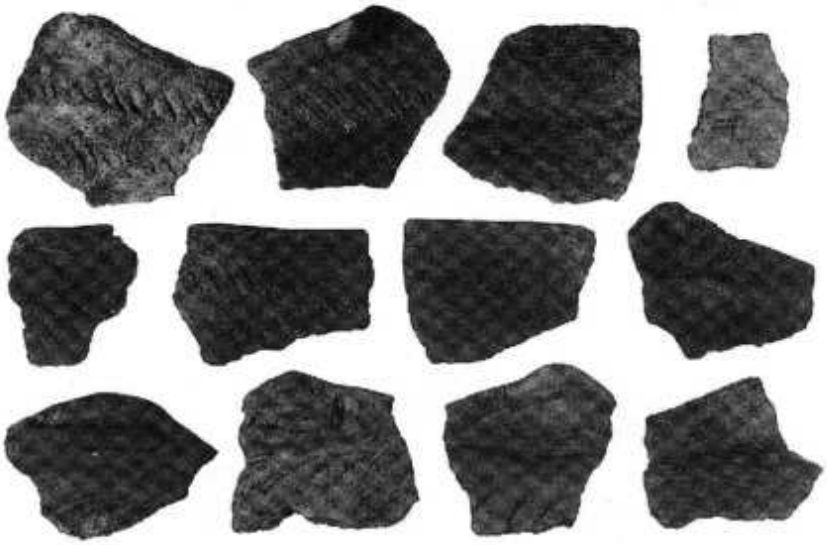
298. 296. 297.

305. 300. 299.

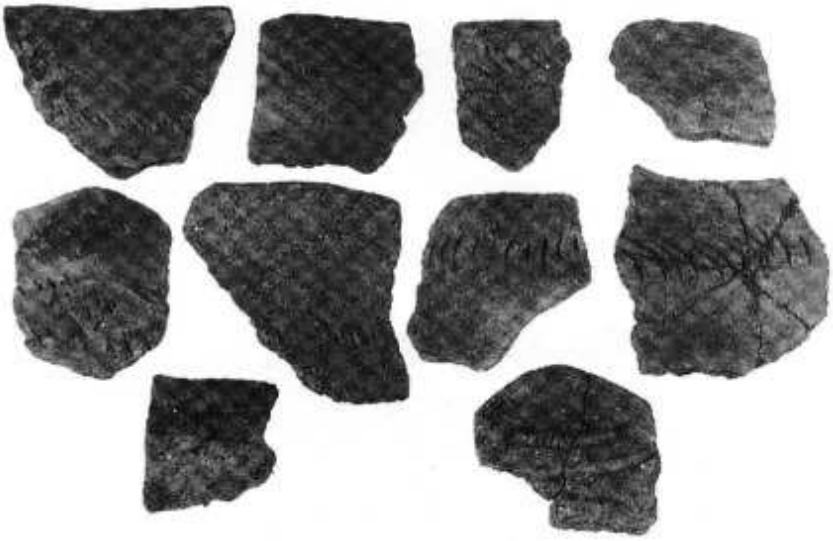
307. 308. 309. 310. 311. 312.
(312は写真左が口線部)
313. 314. 315. 316.

319. 318. 321.

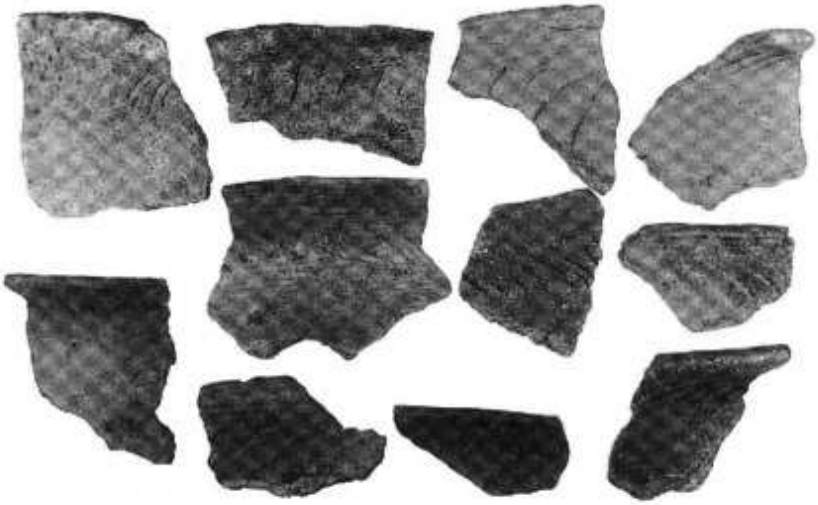
317. 322.



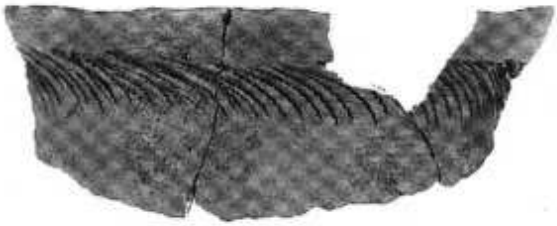
323. 324. 327. 330.
329. 325. 328. 336.
332. 333. 334. 335.



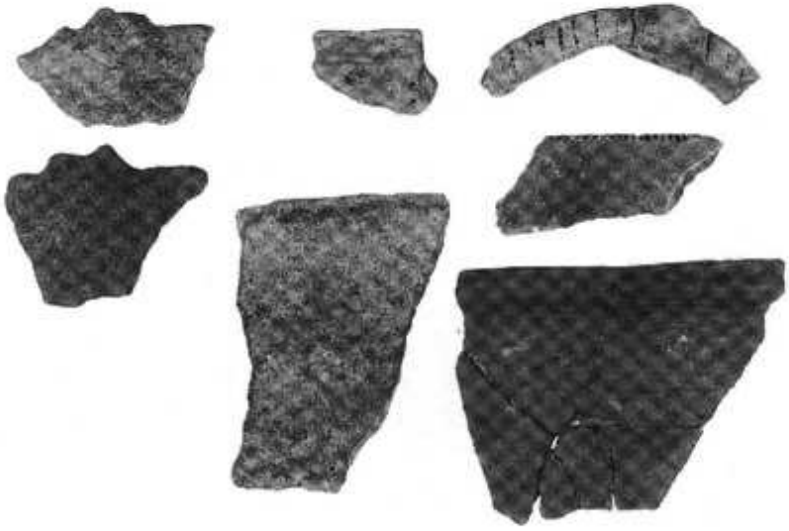
344. 345. 347. 348.
349. 350. 353. 354.
346. 352.



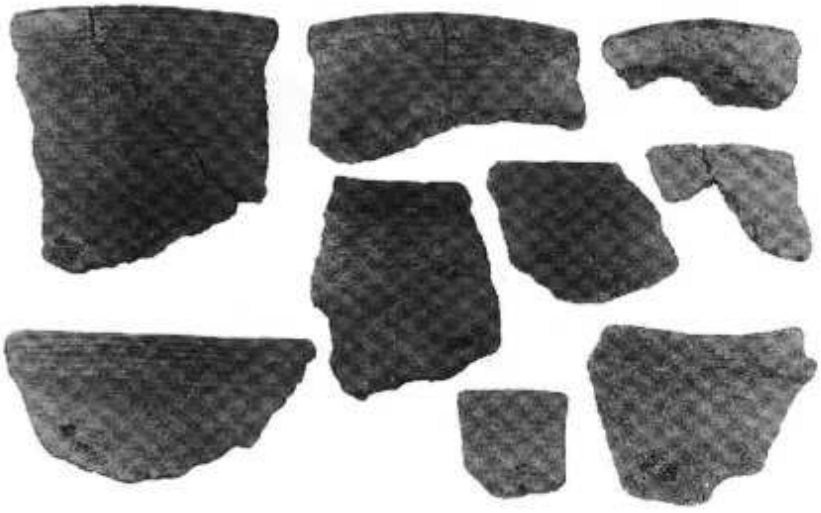
355. 357. 360. 359.
368. 366. 367.
360. 370. 364. 369.



361.

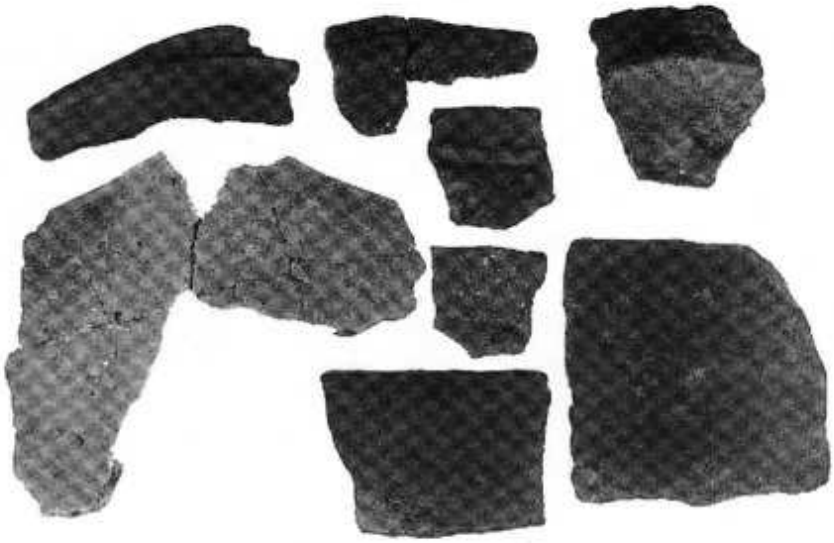


371. 373. 374.
372. 376.
378. 379.



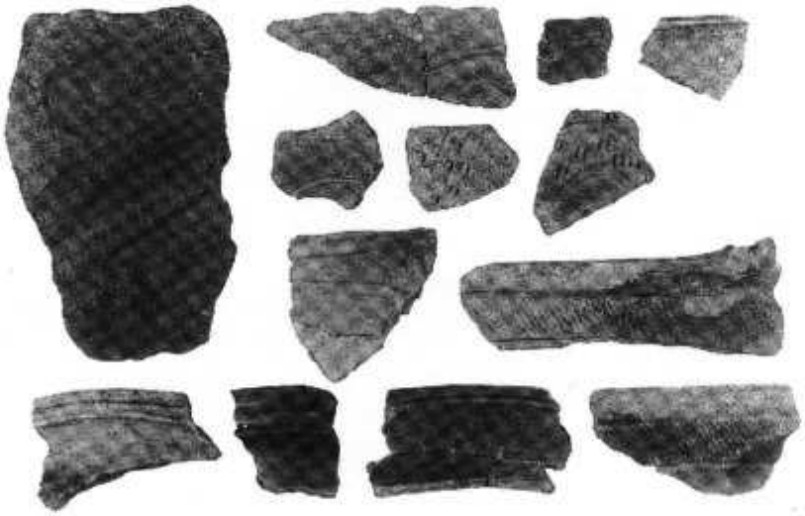
380. 384. 383.
394. 388. 387.
386. 389. 395.

406

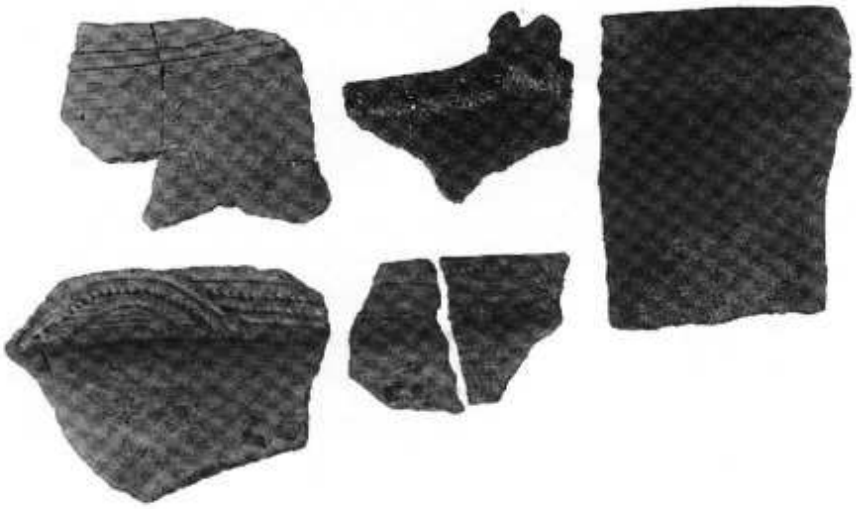


401. 400. 396.
403. 397.
398. 404.
405.

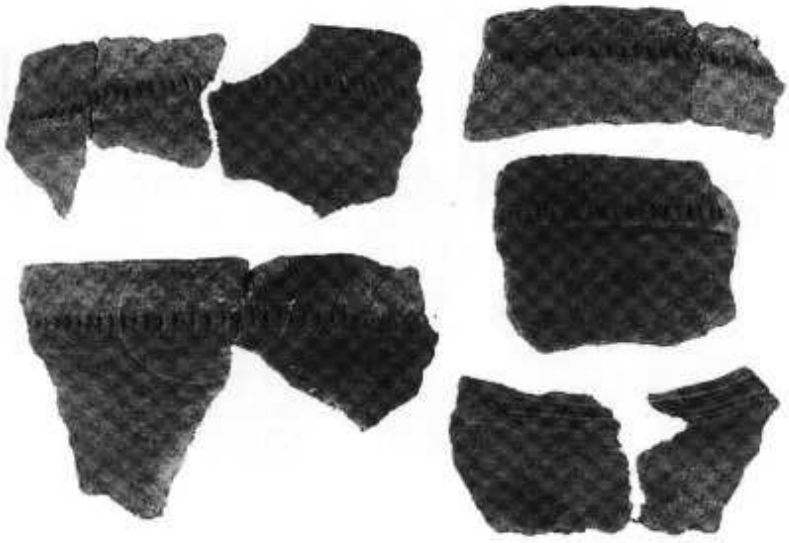
407. 408. 413. 409. 410.
411. 412. 414.
418. 419.
415. 416. 417. 420.



422. 423. 425. 424.
431. 430. 432.
419. 427.
433. 435. 434. 428.

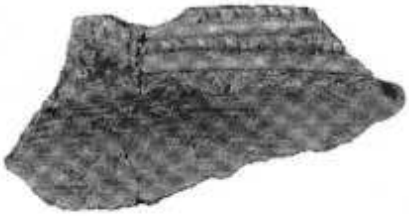


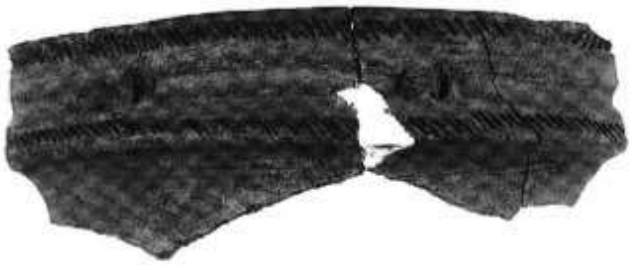
437. 438. 439.
441. 443.



444. 442.
442. 445.
(右上と同一)
440.

446. 447. 450.
448. 449. 453.





451.

452.

454. 458.

455. 456.

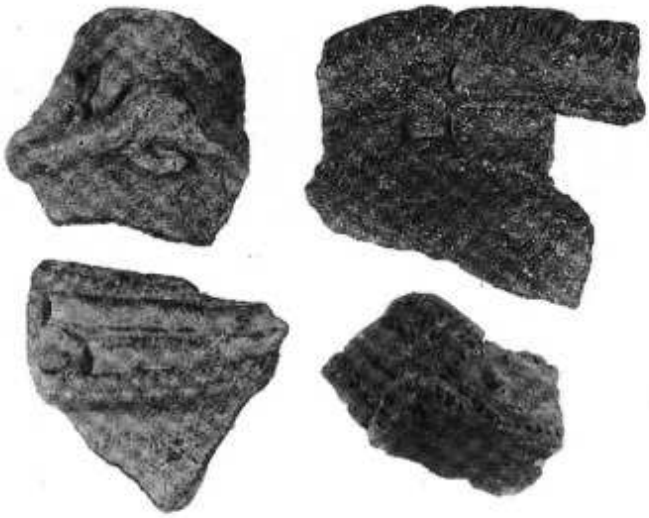
459. 460.

457. 461.

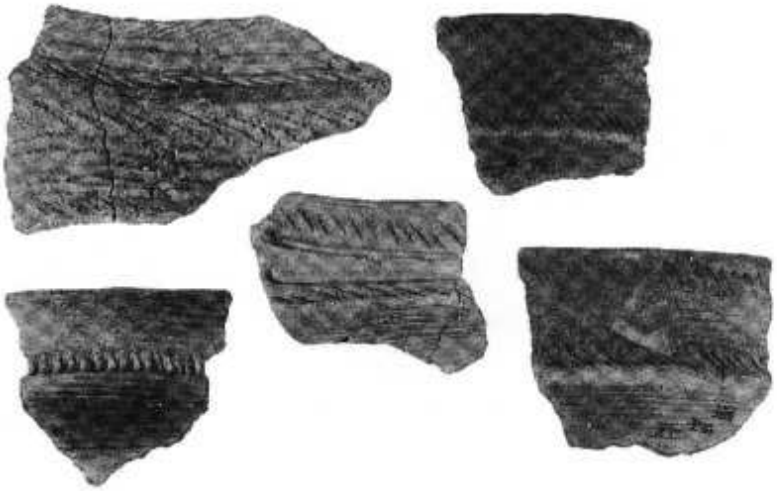
462. 463.
464. 465.

467. 469.
468. 466.

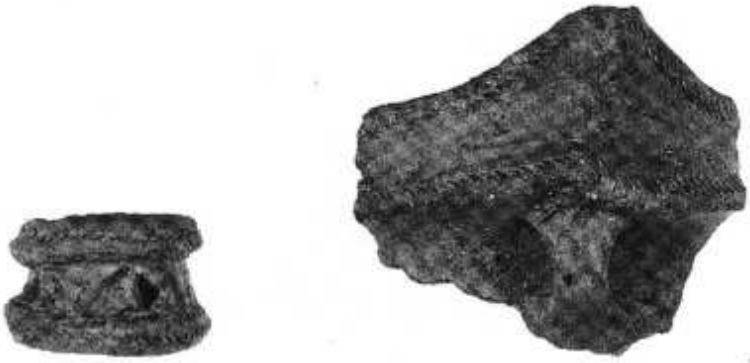
470.



471. 473.
472. 474.



475. 476.
477. 478. 479.



480. 481.